

令和3年度(2021)年度

青梅市の地域公共交通に関するアンケート

〈目 次〉

1. あなたのお住まいや世帯などについて	1
Q1. 住所を教えてください。.....	1
Q2. 世帯構成を教えてください。.....	3
Q3. ご自宅から、普段徒歩で利用できる施設を教えてください。.....	3
Q4. 性別を教えてください。.....	5
Q5. 年齢を教えてください。.....	5
Q6. 職業を教えてください。.....	5
Q7. 自動車の運転免許証は所持されていますか。.....	6
Q8. 自動車やバイク、自転車など、普段自由に利用できるものは何ですか。.....	6
Q9. 新型コロナウイルス感染症流行で地域公共交通の利用頻度は変わりましたか。.....	6
Q10. 新型コロナウイルス感染症流行が収束したあと、あなたの日常生活や社会生活の中で、 以前とくらべ変化するとと思われる生活様式はありますか。.....	6
2. 日常生活における「外出時の移動」について	7
Q11. 日常生活での「外出時の移動」で、困っていますか。.....	7
Q12. 「外出時の移動」で、困っている、不便を感じているのは、どのような場合ですか。.....	8
12-1 出発地.....	8
12-2 目的地.....	9
12-3 移動目的.....	9
12-4 出発時刻.....	10
12-5 頻度.....	11
Q13. 「外出時の移動」で、困っている、不便を感じているのは、なぜですか。.....	11
3. 「鉄道」と「路線バス」利用について	14
Q14. 自宅からの鉄道利用について教えてください。.....	14
14-1 普段、鉄道を利用しますか.....	14
14-2 最寄りの鉄道駅の名称.....	14
14-3 最寄りの鉄道駅までの主な交通手段.....	14
14-4 最寄りの鉄道駅までの所要時間.....	16
14-5 鉄道の利用目的.....	17
14-6 鉄道の乗車時刻.....	17
14-7 鉄道の利用頻度.....	19
Q15. 自宅からの路線バス利用について教えてください。.....	20
15-1 普段、路線バスを利用しますか.....	20
15-2 最寄りのバス停の名称.....	20
15-3 最寄りのバス停までの所要時間.....	22
15-4 行き先(目的地)のバス停の名称.....	26
15-5 路線バスの利用目的.....	35
15-6 路線バスの乗車時刻.....	36
15-7 路線バスの利用頻度.....	37
Q16. 利用する路線バスの「サービス内容」についての満足度を教えてください。.....	38
Q17. 青梅市内の「現在の路線バスのサービス」について、改善要望がありましたら 具体的にご記入ください。.....	39

4. 「JR青梅線」と青梅市内の「タクシー」について	40
Q18. JR青梅線を利用しやすくするために必要なことは何ですか。.....	40
Q19. タクシーを利用しやすくするために必要なことは何ですか。.....	40

5. 青梅市内の「路線バスの今後の維持・継続」について	41
Q20. あなたの世帯にとって、地域を運行する路線バスの必要性を、どのように思いますか。.....	41
Q21. 青梅市内路線バスの運行を維持するための公共負担について、どのように思いますか。.....	41
21-1 青梅市の路線バスに関する公共負担の状況について、ご存じでしたか。.....	41
21-2 現在の、路線バスを維持するための公共負担について、どのように思いますか。.....	41
Q22. 日常生活を送る上で、路線バスを利用するとしたら、どの程度の運行本数が必要ですか。.....	42

6. 「市内の地域公共交通」全般について	42
Q23. 鉄道、路線バス、タクシーの利用を活性化させるためには、市民の参加や協力が欠かせません。 市民参加型の公共交通利用促進策について、関心があるものはありますか。.....	42
Q24. 「今後の地域公共交通のあり方」に関して、ご意見がありましたら自由にご記入ください。.....	43

資料 ― 意見等の内容 ―

Q17. 青梅市内の「現在の路線バスのサービス」について、改善要望がありましたら 具体的にご記入ください。.....	44
Q21. 青梅市内路線バスの運行を維持するための公共負担について、どのように思いますか。 21-2 現在の、路線バスを維持するための公共負担について、どのように思いますか。 「その他」の内容.....	51
Q23. 鉄道、路線バス、タクシーの利用を活性化させるためには、市民の参加や協力が欠かせません。 市民参加型の公共交通利用促進策について、関心があるものはありますか。 「その他」の内容.....	53
Q24. 「今後の地域公共交通のあり方」に関して、ご意見がありましたら自由にご記入ください。.....	56

〈アンケート対象〉
青梅市民

〈実施期間〉
2022(令和4)年2月4日(金)～2月25日(金)

〈配付・回収状況〉

	郵送	ウェブ	計
配付数	3,000票		
有効配布数	2,991票		
回収数	987票	186票(※)	1,173票
回答者数	1,824人	346人	2,170人
有効回収率	33.0%	6.2%	39.2%
回答者数／回収数	1.85	1.86	1.85

※188票の回答があったが、2票は未記入

町丁



一部拡大



令和3年度（2021）年度
青梅市の地域公共交通に関するアンケート
《集計結果》

〈集計対象〉

回収数1,173票（世帯）

回答者数2,170人（個人）

〈実数集計表単位〉

SA（シングルアンサー・1回答）：人

MA（マルチアンサー・複数回答）：件

〈割合集計〉

SA：回答人数／回答人数

MA：回答件数／回答人数

1. お住まいや世帯など（属性）

Q1. 住所（世帯）

SA	実数	-	1丁目	2丁目	3丁目	4丁目	5丁目	6丁目	7丁目	8丁目	9丁目	10丁目	無回答	計
1	勝沼	-	4	9	1	-	-	-	-	-	-	-	0	14
2	西分町	-	2	0	3	-	-	-	-	-	-	-	2	7
3	住江町	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
4	本町	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
5	仲町	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
6	上町	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
7	森下町	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
8	裏宿町	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
9	天ヶ瀬町	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
10	滝ノ上町	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
11	大柳町	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
12	日向和田	-	6	7	5	-	-	-	-	-	-	-	5	23
13	駒木町	-	8	4	2	-	-	-	-	-	-	-	3	17
14	長洲	-	10	14	10	10	4	2	9	4	0	-	1	64
15	友田町	-	5	9	7	10	7	-	-	-	-	-	1	39
16	千ヶ瀬町	-	15	8	11	4	14	8	-	-	-	-	6	66
17	吹上	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
18	野上町	-	6	14	19	11	-	-	-	-	-	-	10	60
19	大門	-	16	9	15	-	-	-	-	-	-	-	1	41
20	塩船	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
21	谷野	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
22	木野下	-	8	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14
23	今寺	-	7	3	10	6	7	-	-	-	-	-	2	35
24	東青梅	-	7	12	20	13	17	8	-	-	-	-	3	80
25	根ヶ布	-	7	9	-	-	-	-	-	-	-	-	0	16
26	師岡町	-	12	16	1	8	-	-	-	-	-	-	5	42
27	新町	-	22	14	22	15	18	3	21	7	16	-	8	146
28	末広町	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	3	9
29	河辺町	-	13	11	3	15	11	20	19	12	14	16	11	145
30	藤橋	-	3	20	7	-	-	-	-	-	-	-	1	31
31	今井	-	14	17	14	0	0	-	-	-	-	-	1	46
32	畑中	-	4	7	4	-	-	-	-	-	-	-	0	15
33	和田町	-	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
34	梅郷	-	5	5	2	6	12	14	-	-	-	-	1	45
35	柚木町	-	6	8	2	-	-	-	-	-	-	-	4	20
36	二俣尾	-	2	5	6	6	1	-	-	-	-	-	0	20
37	沢井	-	0	2	2	-	-	-	-	-	-	-	0	4
38	御岳本町	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
39	御岳	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	0	5
40	御岳山	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
41	富岡	-	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	0	8
42	小曾木	-	1	0	8	5	3	-	-	-	-	-	1	18
43	黒沢	-	6	6	6	-	-	-	-	-	-	-	0	18
44	成木	-	4	4	3	1	1	2	1	2	-	-	1	19
	無回答												15	15
	合計(人)	81	203	235	184	110	95	57	50	25	30	16	87	1,173

Q1. 住所（世帯）

SA	割合	-	1丁目	2丁目	3丁目	4丁目	5丁目	6丁目	7丁目	8丁目	9丁目	10丁目	無回答	計
1	勝沼	-	0.3%	0.8%	0.1%	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	1.2%
2	西分町	-	0.2%	0.0%	0.3%	-	-	-	-	-	-	-	0.2%	0.6%
3	住江町	0.2%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2%
4	本町	0.6%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.6%
5	仲町	0.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3%
6	上町	0.1%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1%
7	森下町	0.4%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.4%
8	裏宿町	0.8%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8%
9	天ヶ瀬町	1.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0%
10	滝ノ上町	0.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3%
11	大柳町	1.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.3%
12	日向和田	-	0.5%	0.6%	0.4%	-	-	-	-	-	-	-	0.4%	2.0%
13	駒木町	-	0.7%	0.3%	0.2%	-	-	-	-	-	-	-	0.3%	1.4%
14	長淵	-	0.9%	1.2%	0.9%	0.9%	0.3%	0.2%	0.8%	0.3%	0.0%	-	0.1%	5.5%
15	友田町	-	0.4%	0.8%	0.6%	0.9%	0.6%	-	-	-	-	-	0.1%	3.3%
16	千ヶ瀬町	-	1.3%	0.7%	0.9%	0.3%	1.2%	0.7%	-	-	-	-	0.5%	5.6%
17	吹上	0.9%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.9%
18	野上町	-	0.5%	1.2%	1.6%	0.9%	-	-	-	-	-	-	0.9%	5.1%
19	大門	-	1.4%	0.8%	1.3%	-	-	-	-	-	-	-	0.1%	3.5%
20	塩船	0.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3%
21	谷野	0.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5%
22	木野下	-	0.7%	0.4%	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1%	1.2%
23	今寺	-	0.6%	0.3%	0.9%	0.5%	0.6%	-	-	-	-	-	0.2%	3.0%
24	東青梅	-	0.6%	1.0%	1.7%	1.1%	1.4%	0.7%	-	-	-	-	0.3%	6.8%
25	根ヶ布	-	0.6%	0.8%	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	1.4%
26	師岡町	-	1.0%	1.4%	0.1%	0.7%	-	-	-	-	-	-	0.4%	3.6%
27	新町	-	1.9%	1.2%	1.9%	1.3%	1.5%	0.3%	1.8%	0.6%	1.4%	-	0.7%	12.4%
28	末広町	-	0.2%	0.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3%	0.8%
29	河辺町	-	1.1%	0.9%	0.3%	1.3%	0.9%	1.7%	1.6%	1.0%	1.2%	1.4%	0.9%	12.4%
30	藤橋	-	0.3%	1.7%	0.6%	-	-	-	-	-	-	-	0.1%	2.6%
31	今井	-	1.2%	1.4%	1.2%	0.0%	0.0%	-	-	-	-	-	0.1%	3.9%
32	畑中	-	0.3%	0.6%	0.3%	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	1.3%
33	和田町	-	0.2%	0.6%	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1%	0.9%
34	梅郷	-	0.4%	0.4%	0.2%	0.5%	1.0%	1.2%	-	-	-	-	0.1%	3.8%
35	柚木町	-	0.5%	0.7%	0.2%	-	-	-	-	-	-	-	0.3%	1.7%
36	二俣尾	-	0.2%	0.4%	0.5%	0.5%	0.1%	-	-	-	-	-	0.0%	1.7%
37	沢井	-	0.0%	0.2%	0.2%	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	0.3%
38	御岳本町	0.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3%
39	御岳	-	0.2%	0.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	0.4%
40	御岳山	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
41	富岡	-	0.3%	0.3%	0.1%	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	0.7%
42	小曾木	-	0.1%	0.0%	0.7%	0.4%	0.3%	-	-	-	-	-	0.1%	1.5%
43	黒沢	-	0.5%	0.5%	0.5%	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	1.5%
44	成木	-	0.3%	0.3%	0.3%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%	-	-	0.1%	1.6%
	無回答												1.3%	1.3%
	合計(人)	6.9%	17.3%	20.0%	15.7%	9.4%	8.1%	4.9%	4.3%	2.1%	2.6%	1.4%	7.4%	100%

Q2. 世帯構成（世帯）

SA		実数	割合
1	一世代（一人）	136	11.6%
2	一世代（二人以上）	499	42.5%
3	二世帯（親と子など）	450	38.4%
4	三世帯（親と子と孫など）	64	5.5%
5	その他	3	0.3%
	無回答	21	1.8%
	合計(人)	1,173	100%

世帯構成は、「一世代（二人以上）」の42.5%が最も多く、「二世帯」の38.4%が続きます。

一人あたりのトリップ数が高くなる傾向になる「一世代（一人暮らし）」は1割ほどです。

Q3. 徒歩で利用できる施設（世帯）

MA		実数	割合
1	スーパーや大型店	693	59.1%
2	コンビニ	964	82.2%
3	商店会（商店街）	150	12.8%
4	病院	332	28.3%
5	医院・クリニック・診療所	609	51.9%
6	郵便局	667	56.9%
7	市役所・市役所出張所	321	27.4%
8	市民センター	499	42.5%
9	警察署・交番・駐在所	543	46.3%
10	図書館	468	39.9%
11	文化・学習施設	99	8.4%
12	公園	738	62.9%
13	スポーツ施設	176	15.0%
14	レクリエーション施設	67	5.7%
	無回答	46	3.9%
	合計(人)	1,173	100%
	無回答除く合計(件)	6,326	-

自宅から徒歩で利用できる施設は、「コンビニ」が最も多く82.2%です。次いで「公園」の62.9%、「スーパーや大型店」の59.1%が続きます。

日常の外出で買い物は、コンビニを除くと4割の人は徒歩以外の交通手段となります。

また、医院・クリニック・診療所は51.9%、病院は28.3%であることから、通院の多くは徒歩以外の交通手段となります。

Q3. 徒歩で利用できる施設（世帯） × Q1. 住所（世帯）

MA SA 住所	施設				実数				割合
		スーパー・ コンビニ等 商業施設	病院・医 院・クリニッ ク・診療所	無回答	計(人)	スーパー・ コンビニ等 商業施設	病院・医 院・クリニッ ク・診療所	無回答	
1 勝沼		14	6	0	14	100.0%	42.9%	0.0%	100%
2 西分町		7	7	0	7	100.0%	100.0%	0.0%	100%
3 住江町		2	1	0	2	100.0%	50.0%	0.0%	100%
4 本町		7	5	0	7	100.0%	71.4%	0.0%	100%
5 仲町		3	1	0	3	100.0%	33.3%	0.0%	100%
6 上町		1	1	0	1	100.0%	100.0%	0.0%	100%
7 森下町		4	4	0	5	80.0%	80.0%	0.0%	100%
8 裏宿町		6	5	0	9	66.7%	55.6%	0.0%	100%
9 天ヶ瀬町		9	6	0	12	75.0%	50.0%	0.0%	100%
10 滝ノ上町		3	2	1	4	75.0%	50.0%	25.0%	100%
11 大柳町		14	8	0	15	93.3%	53.3%	0.0%	100%
12 日向和田		18	2	1	23	78.3%	8.7%	4.3%	100%
13 駒木町		6	4	2	17	35.3%	23.5%	11.8%	100%
14 長淵		59	46	1	64	92.2%	71.9%	1.6%	100%
15 友田町		27	17	4	39	69.2%	43.6%	10.3%	100%
16 千ヶ瀬町		64	53	2	66	97.0%	80.3%	3.0%	100%
17 吹上		8	5	2	11	72.7%	45.5%	18.2%	100%
18 野上町		59	37	1	60	98.3%	61.7%	1.7%	100%
19 大門		41	17	0	41	100.0%	41.5%	0.0%	100%
20 塩船		3	0	0	3	100.0%	0.0%	0.0%	100%
21 谷野		4	1	1	6	66.7%	16.7%	16.7%	100%
22 木野下		8	2	3	14	57.1%	14.3%	21.4%	100%
23 今寺		33	20	0	35	94.3%	57.1%	0.0%	100%
24 東青梅		77	64	1	80	96.3%	80.0%	1.3%	100%
25 根ヶ布		11	7	2	16	68.8%	43.8%	12.5%	100%
26 師岡町		39	24	2	42	92.9%	57.1%	4.8%	100%
27 新町		144	90	1	146	98.6%	61.6%	0.7%	100%
28 末広町		8	3	1	9	88.9%	33.3%	11.1%	100%
29 河辺町		137	115	0	145	94.5%	79.3%	0.0%	100%
30 藤橋		24	19	1	31	77.4%	61.3%	3.2%	100%
31 今井		35	11	3	46	76.1%	23.9%	6.5%	100%
32 畑中		15	2	0	15	100.0%	13.3%	0.0%	100%
33 和田町		6	4	1	10	60.0%	40.0%	10.0%	100%
34 梅郷		41	35	1	45	91.1%	77.8%	2.2%	100%
35 柚木町		19	13	1	20	95.0%	65.0%	5.0%	100%
36 二俣尾		19	12	0	20	95.0%	60.0%	0.0%	100%
37 沢井		0	4	0	4	0.0%	100.0%	0.0%	100%
38 御岳本町		1	0	0	3	33.3%	0.0%	0.0%	100%
39 御岳		1	1	0	5	20.0%	20.0%	0.0%	100%
40 御岳山		0	0	0	0	-	-	-	-
41 富岡		2	0	3	8	25.0%	0.0%	37.5%	100%
42 小曾木		0	12	0	18	0.0%	66.7%	0.0%	100%
43 黒沢		2	1	5	18	11.1%	5.6%	27.8%	100%
44 成木		6	1	6	19	31.6%	5.3%	31.6%	100%
無回答		15	10	0	15	100.0%	66.7%	0.0%	100%
合計(人)		1,002	678	46	1,173	85.4%	57.8%	3.9%	100%

Q4. 性別（個人）

SA		実数	割合
1	女性	1,139	52.5%
2	男性	952	43.9%
3	回答しない	25	1.2%
4	その他	1	0.0%
	無回答	53	2.4%
	合計(人)	2,170	100%

Q5. 年齢（個人）

SA		実数	割合
1	18歳未満	15	0.7%
2	18～19歳	23	1.1%
3	20～29歳	125	5.8%
4	30～39歳	154	7.1%
5	40～49歳	307	14.1%
6	50～59歳	441	20.3%
7	60～69歳	486	22.4%
8	70～74歳	374	17.2%
9	75歳以上	217	10.0%
	無回答	28	1.3%
	合計(人)	2,170	100%

年齢は、「60歳代」の22.4%が最も多く、「50歳代」の20.3%が続きます。

60歳以上は49.6%となります。一方、青梅市の令和4年2月現在の人口構成は、60歳以上で37.7%です。このため、本アンケートは60歳以上の意向に偏りがあるということになります。

Q6. 職業（個人）

SA		実数	割合
1	会社員等の勤め人	733	33.8%
2	自営業	160	7.4%
3	パート、アルバイト	373	17.2%
4	専業主婦（大）	295	13.6%
5	高校生	15	0.7%
6	高校生以外の学生・生徒・児童	50	2.3%
7	無職	460	21.2%
8	その他	22	1.0%
	無回答	62	2.9%
	合計(人)	2,170	100%

職業は、「会社員等の勤め人」の33.8%が最も多く、「無職」の21.2%が続きます。

高校生の回答は15人、高校生以外の学生等は50人です。

Q7. 運転免許証（個人）

SA		実数	割合
1	所持している	1,784	82.2%
2	所持しているが、自主返納を考えている	29	1.3%
3	所持していたが、自主返納した	54	2.5%
4	所持していない（免許更新せず失効した方を含む）	283	13.0%
	無回答	20	0.9%
	合計(人)	2,170	100%

自動車の運転免許証は、「所持している」が圧倒的に多く82.2%です。令和2年度に実施した河辺町1～3丁目へのアンケートでは72.2%でしたので、10ポイントほど高くなります。

所持していない人は、15.5%になります。

Q8. 自動車やバイク、自転車など、普段自由に利用できるもの（個人）

MA		実数	割合
1	自分で運転する自動車を持っている	1,493	68.8%
2	乗せてもらう自動車がある	463	21.3%
3	バイクを持っている	129	5.9%
4	自転車を持っている	829	38.2%
5	利用できる乗り物は持っていない	143	6.6%
6	その他	3	0.1%
	無回答	20	0.9%
	合計(人)	2,170	100%
	無回答除く合計(件)	3,060	-

乗り物がある人は、「自分で運転する自動車」の68.8%が最も多く、「自転車」の38.2%が続きます。

「自分で運転する自動車」と「乗せてもらう自動車」をあわせると、90.1%になります。

Q9. 新型コロナウイルス感染症流行による地域公共交通の利用頻度の変化（個人）

SA		実数	割合
1	あまり変わらない	1,401	64.6%
2	増えた	26	1.2%
3	1～2割ほど減った（少し減った）	219	10.1%
4	3～4割ほど減った	130	6.0%
5	5割以上減った	348	16.0%
	無回答	46	2.1%
	合計(人)	2,170	100%

公共交通利用に対するコロナ禍の影響は、「あまり変わらない」の64.6%が最も多く、「5割以上減った」の16.0%が続きます。

「減った」とする回答をあわせると、32.1%になります。

Q10. 新型コロナウイルス感染症流行が収束したあとの生活様式の変化（個人）

MA		実数	割合
1	外出の控え	1,068	49.2%
2	在宅勤務	139	6.4%
3	インターネット・宅配等による買い物	290	13.4%
4	在宅学習	49	2.3%
5	変わらない	938	43.2%
	無回答	41	1.9%
	合計(人)	2,170	100%
	無回答除く合計(件)	2,484	-

コロナ禍による生活様式の変化は、「外出の控え」の49.2%が最も多く、「変わらない」の43.2%が続きます。

「在宅勤務」は6.4%、「在宅学習」は2.3%です。

2. 日常生活における「外出時の移動」について

Q11. 日常生活での「外出時の移動」で、困っていますか（個人）

SA		実数	割合
1	困っている	308	14.2%
2	困っていない	1,798	82.9%
	無回答	64	2.9%
	合計(人)	2,170	100%

日常の外出で、「困っていない」が82.9%と多い状況にあります。

「困っている」は14.2%です。

Q11. 日常生活での「外出時の移動」で、困っていますか（個人） × Q1. 住所（世帯）

SA	住所	外出時の移動			実数 計	割合		
		1 困っている	2 困っていない	無回答		1 困っている	2 困っていない	割合 計
1	勝沼	9	19	0	28	32.1%	67.9%	100%
2	西分町	0	12	1	13	0.0%	92.3%	100%
3	住江町	1	3	0	4	25.0%	75.0%	100%
4	本町	0	12	1	13	0.0%	92.3%	100%
5	仲町	0	5	0	5	0.0%	100.0%	100%
6	上町	0	2	0	2	0.0%	100.0%	100%
7	森下町	3	6	0	9	33.3%	66.7%	100%
8	裏宿町	5	12	0	17	29.4%	70.6%	100%
9	天ヶ瀬町	1	21	1	23	4.3%	91.3%	100%
10	滝ノ上町	0	6	2	8	0.0%	75.0%	100%
11	大柳町	2	23	2	27	7.4%	85.2%	100%
12	日向和田	9	35	1	45	20.0%	77.8%	100%
13	駒木町	8	23	1	32	25.0%	71.9%	100%
14	長淵	29	86	5	120	24.2%	71.7%	100%
15	友田町	11	61	0	72	15.3%	84.7%	100%
16	千ヶ瀬町	28	90	4	122	23.0%	73.8%	100%
17	吹上	2	19	0	21	9.5%	90.5%	100%
18	野上町	10	94	1	105	9.5%	89.5%	100%
19	大門	10	64	3	77	13.0%	83.1%	100%
20	塩船	3	2	0	5	60.0%	40.0%	100%
21	谷野	0	11	0	11	0.0%	100.0%	100%
22	木野下	3	24	0	27	11.1%	88.9%	100%
23	今寺	4	63	1	68	5.9%	92.6%	100%
24	東青梅	11	124	4	139	7.9%	89.2%	100%
25	根ヶ布	9	22	1	32	28.1%	68.8%	100%
26	師岡町	6	71	2	79	7.6%	89.9%	100%
27	新町	20	239	9	268	7.5%	89.2%	100%
28	末広町	0	16	2	18	0.0%	88.9%	100%
29	河辺町	28	222	8	258	10.9%	86.0%	100%
30	藤橋	10	47	2	59	16.9%	79.7%	100%
31	今井	20	64	3	87	23.0%	73.6%	100%
32	畑中	4	23	2	29	13.8%	79.3%	100%
33	和田町	3	16	0	19	15.8%	84.2%	100%
34	梅郷	18	67	1	86	20.9%	77.9%	100%
35	柚木町	4	34	0	38	10.5%	89.5%	100%
36	二俣尾	5	29	3	37	13.5%	78.4%	100%
37	沢井	0	7	0	7	0.0%	100.0%	100%
38	御岳本町	1	5	0	6	16.7%	83.3%	100%
39	御岳	0	9	0	9	0.0%	100.0%	100%
40	御岳山	0	0	0	0	-	-	-
41	富岡	5	10	0	15	33.3%	66.7%	100%
42	小曾木	8	24	1	33	24.2%	72.7%	100%
43	黒沢	7	27	1	35	20.0%	77.1%	100%
44	成木	8	26	1	35	22.9%	74.3%	100%
	無回答	3	23	1	27	11.1%	85.2%	100%
	合計(人)	308	1,798	64	2,170	14.2%	82.9%	100%

Q11. 日常生活での「外出時の移動」で、困っていますか（個人） × Q5. 年齢（個人）

SA	外出時の移動 年齢	1	2		実数	1	2		割合
		困っている	困っていない	無回答	計	困っている	困っていない	無回答	計
1	18歳未満	2	10	3	15	13.3%	66.7%	20.0%	100%
2	18～19歳	8	14	1	23	34.8%	60.9%	4.3%	100%
3	20～29歳	24	98	3	125	19.2%	78.4%	2.4%	100%
4	30～39歳	22	130	2	154	14.3%	84.4%	1.3%	100%
5	40～49歳	33	266	8	307	10.7%	86.6%	2.6%	100%
6	50～59歳	51	381	9	441	11.6%	86.4%	2.0%	100%
7	60～69歳	52	420	14	486	10.7%	86.4%	2.9%	100%
8	70～74歳	57	308	9	374	15.2%	82.4%	2.4%	100%
9	75歳以上	52	155	10	217	24.0%	71.4%	4.6%	100%
	無回答	7	16	5	28	25.0%	57.1%	17.9%	100%
	合計(人)	308	1,798	64	2,170	14.2%	82.9%	2.9%	100%

日常の外出で困っているのは、10・20歳台と70歳台以上が多い状況にあります。

Q12. 日常生活での「外出時の移動」で、困っている場合の移動内容（個人）

※Q11：困っている人

1. 出発地

SA		実数	割合
1	自宅	254	82.5%
2	その他	7	2.3%
	無回答	47	15.3%
	合計(人)	308	100%

困っている人の出発地は、「自宅」が多く82.5%になります。

〈その他の出発地〉

グループホーム、ハリ・マッサージ、羽村、東青梅駅、河辺駅、複数の移動
10時以降、小作駅から自宅に帰るためのバスの運行本数が少なく、雨の中30分かけて歩いて帰ることがある。暗い中、女性一人で歩くのは危険なので、10時以降の本数が増えたらいいと思う

Q12. 日常生活での「外出時の移動」で、困っている場合の移動内容（個人）

※Q11：困っている人

2. 目的地

MA		実数	割合
1	商業施設	41	13.3%
2	駅	54	17.5%
3	医院・病院	28	9.1%
4	官公庁施設	4	1.3%
5	教育・文化・スポーツ施設	11	3.6%
6	福祉施設	2	0.6%
7	職場・仕事先	16	5.2%
8	実家・親戚・知人宅	2	0.6%
9	自宅	2	0.6%
10	地名（市内）	12	3.9%
11	地名（市外）、路線名	21	6.8%
12	その他（具体的な目的地なし）	4	1.3%
	無回答	111	36.0%
	合計(人)	308	100%
	無回答除く合計(件)	197	-

困っている人の目的地は、「駅」が最も多く17.5%、次いで「商業施設」が13.3%、「医院・病院」が9.1%になります。

〈商業施設〉 スーパー 大型商業施設 大型ショッピングモール 福島屋 イオンモール イベント会場 ホームセンター、大型家電店 イオン河辺店 今寺、カインズ 郵便局 コンビニ、100均等 スーパーいなかや 青梅 飲食店 商業施設（大型） 新町地区 ホームセンター 周辺の飲食店	〈駅〉 東青梅駅 河辺駅 青梅駅 羽村駅 小作駅 立川駅 武蔵小金井駅 福生駅 金子駅、飯能駅 駅 〈地名（市内）〉 河辺 藤橋 本町 東青梅 河辺方面 長洲	〈医院・病院〉 高木病院 市内病院等 後藤眼科 藤橋高木病院 井上医院 青梅総合病院 福生病院 通院先のクリニック 医院等 〈地名（市外）、路線名〉 西国分寺 昭島・立川 西立川 日の出町、清瀬市 あきる野市秋川 府中本町 日野市 八王子 高幡不動	〈官公庁・教員・文化・福祉等〉 市役所 市民センター等 図書館 大学 学校 美術館 5丁目グラウンド カープス東青梅 八工子市介護施設 LITALICOワークス立川北 西武拝島線沿線 青梅線、八高線 都心 渋谷 新宿 浅草橋 練馬区
---	--	---	---

Q12. 日常生活での「外出時の移動」で、困っている場合の移動内容（個人）

※Q11：困っている人

3. 移動目的

SA		実数	割合
1	通勤	73	23.7%
2	通学	12	3.9%
3	買物	103	33.4%
4	通院	61	19.8%
5	その他	31	10.1%
	無回答	28	9.1%
	合計(人)	308	100%

困っている人の移動目的は、「買物」の33.4%が最も多く、「通勤」の23.7%、「通院」の19.8%が続きます。

Q12. 日常生活での「外出時の移動」で、困っている場合の移動内容（個人）

※Q11：困っている人

3. 移動目的（その他）

SA		実数	割合
1	趣味・レクリエーション・食事等	6	19.4%
2	送迎	3	9.7%
3	仕事	4	12.9%
4	知人、親子等に関する内容	3	9.7%
5	病院見舞い等	4	12.9%
6	その他（具体的内容なし）	4	12.9%
	無回答	7	22.6%
	合計(人)	31	100%

Q12. 日常生活での「外出時の移動」で、困っている場合の移動内容（個人）

※Q11：困っている人

4. 出発時刻

※回答のあった時刻のみ

SA	出発時刻 ※	実数	割合	時間帯 計	実数	割合
1	4時 50分	1	0.3%	4時	1	0.3%
2	5時 30分	3	1.0%			
3	5時 55分	1	0.3%	5時	4	1.3%
4	6時 00分	5	1.6%			
5	6時 02分	1	0.3%			
6	6時 15分	1	0.3%			
7	6時 20分	1	0.3%			
8	6時 25分	1	0.3%			
9	6時 30分	10	3.2%			
10	6時 40分	1	0.3%			
11	6時 45分	1	0.3%			
12	6時 50分	5	1.6%	6時	26	8.4%
13	7時 00分	11	3.6%			
14	7時 15分	3	1.0%			
15	7時 30分	4	1.3%			
16	7時 40分	2	0.6%			
17	7時 50分	1	0.3%	7時	21	6.8%
18	8時 00分	10	3.2%			
19	8時 20分	1	0.3%			
20	8時 30分	3	1.0%			
21	8時 40分	1	0.3%			
22	8時 43分	1	0.3%	8時	16	5.2%
23	9時 00分	16	5.2%			
24	9時 10分	1	0.3%			
25	9時 56分	1	0.3%	9時	18	5.8%
26	10時 00分	7	2.3%			
27	10時 15分	1	0.3%			
28	10時 30分	2	0.6%	10時	10	3.2%
29	11時 00分	5	1.6%			
30	11時 30分	1	0.3%	11時	6	1.9%
31	12時 05分	1	0.3%	12時	1	0.3%
32	13時 00分	2	0.6%	13時	2	0.6%
33	14時 00分	1	0.3%			
34	14時 30分	1	0.3%	14時	2	0.6%
35	16時 00分	3	1.0%	16時	3	1.0%
36	17時 00分	1	0.3%	17時	1	0.3%
37	18時 00分	4	1.3%	18時	4	1.3%
38	22時 40分	1	0.3%	22時	1	0.3%
39	決まった時刻はない	146	47.4%			
	無回答	46	14.9%			
	合計(人)	308	100%			

困っている人の出発時刻は、「決まった時刻はない」が47.4%と最も多くなっています。具体的な時刻では「6時台」の8.4%が最も多く、6～9時台が各5%以上で26.3%を占めています。

Q12. 日常生活での「外出時の移動」で、困っている場合の移動内容（個人）

※Q11：困っている人

5. 頻度

SA		実数	割合
1	週5日以上	56	18.2%
2	週3～4日	55	17.9%
3	週1～2日	86	27.9%
4	週1日未満	71	23.1%
	無回答	40	13.0%
	合計(人)	308	100%

困っている人の外出頻度は、「週1～2日」の27.9%が最も多く、「週1日未満」の23.1%、「週5日以上」の18.2%が続きます。

週3日以上でみると、36.1%になります。

Q13. 「外出時の移動」で、困っている、不便を感じている内容（個人）

※Q11：困っている人

MA		実数	割合
1	交通手段がなく、徒歩や自転車利用は大変	122	39.6%
2	交通手段がなく、送迎やタクシーが必要	63	20.5%
3	路線バスはあるが、希望の時間に合わない	158	51.3%
4	自宅などの出発地から、利用するバス停が遠い	71	23.1%
5	施設などの目的地から、利用するバス停が遠い	37	12.0%
6	どこに行くにも坂があるため、大変	116	37.7%
7	近くに病院やスーパー・コンビニがない	109	35.4%
8	身体に障がいがあり、路線バスを利用しづらい	22	7.1%
9	その他	36	11.7%
	無回答	18	5.8%
	合計(人)	308	100%
	無回答除く合計(件)	734	-

困っている人の理由は、「路線バスはあるが、希望の時間に合わない」の51.3%が最も多く、「交通手段がなく、徒歩や自転車利用は大変」の39.6%、「どこに行くにも坂があるため、大変」の37.7%が続きます。

交通手段がない、または遠いことを問題としているのは、95.1%になります。

路線バスを問題としているのは、93.5%になります。

坂を問題としているのは、37.7%です。

Q13. 「外出時の移動」で、困っている、不便を感じている内容（個人）
（その他）

※Q11：困っている人

MA		実数	割合
1	移動手段全般	10	27.8%
2	バスの利便性が低下している	12	33.3%
3	電車の本数が少ない	9	25.0%
4	施設が不便、不足	3	8.3%
	合計(件)	36	-

※平成23年度調査では、「路線バスはあるが、希望の時間に合わない」が最も多く、ついで「交通手段がなく、徒歩や自転車利用は大変」が多いという結果でしたので、今回も同様です。

Q13. 「外出時の移動」で、困っている、不便を感じている内容（個人） × Q1. 住所（世帯）

※Q11：困っている人

MA	困っている内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9			実数
		交通手段がなく、徒歩や自転車利用は大変	交通手段がなく、送迎やタクシーが必要	路線バスはあるが、希望の時間に合わない	自宅などの出発地から、利用するバス停が遠い	施設などの目的地から、利用するバス停が遠い	どこに行くにも坂があるため、大変	近くに病院やスーパー・コンビニがない	身体に障がいがあり、路線バスを利用しづらい	その他	無回答	合計（人）	無回答除く合計（件）
SA	住所												
1	勝沼	5	4	1	6	0	4	4	0	0	1	9	24
2	西分町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	住江町	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
4	本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	仲町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	上町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	森下町	0	0	2	0	0	2	3	0	0	0	3	7
8	裏宿町	3	0	3	0	0	0	4	0	1	0	5	11
9	天ヶ瀬町	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
10	滝ノ上町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	大柳町	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2
12	日向和田	3	1	2	2	0	6	7	0	3	0	9	24
13	駒木町	4	2	4	0	2	2	8	0	0	0	8	22
14	長淵	10	4	22	4	1	12	7	0	3	3	29	63
15	友田町	4	2	7	2	2	9	4	2	0	0	11	32
16	千ヶ瀬町	9	2	9	11	2	18	5	0	0	5	28	56
17	吹上	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	2	4
18	野上町	5	4	3	1	3	0	1	2	2	0	10	21
19	大門	4	3	4	1	3	4	3	0	0	2	10	22
20	塩船	1	0	2	2	1	0	0	1	0	0	3	7
21	谷野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	木野下	0	1	1	0	0	1	3	2	0	0	3	8
23	今寺	0	0	3	1	0	0	1	1	0	0	4	6
24	東青梅	3	3	1	0	1	0	2	3	3	1	11	16
25	根ヶ布	5	3	7	3	0	7	5	0	0	0	9	30
26	師岡町	2	1	4	3	0	2	1	0	2	1	6	15
27	新町	10	3	12	3	3	0	2	2	4	2	20	39
28	末広町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	河辺町	14	10	7	10	9	13	5	7	4	0	28	79
30	藤橋	3	1	8	0	0	0	3	0	1	0	10	16
31	今井	10	5	16	10	2	6	6	0	1	0	20	56
32	畑中	0	0	3	0	1	2	1	1	1	0	4	9
33	和田町	0	0	1	0	1	1	2	0	0	1	3	5
34	梅郷	5	2	11	3	1	6	3	1	3	2	18	35
35	柚木町	1	0	3	0	0	3	1	0	1	0	4	9
36	二俣尾	1	0	0	0	0	0	1	0	4	0	5	6
37	沢井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38	御岳本町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
39	御岳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40	御岳山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
41	富岡	5	3	5	2	0	4	4	0	0	0	5	23
42	小曾木	4	2	5	1	1	4	4	0	0	0	8	21
43	黒沢	2	3	2	4	0	6	7	0	1	0	7	25
44	成木	6	4	8	2	2	3	8	0	0	0	8	33
	無回答	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3	4
	合計（人）	122	63	158	71	37	116	109	22	36	18	308	734

Q13. 「外出時の移動」で、困っている、不便を感じている内容（個人） × Q1. 住所（世帯）

※Q11：困っている人

SA 住所	困っている内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9			割合
		交通手段がなく、徒歩や自転車利用は大変	交通手段がなく、送迎やタクシーが必要	路線バスはあるが、希望の時間に合わない	自宅などの出発地から、利用するバス停が遠い	施設などの目的地から、利用するバス停が遠い	どこに行くにも坂があるため、大変	近くに病院やスーパー・コンビニがない	身体に障がいがあり、路線バスを利用しづらい	その他	無回答	合計（人）	無回答除く合計（件）
1 勝沼		55.6%	44.4%	11.1%	66.7%	0.0%	44.4%	44.4%	0.0%	0.0%	11.1%	100%	-
2 西分町		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3 住江町		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	-
4 本町		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 仲町		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6 上町		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7 森下町		0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	66.7%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	-
8 裏宿町		60.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	100%	-
9 天ヶ瀬町		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	-
10 滝ノ上町		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11 大柳町		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	-
12 日向和田		33.3%	11.1%	22.2%	22.2%	0.0%	66.7%	77.8%	0.0%	33.3%	0.0%	100%	-
13 駒木町		50.0%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	-
14 長淵		34.5%	13.8%	75.9%	13.8%	3.4%	41.4%	24.1%	0.0%	10.3%	10.3%	100%	-
15 友田町		36.4%	18.2%	63.6%	18.2%	18.2%	81.8%	36.4%	18.2%	0.0%	0.0%	100%	-
16 千ヶ瀬町		32.1%	7.1%	32.1%	39.3%	7.1%	64.3%	17.9%	0.0%	0.0%	17.9%	100%	-
17 吹上		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	-
18 野上町		50.0%	40.0%	30.0%	10.0%	30.0%	0.0%	10.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100%	-
19 大門		40.0%	30.0%	40.0%	10.0%	30.0%	40.0%	30.0%	0.0%	0.0%	20.0%	100%	-
20 塩船		33.3%	0.0%	66.7%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	100%	-
21 谷野		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22 木野下		0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	100%	-
23 今寺		0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100%	-
24 東青梅		27.3%	27.3%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	18.2%	27.3%	27.3%	9.1%	100%	-
25 根ヶ布		55.6%	33.3%	77.8%	33.3%	0.0%	77.8%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	-
26 師岡町		33.3%	16.7%	66.7%	50.0%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	33.3%	16.7%	100%	-
27 新町		50.0%	15.0%	60.0%	15.0%	15.0%	0.0%	10.0%	10.0%	20.0%	10.0%	100%	-
28 末広町		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29 河辺町		50.0%	35.7%	25.0%	35.7%	32.1%	46.4%	17.9%	25.0%	14.3%	0.0%	100%	-
30 藤橋		30.0%	10.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	0.0%	10.0%	0.0%	100%	-
31 今井		50.0%	25.0%	80.0%	50.0%	10.0%	30.0%	30.0%	0.0%	5.0%	0.0%	100%	-
32 畑中		0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	100%	-
33 和田町		0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	100%	-
34 梅郷		27.8%	11.1%	61.1%	16.7%	5.6%	33.3%	16.7%	5.6%	16.7%	11.1%	100%	-
35 柚木町		25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	100%	-
36 二俣尾		20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	80.0%	0.0%	100%	-
37 沢井		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38 御岳本町		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100%	-
39 御岳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40 御岳山		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
41 富岡		100.0%	60.0%	100.0%	40.0%	0.0%	80.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	-
42 小曾木		50.0%	25.0%	62.5%	12.5%	12.5%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	-
43 黒沢		28.6%	42.9%	28.6%	57.1%	0.0%	85.7%	100.0%	0.0%	14.3%	0.0%	100%	-
44 成木		75.0%	50.0%	100.0%	25.0%	25.0%	37.5%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	-
無回答		66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	100%	-
合計（人）		39.6%	20.5%	51.3%	23.1%	12.0%	37.7%	35.4%	7.1%	11.7%	5.8%	100%	-

3. 「鉄道」と「路線バス」の利用について

Q14. 自宅からの鉄道利用について（個人）

1. 普段の鉄道利用

SA		実数	割合
1	利用する	1,108	51.1%
2	利用しない	1,017	46.9%
	無回答	45	2.1%
	合計(人)	2,170	100%

自宅からの鉄道利用は、「利用する」が51.1%で、「利用しない」が46.9%です。

Q14. 自宅からの鉄道利用について（個人）

※Q14-1：鉄道を利用する人

2. 最寄りの駅名

SA	路線	駅	実数	割合
1	JR青梅線	青梅駅	136	12.3%
2		東青梅駅	190	17.1%
3		河辺駅	333	30.1%
4		宮ノ平駅	25	2.3%
5		日向和田駅	48	4.3%
6		石神前駅	6	0.5%
7		二俣尾駅	25	2.3%
8		埴畑駅	3	0.3%
9		沢井駅	4	0.4%
10		御嶽駅	5	0.5%
11		小作駅	273	24.6%
12		羽村駅	1	0.1%
13		川井駅	0	0.0%
14	JR八高線	金子駅	7	0.6%
15	御岳登山鉄道	滝本駅	0	0.0%
16		御岳山駅	0	0.0%
17	西武池袋線	飯能駅	3	0.3%
18		入間市駅	1	0.1%
	無回答		48	4.3%
	合計(人)		1,108	100%

自宅からの鉄道利用で、「利用する」と回答した人の最寄り駅は、「河辺駅」の30.1%が最も多く、「小作駅」の24.6%、「東青梅駅」の17.1%、「青梅駅」の12.3%が続きます。

青梅駅より西側のJR青梅線の市内の駅をあわせると、10.5%になります。

Q14. 自宅からの鉄道利用について（個人）

※Q14-1：鉄道を利用する人

3. 駅までの交通手段

SA		実数	割合
1	徒歩	595	53.7%
2	自転車	138	12.5%
3	バイク	15	1.4%
4	自家用車	112	10.1%
5	路線バス	176	15.9%
6	家族の送迎	53	4.8%
7	タクシー	5	0.5%
8	その他	0	0.0%
	無回答	14	1.3%
	合計(人)	1,108	100%

自宅からの鉄道利用で、「利用する」と回答した人の駅までの交通手段は、「徒歩」の53.7%が最も多い状況にあります。

そのほかでは、「路線バス」の15.9%、「自転車」の12.5%、「自家用車」の10.1%が続きます。

Q14. 自宅からの鉄道利用について（個人）

※Q14-1：鉄道を利用する人

2. 最寄りの駅名 × 3. 駅までの交通手段

SA	交通手段 路線 駅		1	2	3	4	5	6	7	8	無回答	実数 計
			徒歩	自転車	バイク	自家用車	路線バス	家族の送迎	タクシー	その他		
1	JR青梅線	青梅駅	82	3	4	9	35	3	0	0	0	136
2		東青梅駅	122	10	3	18	23	11	2	0	1	190
3		河辺駅	195	43	4	27	45	14	3	0	2	333
4		宮ノ平駅	24	0	1	0	0	0	0	0	0	25
5		日向和田駅	39	5	0	0	1	3	0	0	0	48
6		石神前駅	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
7		二俣尾駅	24	0	0	0	0	1	0	0	0	25
8		軍畑駅	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
9		沢井駅	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
10		御嶽駅	4	0	0	0	1	0	0	0	0	5
11		小作駅	79	65	3	50	57	18	0	0	1	273
12		羽村駅	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
13		川井駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	JR八高線	金子駅	1	3	0	1	1	1	0	0	0	7
15	御岳登山鉄道	滝本駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16		御岳山駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	西武池袋線	飯能駅	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
18		入間市駅	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	無回答		12	7	0	4	13	2	0	0	10	48
	合計(人)		595	138	15	112	176	53	5	0	14	1,108

SA	交通手段 路線 駅		1	2	3	4	5	6	7	8	無回答	割合 計
			徒歩	自転車	バイク	自家用車	路線バス	家族の送迎	タクシー	その他		
1	JR青梅線	青梅駅	60.3%	2.2%	2.9%	6.6%	25.7%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
2		東青梅駅	64.2%	5.3%	1.6%	9.5%	12.1%	5.8%	1.1%	0.0%	0.5%	100%
3		河辺駅	58.6%	12.9%	1.2%	8.1%	13.5%	4.2%	0.9%	0.0%	0.6%	100%
4		宮ノ平駅	96.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
5		日向和田駅	81.3%	10.4%	0.0%	0.0%	2.1%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
6		石神前駅	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
7		二俣尾駅	96.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
8		軍畑駅	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
9		沢井駅	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
10		御嶽駅	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
11		小作駅	28.9%	23.8%	1.1%	18.3%	20.9%	6.6%	0.0%	0.0%	0.4%	100%
12		羽村駅	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
13		川井駅	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	JR八高線	金子駅	14.3%	42.9%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
15	御岳登山鉄道	滝本駅	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16		御岳山駅	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	西武池袋線	飯能駅	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
18		入間市駅	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	無回答		25.0%	14.6%	0.0%	8.3%	27.1%	4.2%	0.0%	0.0%	20.8%	100%
	合計(人)		53.7%	12.5%	1.4%	10.1%	15.9%	4.8%	0.5%	0.0%	1.3%	100%

駅までの交通手段は、市内はすべて「徒歩」が最も多い状況にあります。

徒歩以外では、青梅駅と御嶽駅と小作駅の路線バスが20%台にあります。また、小作駅と石神前駅と河辺駅と日向和田駅の自転車が10・20台にあります。

Q14. 自宅からの鉄道利用について（個人）

※Q14-1：鉄道を利用する人

4. 駅までの所要時間

SA		実数	割合
1	5分未満	63	5.7%
2	5～10分未満	196	17.7%
3	10～20分未満	645	58.2%
4	20～30分未満	129	11.6%
5	30～45分未満	34	3.1%
6	45～60分未満	2	0.2%
7	60分以上	2	0.2%
	無回答	37	3.3%
	合計(人)	1,108	100%

自宅からの鉄道利用で、「利用する」と回答した人の駅までの所要時間は、「10～20分未満」の58.2%が最も多く、「5～10分未満」の17.7%、「20～30分未満」の11.6%が続きます。

Q14. 自宅からの鉄道利用について（個人）

※Q14-1：鉄道を利用する人

2. 最寄りの駅名 × 4. 駅までの所要時間

SA	駅までの所要時間 路線 駅		1	2	3	4	5	6	7	無回答	実数 計
			5分未満	5～10分未満	10～20分未満	20～30分未満	30～45分未満	45～60分未満	60分以上		
1	JR青梅線	青梅駅	8	18	86	19	2	0	0	3	136
2		東青梅駅	15	42	101	15	13	0	0	4	190
3		河辺駅	24	66	199	24	9	2	2	7	333
4		宮ノ平駅	5	8	10	2	0	0	0	0	25
5		日向和田駅	7	7	28	6	0	0	0	0	48
6		石神前駅	0	1	4	1	0	0	0	0	6
7		二俣尾駅	2	7	16	0	0	0	0	0	25
8		軍畑駅	0	0	3	0	0	0	0	0	3
9		沢井駅	2	2	0	0	0	0	0	0	4
10		御嶽駅	0	3	2	0	0	0	0	0	5
11		小作駅	0	35	170	55	8	0	0	5	273
12		羽村駅	0	0	1	0	0	0	0	0	1
13		川井駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	JR八高線	金子駅	0	2	3	1	1	0	0	0	7
15	御岳登山鉄道	滝本駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16		御岳山駅	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	西武池袋線	飯能駅	0	0	2	1	0	0	0	0	3
18		入間市駅	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	無回答		0	5	20	5	0	0	0	18	48
	合計(人)		63	196	645	129	34	2	2	37	1,108

SA	駅までの所要時間 路線 駅		1	2	3	4	5	6	7	無回答	割合 計
			5分未満	5～10分未満	10～20分未満	20～30分未満	30～45分未満	45～60分未満	60分以上		
1	JR青梅線	青梅駅	5.9%	13.2%	63.2%	14.0%	1.5%	0.0%	0.0%	2.2%	100%
2		東青梅駅	7.9%	22.1%	53.2%	7.9%	6.8%	0.0%	0.0%	2.1%	100%
3		河辺駅	7.2%	19.8%	59.8%	7.2%	2.7%	0.6%	0.6%	2.1%	100%
4		宮ノ平駅	20.0%	32.0%	40.0%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
5		日向和田駅	14.6%	14.6%	58.3%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
6		石神前駅	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
7		二俣尾駅	8.0%	28.0%	64.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
8		軍畑駅	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
9		沢井駅	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
10		御嶽駅	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
11		小作駅	0.0%	12.8%	62.3%	20.1%	2.9%	0.0%	0.0%	1.8%	100%
12		羽村駅	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
13		川井駅	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	JR八高線	金子駅	0.0%	28.6%	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
15	御岳登山鉄道	滝本駅	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16		御岳山駅	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	西武池袋線	飯能駅	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
18		入間市駅	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	無回答		0.0%	10.4%	41.7%	10.4%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	100%
	合計(人)		5.7%	17.7%	58.2%	11.6%	3.1%	0.2%	0.2%	3.3%	100%

Q14. 自宅からの鉄道利用について（個人）

※Q14-1：鉄道を利用する人

5. 鉄道の利用目的

SA		実数	割合
1	通勤	348	31.4%
2	通学	52	4.7%
3	買物	356	32.1%
4	通院	88	7.9%
5	その他	226	20.4%
	無回答	38	3.4%
	合計(人)	1,108	100%

自宅からの鉄道利用で、「利用する」と回答した人の利用目的は、「買物」の32.1%が最も多く、「通勤」の31.4%が続きます。

Q14. 自宅からの鉄道利用について（個人）

※Q14-1：鉄道を利用する人

5. 鉄道の利用目的（その他）

SA		実数	割合
1	趣味・習い事・食事等	39	17.3%
2	旅行・観光	20	8.8%
3	仕事	15	6.6%
4	知人、親子等訪問	20	8.8%
5	介護等	4	1.8%
6	その他（具体的な内容なし）	20	8.8%
	無回答	108	47.8%
	合計(人)	226	100%

Q14. 自宅からの鉄道利用について（個人）

※Q14-1：鉄道を利用する人

6. 鉄道の乗車時刻(1)

※回答のあった時刻のみ

SA	乗車時刻 ※	実数	割合	時間帯 計	実数	割合
1	4時 00分	1	0.1%	4時	3	0.3%
2	4時 30分	1	0.1%			
3	4時 40分	1	0.1%			
4	5時 00分	3	0.3%			
5	5時 05分	2	0.2%	5時	22	2.0%
6	5時 15分	1	0.1%			
7	5時 20分	1	0.1%			
8	5時 30分	3	0.3%			
9	5時 40分	2	0.2%			
10	5時 42分	1	0.1%			
11	5時 44分	1	0.1%			
12	5時 45分	3	0.3%			
13	5時 46分	1	0.1%			
14	5時 50分	2	0.2%			
15	5時 54分	1	0.1%			
16	5時 55分	1	0.1%			
17	6時 00分	14	1.3%	6時	87	7.9%
18	6時 05分	1	0.1%			
19	6時 10分	4	0.4%			
20	6時 15分	6	0.5%			
21	6時 18分	1	0.1%			
22	6時 20分	3	0.3%			
23	6時 23分	1	0.1%			
24	6時 28分	2	0.2%			
25	6時 30分	28	2.5%			
26	6時 31分	1	0.1%			
27	6時 32分	1	0.1%			
28	6時 33分	2	0.2%			
29	6時 35分	2	0.2%			
30	6時 40分	3	0.3%			
31	6時 43分	1	0.1%			
32	6時 45分	4	0.4%			
33	6時 50分	9	0.8%			
34	6時 51分	1	0.1%			
35	6時 55分	3	0.3%			

自宅からの鉄道利用で、「利用する」と回答した人の乗車時刻は、「7時台」が14.0%と最も多くなっています。次いで、「10時台」の12.5%、「9時台」の9.0%、「8時台」の8.3%となっています。6～10時台で51.6%を占めています。

Q14. 自宅からの鉄道利用について（個人）

※Q14-1：鉄道を利用する人

6. 鉄道の乗車時刻(2)

※回答のあった時刻のみ

SA	乗車時刻 ※	実数	割合	時間帯 計	実数	割合
36	7時 00分	48	4.3%	7時	155	14.0%
37	7時 03分	1	0.1%			
38	7時 05分	2	0.2%			
39	7時 08分	1	0.1%			
40	7時 10分	7	0.6%			
41	7時 13分	1	0.1%			
42	7時 15分	6	0.5%			
43	7時 16分	1	0.1%			
44	7時 20分	11	1.0%			
45	7時 24分	3	0.3%			
46	7時 25分	2	0.2%			
47	7時 28分	2	0.2%			
48	7時 30分	36	3.2%			
49	7時 32分	1	0.1%			
50	7時 35分	3	0.3%			
51	7時 40分	11	1.0%			
52	7時 41分	2	0.2%			
53	7時 43分	1	0.1%			
54	7時 45分	4	0.4%			
55	7時 46分	1	0.1%			
56	7時 47分	2	0.2%			
57	7時 50分	5	0.5%			
58	7時 51分	1	0.1%			
59	7時 54分	1	0.1%			
60	7時 55分	2	0.2%			
61	8時 00分	40	3.6%	8時	92	8.3%
62	8時 05分	1	0.1%			
63	8時 10分	4	0.4%			
64	8時 15分	9	0.8%			
65	8時 17分	1	0.1%			
66	8時 20分	6	0.5%			
67	8時 30分	24	2.2%			
68	8時 35分	2	0.2%			
69	8時 37分	1	0.1%			
70	8時 38分	1	0.1%			
71	8時 40分	2	0.2%			
72	8時 45分	1	0.1%			
73	9時 00分	70	6.3%	9時	100	9.0%
74	9時 10分	1	0.1%			
75	9時 20分	1	0.1%			
76	9時 23分	1	0.1%			
77	9時 30分	21	1.9%			
78	9時 35分	1	0.1%			
79	9時 37分	1	0.1%			
80	9時 45分	1	0.1%			
81	9時 46分	1	0.1%			
82	9時 50分	1	0.1%			
83	9時 53分	1	0.1%			
84	10時 00分	110	9.9%	10時	138	12.5%
85	10時 10分	2	0.2%			
86	10時 15分	1	0.1%			
87	10時 20分	1	0.1%			
88	10時 30分	19	1.7%			
89	10時 35分	1	0.1%			
90	10時 39分	1	0.1%			
91	10時 40分	2	0.2%			
92	10時 50分	1	0.1%			

Q14. 自宅からの鉄道利用について（個人）

※Q14-1：鉄道を利用する人

6. 鉄道の乗車時刻(3)

※回答のあった時刻のみ

SA	乗車時刻 ※	実数	割合	時間帯 計	実数	割合
93	11時 00分	29	2.6%	11時	37	3.3%
94	11時 24分	1	0.1%			
95	11時 30分	6	0.5%			
96	11時 33分	1	0.1%			
97	12時 00分	14	1.3%	12時	18	1.6%
98	12時 05分	1	0.1%			
99	12時 20分	1	0.1%			
100	12時 30分	2	0.2%			
101	13時 00分	15	1.4%	13時	21	1.9%
102	13時 10分	1	0.1%			
103	13時 20分	1	0.1%			
104	13時 30分	4	0.4%			
105	14時 00分	10	0.9%	14時	15	1.4%
106	14時 30分	4	0.4%			
107	14時 50分	1	0.1%			
108	15時 00分	7	0.6%			
109	16時 00分	3	0.3%	16時	5	0.5%
110	16時 30分	2	0.2%			
111	17時 00分	2	0.2%			
112	17時 45分	1	0.1%			
113	18時 00分	1	0.1%	18時	2	0.2%
114	18時 16分	1	0.1%			
115	19時 05分	1	0.1%			
116	19時 30分	1	0.1%			
117	20時 00分	1	0.1%	20時	1	0.1%
118	22時 35分	1	0.1%	22時	1	0.1%
119	23時 00分	1	0.1%	23時	1	0.1%
	無回答	398	35.9%			
	合計(人)	1,108	100%			

Q14. 自宅からの鉄道利用について（個人）

※Q14-1：鉄道を利用する人

7. 鉄道の利用頻度

SA		実数	割合
1	週5日以上	227	20.5%
2	週3～4回	112	10.1%
3	週1～2回	117	10.6%
4	週1日未満	537	48.5%
	無回答	115	10.4%
	合計(人)	1,108	100%

自宅からの鉄道利用で、「利用する」と回答した人の利用頻度は、「週1日未満」の48.5%が最も多く、「週5日以上」の20.5%が続きます。

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

1. 普段の路線バス利用

SA		実数	割合
1	利用する	494	22.8%
2	利用しない	1,624	74.8%
	無回答	52	2.4%
	合計(人)	2,170	100%

自宅からの路線バス利用は、「利用する」が22.8%で、「利用しない」が74.8%です。

※平成23年度調査の「利用する」は21%であり、同様の傾向にあります。

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

2. 最寄りのバス停名〈1〉

※回答のあった停留所のみ

SA	地区(町)	バス停名 ※	実数	割合
1	勝沼	青梅第四小学校前	6	0.3%
2	勝沼	青梅総合高校入口	3	0.1%
3	西分町	西分	5	0.2%
4	西分町	西分二丁目	1	0.0%
5	住江町	住吉神社前	4	0.2%
6	本町	青梅駅前	17	0.8%
7	仲町	仲町	3	0.1%
8	上町	上町	2	0.1%
9	森下町	青梅車庫前	8	0.4%
10	裏宿町	多摩高校前	3	0.1%
11	裏宿町	裏宿町	9	0.4%
12	裏宿町	青梅第一中学校前	2	0.1%
13	大柳町	万年橋	14	0.6%
14	大柳町	大柳	8	0.4%
15	日向和田	日向和田駅	2	0.1%
16	駒木町	郷土博物館入口	7	0.3%
17	駒木町	駒木町	11	0.5%
18	駒木町	駒木町三丁目	5	0.2%
19	長淵	長淵駐在	15	0.7%
20	長淵	万場坂	10	0.5%
21	長淵	玉川神社前	21	1.0%
22	長淵	長淵七丁目	10	0.5%
23	長淵	青梅第二小学校	4	0.2%
24	長淵	長淵一丁目	5	0.2%
25	長淵	長淵四丁目	6	0.3%
26	長淵	上長淵	6	0.3%
27	長淵	中郷	2	0.1%
28	友田町	友田	7	0.3%
29	友田町	四谷	15	0.7%
30	友田町	友田南	7	0.3%
31	友田町	友田神社	4	0.2%
32	友田町	四谷橋	2	0.1%
33	友田町	恵明学園前	7	0.3%
34	千ヶ瀬町	千ヶ瀬二丁目	19	0.9%
35	千ヶ瀬町	千ヶ瀬五丁目	2	0.1%
36	千ヶ瀬町	千ヶ瀬	7	0.3%
37	吹上	吹上	6	0.3%
38	吹上	吹上中学校入口	4	0.2%
39	吹上	吹上しょうぶ公園入口	6	0.3%
40	吹上	宗泉寺	6	0.3%
41	野上町	J A 西東京前	7	0.3%
42	野上町	野上	21	1.0%
43	野上町	河辺駅入口	3	0.1%
44	野上町	看護学校入口	12	0.6%
45	野上町	野上町3丁目	9	0.4%
46	野上町	霞橋	8	0.4%
47	野上町	大門市民センター前	3	0.1%
48	野上町	青梅警察署前	4	0.2%
49	野上町	霞台第二住宅	2	0.1%
50	大門	第三小学校前	10	0.5%
51	大門	塩船観音入口(都営バス)	5	0.2%
52	大門	慶友病院前	14	0.6%
53	塩船	塩船観音入口(西東京バス)	3	0.1%

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

2. 最寄りのバス停名く2）

※回答のあった停留所のみ

SA	地区(町)	バス停名 ※	実数	割合
54	谷野	谷野	18	0.8%
55	木野下	木野下	2	0.1%
56	木野下	木野下神社	2	0.1%
57	今寺	今寺	15	0.7%
58	今寺	今寺榎	9	0.4%
59	東青梅	東青梅駅前(南口)	4	0.2%
60	東青梅	六万公園前	6	0.3%
61	東青梅	妙光院	10	0.5%
62	東青梅	師岡町三丁目	6	0.3%
63	東青梅	総合病院入口	1	0.0%
64	東青梅	東青梅	3	0.1%
65	東青梅	東青梅駅北口	12	0.6%
66	東青梅	青梅市役所前	6	0.3%
67	東青梅	東青梅五丁目	10	0.5%
68	東青梅	東青梅四丁目	4	0.2%
69	東青梅	光明寺下	2	0.1%
70	東青梅	東青梅三丁目	4	0.2%
71	根ヶ布	根ヶ布	6	0.3%
72	根ヶ布	多摩団地前	13	0.6%
73	根ヶ布	諏訪神社前	2	0.1%
74	師岡町	青梅消防署前	2	0.1%
75	新町	畜産試験場	13	0.6%
76	新町	誠明学園	9	0.4%
77	新町	新町小学校入口	5	0.2%
78	新町	新田山公園	2	0.1%
79	新町	鈴法寺跡	6	0.3%
80	新町	新町東	18	0.8%
81	新町	平松北	10	0.5%
82	新町	霞町新町	14	0.6%
83	新町	中原北	3	0.1%
84	新町	平松	11	0.5%
85	新町	青梅新町	7	0.3%
86	新町	宮の前	4	0.2%
87	新町	新町九丁目	1	0.0%
88	新町	誠明学園南	4	0.2%
89	新町	新町四丁目	3	0.1%
90	新町	中原	1	0.0%
91	新町	新町天神社前	3	0.1%
92	新町	平松南	2	0.1%
93	未広町	未広公園	2	0.1%
94	未広町	未広町一丁目	2	0.1%
95	河辺町	河辺駅南口	33	1.5%
96	河辺町	総合病院前	3	0.1%
97	河辺町	河辺駅北口	29	1.3%
98	藤橋	八雲神社	13	0.6%
99	藤橋	藤橋小学校	13	0.6%
100	藤橋	市営住宅	3	0.1%
101	藤橋	藤橋	11	0.5%
102	藤橋	峠下	8	0.4%
103	今井	今井市民センター前	17	0.8%
104	今井	今井三丁目	9	0.4%
105	今井	原今井	19	0.9%
106	今井	三ツ原工業会館	8	0.4%
107	今井	七日市場	8	0.4%
108	今井	三ツ原西	3	0.1%
109	畑中	畑中三丁目	4	0.2%
110	畑中	畑中神社前	8	0.4%
111	畑中	畑中一丁目	6	0.3%
112	畑中	畑中公会堂前	5	0.2%
113	畑中	畑中下西	3	0.1%

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

2. 最寄りのバス停名〈3〉

※回答のあった停留所のみ

SA	地区(町)	バス停名 ※	実数	割合
114	和田町	和田町会館前	10	0.5%
115	和田町	明治橋	1	0.0%
116	和田町	稲荷神社前	4	0.2%
117	梅郷	上郷	16	0.7%
118	梅郷	梅郷	20	0.9%
119	梅郷	吉野梅林	15	0.7%
120	梅郷	下郷	9	0.4%
121	柚木町	奥多摩橋	9	0.4%
122	柚木町	吉野	11	0.5%
123	柚木町	柚木	6	0.3%
124	柚木町	即清寺	5	0.2%
125	御岳本町	御岳駅	1	0.0%
126	御岳	中野	5	0.2%
127	御岳	玉堂美術館	2	0.1%
128	富岡	常福寺入口	3	0.1%
129	富岡	岩蔵温泉	5	0.2%
130	富岡	岩井堂	5	0.2%
131	富岡	中央橋	2	0.1%
132	小曾木	荒田	8	0.4%
133	小曾木	青梅第六中学校前	2	0.1%
134	小曾木	小曾木診療所前	3	0.1%
135	小曾木	東京炭坑前	4	0.2%
136	小曾木	青梅第七小学校前	6	0.3%
137	黒沢	黒沢神社前	6	0.3%
138	黒沢	柳川	13	0.6%
139	黒沢	小枕	3	0.1%
140	黒沢	黒沢	2	0.1%
141	成木	成木三丁目	4	0.2%
142	成木	成木一丁目自治会館前	4	0.2%
143	成木	中里橋	2	0.1%
144	成木	成木市民センター前	1	0.0%
145	成木	成木四丁目	1	0.0%
146	成木	成木二丁目自治会館前	2	0.1%
147	成木	滝成	2	0.1%
148	成木	久道	2	0.1%
149	成木	北小曾木	1	0.0%
150	成木	上成木	1	0.0%
151	成木	梅ヶ平	2	0.1%
152	市外	小作駅東口(羽村市)	5	0.2%
153	市外	小作駅西口(羽村市)	1	0.0%
154	市外	金子橋(埼玉県入間市)	6	0.3%
		無回答	1,118	51.5%
		合計(人)	2,170	100%

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

3. バス停までの所要時間

SA		実数	割合
1	3分未満	216	10.0%
2	3～5分未満	167	7.7%
3	5～7分未満	346	15.9%
4	7～10分未満	53	2.4%
5	10～15分未満	129	5.9%
6	15～20分未満	44	2.0%
7	20～25分未満	11	0.5%
8	25分以上	6	0.3%
	無回答	1,198	55.2%
	合計(人)	2,170	100%

自宅からバス停までの所要時間は、「5～7分未満」の15.9%が最も多く、「3分未満」の10.0%、「3～5分未満」の7.7%が続きます。

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

2. 最寄りのバス停名(1)× 3. バス停までの所要時間 ※回答のあった停留所のみ

SA	地区(町)	バス停名 ※	バス停までの所要時間			実数		割合			割合
			10分未満	10分以上	無回答	計	10分未満	10分以上	無回答	計	
1	勝沼	青梅第四小学校前	3	1	2	6	50.0%	16.7%	33.3%	100%	
2	勝沼	青梅総合高校入口	1	0	2	3	33.3%	0.0%	66.7%	100%	
3	西分町	西分	5	0	0	5	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
4	西分町	西分二丁目	1	0	0	1	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
5	住江町	住吉神社前	3	1	0	4	75.0%	25.0%	0.0%	100%	
6	本町	青梅駅前	7	8	2	17	41.2%	47.1%	11.8%	100%	
7	仲町	仲町	1	0	2	3	33.3%	0.0%	66.7%	100%	
8	上町	上町	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
9	森下町	青梅車庫前	7	0	1	8	87.5%	0.0%	12.5%	100%	
10	裏宿町	多摩高校前	3	0	0	3	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
11	裏宿町	裏宿町	1	4	4	9	11.1%	44.4%	44.4%	100%	
12	裏宿町	青梅第一中学校前	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
13	大柳町	万年橋	12	2	0	14	85.7%	14.3%	0.0%	100%	
14	大柳町	大柳	7	0	1	8	87.5%	0.0%	12.5%	100%	
15	日向和田	日向和田駅	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
16	駒木町	郷土博物館入口	5	2	0	7	71.4%	28.6%	0.0%	100%	
17	駒木町	駒木町	8	2	1	11	72.7%	18.2%	9.1%	100%	
18	駒木町	駒木町三丁目	5	0	0	5	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
19	長淵	長淵駐在	13	2	0	15	86.7%	13.3%	0.0%	100%	
20	長淵	万場坂	9	1	0	10	90.0%	10.0%	0.0%	100%	
21	長淵	玉川神社前	14	6	1	21	66.7%	28.6%	4.8%	100%	
22	長淵	長淵七丁目	6	2	2	10	60.0%	20.0%	20.0%	100%	
23	長淵	青梅第二小学校	2	1	1	4	50.0%	25.0%	25.0%	100%	
24	長淵	長淵一丁目	2	3	0	5	40.0%	60.0%	0.0%	100%	
25	長淵	長淵四丁目	6	0	0	6	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
26	長淵	上長淵	3	3	0	6	50.0%	50.0%	0.0%	100%	
27	長淵	中郷	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
28	友田町	友田	5	2	0	7	71.4%	28.6%	0.0%	100%	
29	友田町	四谷	11	4	0	15	73.3%	26.7%	0.0%	100%	
30	友田町	友田南	5	0	2	7	71.4%	0.0%	28.6%	100%	
31	友田町	友田神社	1	1	2	4	25.0%	25.0%	50.0%	100%	
32	友田町	四谷橋	0	0	2	2	0.0%	0.0%	100.0%	100%	
33	友田町	恵明学園前	5	0	2	7	71.4%	0.0%	28.6%	100%	
34	千ヶ瀬町	千ヶ瀬二丁目	14	5	0	19	73.7%	26.3%	0.0%	100%	
35	千ヶ瀬町	千ヶ瀬五丁目	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
36	千ヶ瀬町	千ヶ瀬	5	1	1	7	71.4%	14.3%	14.3%	100%	
37	吹上	吹上	4	0	2	6	66.7%	0.0%	33.3%	100%	
38	吹上	吹上中学校入口	4	0	0	4	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
39	吹上	吹上しょうぶ公園入口	6	0	0	6	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
40	吹上	宗泉寺	6	0	0	6	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
41	野上町	J A 西東京前	6	1	0	7	85.7%	14.3%	0.0%	100%	
42	野上町	野上	17	4	0	21	81.0%	19.0%	0.0%	100%	
43	野上町	河辺駅入口	3	0	0	3	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
44	野上町	看護学校入口	11	0	1	12	91.7%	0.0%	8.3%	100%	
45	野上町	野上町3丁目	9	0	0	9	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
46	野上町	霞橋	4	0	4	8	50.0%	0.0%	50.0%	100%	
47	野上町	大門市民センター前	3	0	0	3	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
48	野上町	青梅警察署前	1	0	3	4	25.0%	0.0%	75.0%	100%	
49	野上町	霞台第二住宅	0	1	1	2	0.0%	50.0%	50.0%	100%	
50	大門	第三小学校前	10	0	0	10	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
51	大門	塩船観音入口(都営バス)	3	2	0	5	60.0%	40.0%	0.0%	100%	
52	大門	慶友病院前	9	3	2	14	64.3%	21.4%	14.3%	100%	
53	塩船	塩船観音入口(西東京バス)	2	1	0	3	66.7%	33.3%	0.0%	100%	

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

2. 最寄りのバス停名(2)× 3. バス停までの所要時間

※回答のあった停留所のみ

SA	地区(町)	バス停までの所要時間			実数			割合			割合
		バス停名 ※	10分未満	10分以上	無回答	計	10分未満	10分以上	無回答	計	
54	谷野	谷野	14	2	2	18	77.8%	11.1%	11.1%	100%	
55	木野下	木野下	0	2	0	2	0.0%	100.0%	0.0%	100%	
56	木野下	木野下神社	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
57	今寺	今寺	10	4	1	15	66.7%	26.7%	6.7%	100%	
58	今寺	今寺榎	6	1	2	9	66.7%	11.1%	22.2%	100%	
59	東青梅	東青梅駅前(南口)	0	0	4	4	0.0%	0.0%	100.0%	100%	
60	東青梅	六万公園前	6	0	0	6	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
61	東青梅	妙光院	10	0	0	10	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
62	東青梅	師岡町三丁目	4	0	2	6	66.7%	0.0%	33.3%	100%	
63	東青梅	総合病院入口	1	0	0	1	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
64	東青梅	東青梅	3	0	0	3	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
65	東青梅	東青梅駅北口	3	6	3	12	25.0%	50.0%	25.0%	100%	
66	東青梅	青梅市役所前	6	0	0	6	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
67	東青梅	東青梅五丁目	7	1	2	10	70.0%	10.0%	20.0%	100%	
68	東青梅	東青梅四丁目	4	0	0	4	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
69	東青梅	光明寺下	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
70	東青梅	東青梅三丁目	0	0	4	4	0.0%	0.0%	100.0%	100%	
71	根ヶ布	根ヶ布	2	0	4	6	33.3%	0.0%	66.7%	100%	
72	根ヶ布	多摩団地前	9	0	4	13	69.2%	0.0%	30.8%	100%	
73	根ヶ布	諏訪神社前	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
74	師岡町	青梅消防署前	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
75	新町	畜産試験場	9	0	4	13	69.2%	0.0%	30.8%	100%	
76	新町	誠明学園	7	0	2	9	77.8%	0.0%	22.2%	100%	
77	新町	新町小学校入口	5	0	0	5	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
78	新町	新田山公園	0	2	0	2	0.0%	100.0%	0.0%	100%	
79	新町	鈴法寺跡	1	2	3	6	16.7%	33.3%	50.0%	100%	
80	新町	新町東	11	2	5	18	61.1%	11.1%	27.8%	100%	
81	新町	平松北	9	0	1	10	90.0%	0.0%	10.0%	100%	
82	新町	霞町新町	11	2	1	14	78.6%	14.3%	7.1%	100%	
83	新町	中原北	3	0	0	3	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
84	新町	平松	7	2	2	11	63.6%	18.2%	18.2%	100%	
85	新町	青梅新町	7	0	0	7	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
86	新町	宮の前	4	0	0	4	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
87	新町	新町九丁目	0	0	1	1	0.0%	0.0%	100.0%	100%	
88	新町	誠明学園南	4	0	0	4	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
89	新町	新町四丁目	3	0	0	3	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
90	新町	中原	1	0	0	1	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
91	新町	新町天神社前	1	0	2	3	33.3%	0.0%	66.7%	100%	
92	新町	平松南	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
93	未広町	未広公園	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
94	未広町	未広町一丁目	0	0	2	2	0.0%	0.0%	100.0%	100%	
95	河辺町	河辺駅南口	16	12	5	33	48.5%	36.4%	15.2%	100%	
96	河辺町	総合病院前	3	0	0	3	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
97	河辺町	河辺駅北口	17	9	3	29	58.6%	31.0%	10.3%	100%	
98	藤橋	八雲神社	7	1	5	13	53.8%	7.7%	38.5%	100%	
99	藤橋	藤橋小学校	7	3	3	13	53.8%	23.1%	23.1%	100%	
100	藤橋	市営住宅	1	2	0	3	33.3%	66.7%	0.0%	100%	
101	藤橋	藤橋	11	0	0	11	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
102	藤橋	峠下	6	0	2	8	75.0%	0.0%	25.0%	100%	
103	今井	今井市民センター前	11	6	0	17	64.7%	35.3%	0.0%	100%	
104	今井	今井三丁目	5	4	0	9	55.6%	44.4%	0.0%	100%	
105	今井	原今井	11	5	3	19	57.9%	26.3%	15.8%	100%	
106	今井	三ツ原工業会館	2	4	2	8	25.0%	50.0%	25.0%	100%	
107	今井	七日市場	3	3	2	8	37.5%	37.5%	25.0%	100%	
108	今井	三ツ原西	2	1	0	3	66.7%	33.3%	0.0%	100%	
109	畑中	畑中三丁目	4	0	0	4	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
110	畑中	畑中神社前	7	0	1	8	87.5%	0.0%	12.5%	100%	
111	畑中	畑中一丁目	6	0	0	6	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
112	畑中	畑中公会堂前	4	0	1	5	80.0%	0.0%	20.0%	100%	
113	畑中	畑中下西	1	0	2	3	33.3%	0.0%	66.7%	100%	

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

2. 最寄りのバス停名(3)× 3. バス停までの所要時間

※回答のあった停留所のみ

SA	地区(町)	バス停名 ※	バス停までの所要時間			実数		割合		
			10分未満	10分以上	無回答	計	10分未満	10分以上	無回答	計
114	和田町	和田町会館前	8	2	0	10	80.0%	20.0%	0.0%	100%
115	和田町	明治橋	1	0	0	1	100.0%	0.0%	0.0%	100%
116	和田町	稲荷神社前	4	0	0	4	100.0%	0.0%	0.0%	100%
117	梅郷	上郷	13	1	2	16	81.3%	6.3%	12.5%	100%
118	梅郷	梅郷	14	1	5	20	70.0%	5.0%	25.0%	100%
119	梅郷	吉野梅林	8	5	2	15	53.3%	33.3%	13.3%	100%
120	梅郷	下郷	6	1	2	9	66.7%	11.1%	22.2%	100%
121	柚木町	奥多摩橋	5	2	2	9	55.6%	22.2%	22.2%	100%
122	柚木町	吉野	8	3	0	11	72.7%	27.3%	0.0%	100%
123	柚木町	柚木	4	2	0	6	66.7%	33.3%	0.0%	100%
124	柚木町	即清寺	5	0	0	5	100.0%	0.0%	0.0%	100%
125	御岳本町	御岳駅	1	0	0	1	100.0%	0.0%	0.0%	100%
126	御岳	中野	5	0	0	5	100.0%	0.0%	0.0%	100%
127	御岳	玉堂美術館	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%	100%
128	富岡	常福寺入口	0	3	0	3	0.0%	100.0%	0.0%	100%
129	富岡	岩蔵温泉	1	4	0	5	20.0%	80.0%	0.0%	100%
130	富岡	岩井堂	4	1	0	5	80.0%	20.0%	0.0%	100%
131	富岡	中央橋	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%	100%
132	小曾木	荒田	8	0	0	8	100.0%	0.0%	0.0%	100%
133	小曾木	青梅第六中学校前	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%	100%
134	小曾木	小曾木診療所前	3	0	0	3	100.0%	0.0%	0.0%	100%
135	小曾木	東京炭坑前	4	0	0	4	100.0%	0.0%	0.0%	100%
136	小曾木	青梅第七小学校前	4	0	2	6	66.7%	0.0%	33.3%	100%
137	黒沢	黒沢神社前	6	0	0	6	100.0%	0.0%	0.0%	100%
138	黒沢	柳川	6	4	3	13	46.2%	30.8%	23.1%	100%
139	黒沢	小枕	1	0	2	3	33.3%	0.0%	66.7%	100%
140	黒沢	黒沢	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%	100%
141	成木	成木三丁目	3	0	1	4	75.0%	0.0%	25.0%	100%
142	成木	成木一丁目自治会館前	4	0	0	4	100.0%	0.0%	0.0%	100%
143	成木	中里橋	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%	100%
144	成木	成木市民センター前	0	1	0	1	0.0%	100.0%	0.0%	100%
145	成木	成木四丁目	0	1	0	1	0.0%	100.0%	0.0%	100%
146	成木	成木二丁目自治会館前	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%	100%
147	成木	滝成	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%	100%
148	成木	久道	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%	100%
149	成木	北小曾木	1	0	0	1	100.0%	0.0%	0.0%	100%
150	成木	上成木	1	0	0	1	100.0%	0.0%	0.0%	100%
151	成木	梅ヶ平	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%	100%
152	市外	小作駅東口(羽村市)	0	5	0	5	0.0%	100.0%	0.0%	100%
153	市外	小作駅西口(羽村市)	1	0	0	1	100.0%	0.0%	0.0%	100%
154	市外	金子橋(埼玉県入間市)	6	0	0	6	100.0%	0.0%	0.0%	100%
	無回答		47	15	1,056	1,118	4.2%	1.3%	94.5%	100%
	合計(人)		782	190	1,198	2,170	36.0%	8.8%	55.2%	100%

自宅から最寄りのバス停までの時間を、10分以上で50%以上と回答したのは、以下の13のバス停です。

バス停名	地区名
木野下	木野下
新田山公園	新町
常福寺入口	富岡
成木市民センター前	成木
成木四丁目	成木
小作駅東口(羽村市)	市外
岩蔵温泉	富岡
市営住宅	藤橋
長淵一丁目	長淵
上長淵	長淵
霞台第二住宅	野上町
東青梅駅北口	東青梅
三ツ原工業会館	今井

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

※Q15-1：路線バスを利用する人

4. 行き先（目的地）のバス停名

※回答のあった停留所のみ

SA	地区(町)	バス停名 ※	実数	割合
1	西分町	西分	1	0.2%
2	本町	青梅駅前	103	20.9%
3	仲町	仲町	2	0.4%
4	上町	上町	1	0.2%
5	森下町	青梅車庫前	2	0.4%
6	大柳町	大柳	1	0.2%
7	長淵	上長淵	2	0.4%
8	長淵	長淵駐在	1	0.2%
9	野上町	河辺駅入口	3	0.6%
10	今寺	今寺	1	0.2%
11	東青梅	東青梅駅前(南口)	1	0.2%
12	東青梅	六万公園前	1	0.2%
13	東青梅	東青梅駅北口	11	2.2%
14	東青梅	師岡町三丁目	1	0.2%
15	東青梅	東青梅	9	1.8%
16	東青梅	総合病院入口	1	0.2%
17	東青梅	青梅市役所前	1	0.2%
18	新町	青梅新町	1	0.2%
19	新町	畜産試験場	1	0.2%
20	新町	中原	2	0.4%
21	新町	新町天神社前	1	0.2%
22	河辺町	河辺駅北口	92	18.6%
23	河辺町	河辺駅南口	38	7.7%
24	今井	三ツ原工業会館	2	0.4%
25	今井	原今井	1	0.2%
26	梅郷	梅郷	3	0.6%
27	柚木町	吉野	1	0.2%
28	御岳本町	御岳駅	1	0.2%
29	小曾木	J A小曾木支店前	1	0.2%
30	成木	坂下	1	0.2%
31	成木	中里橋	1	0.2%
32	市外	小作駅東口(羽村市)	84	17.0%
33	市外	小作駅西口(羽村市)	37	7.5%
34	市外	長岡(瑞穂町)	1	0.2%
35	市外	東長岡 以東(瑞穂町・武蔵村山市)	9	1.8%
36	市外	飯能駅南口(埼玉県飯能市)	3	0.6%
37	市外	西三ツ木(埼玉県入間市)	1	0.2%
		無回答	71	14.4%
		合計(人)	494	100%

自宅からの路線バス利用で、「利用する」と回答した人の行き先バス停は、「河辺駅」が南北合わせて26.3%と最も多く、次いで「小作駅」が東西合わせて24.5%、「青梅駅」が20.9%となっています。

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

※Q15-1：路線バスを利用する人

2. 最寄りのバス停名（11地区区分）× 4. 行き先（目的地）のバス停名（11地区区分）

SA	着 発	1 青梅	2 長瀨	3 大門	4 梅郷	5 沢井	6 小曾木	7 成木	8 東青梅	9 新町	10 河辺	11 今井							実数 合計 (人)
1	青梅	17	0	1	1	0	0	0	1	2	4	0	0	1	0	0	0	4	31
2	長瀨	21	2	0	0	0	0	0	0	0	35	0	35	0	0	0	0	8	101
3	大門	1	0	0	0	0	0	0	0	1	62	0	8	4	0	0	0	6	82
4	梅郷	66	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	75
5	沢井	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
6	小曾木	1	0	0	0	0	0	0	12	0	1	0	0	0	0	3	0	5	22
7	成木	1	0	0	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	0	0	0	1	8
8	東青梅	1	0	1	0	0	1	2	3	0	9	0	0	3	0	0	0	3	23
9	新町	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	41	2	0	0	0	4	52
10	河辺	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	10	14
11	今井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	35	0	0	0	1	4	52
	羽村	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
	瑞穂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	あきる野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飯能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4
	無回答	1	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	21	26
	合計(人)	110	3	4	4	1	1	2	25	5	130	3	121	10	0	3	1	71	494

SA	着 発	1 青梅	2 長瀨	3 大門	4 梅郷	5 沢井	6 小曾木	7 成木	8 東青梅	9 新町	10 河辺	11 今井							割合 合計 (人)
1	青梅	54.8%	0.0%	3.2%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	6.5%	12.9%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	12.9%	100%
2	長瀨	20.8%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	34.7%	0.0%	34.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.9%	100%
3	大門	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	75.6%	0.0%	9.8%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	7.3%	100%
4	梅郷	88.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	100%
5	沢井	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
6	小曾木	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	54.5%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.6%	0.0%	22.7%	100%
7	成木	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	62.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	100%
8	東青梅	4.3%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	4.3%	8.7%	13.0%	0.0%	39.1%	0.0%	0.0%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.0%	100%
9	新町	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	1.9%	0.0%	1.9%	78.8%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	100%
10	河辺	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%	100%
11	今井	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.1%	0.0%	67.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	100%
	羽村	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	瑞穂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	あきる野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	飯能	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	入間	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	無回答	3.8%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.8%	100%
	合計(人)	22.3%	0.6%	0.8%	0.8%	0.2%	0.2%	0.4%	5.1%	1.0%	26.3%	0.6%	24.5%	2.0%	0.0%	0.6%	0.2%	14.4%	100%

自宅の最寄りのバス停のある地区から、行き先のバス停のある地区をみます。

おおむね青梅⇒青梅。長瀨⇒河辺。羽村。大門⇒河辺。梅郷⇒青梅。沢井⇒沢井。小曾木⇒東青梅。成木⇒東青梅。東青梅⇒河辺。新町⇒羽村。河辺⇒羽村。今井⇒羽村という流れになっています。

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

※Q15-1：路線バスを利用する人

2. 最寄りのバス停名(1)× 4. 行き先(目的地)のバス停名

※回答のあった停留所のみ

※※駅周辺のバス停をまとめた

SA	地区(町)	行き先バス停(位置)※※	青梅駅 前	東青梅 駅周辺	河辺駅 周辺	小作駅 周辺	その他	無回答	実数 計
		最寄りバス停名※							
1	勝沼	青梅第四小学校前	0	0	0	0	0	0	0
2	勝沼	青梅総合高校入口	0	0	0	0	1	0	1
3	西分町	西分	1	0	0	0	0	1	2
4	西分町	西分二丁目	0	0	0	0	1	0	1
5	住江町	住吉神社前	0	0	1	0	2	0	3
6	本町	青梅駅前	0	0	2	0	3	0	5
7	仲町	仲町	0	0	0	0	0	0	0
8	上町	上町	0	0	0	0	0	1	1
9	森下町	青梅車庫前	1	0	1	0	3	0	5
10	裏宿町	多摩高校前	1	0	0	0	0	1	2
11	裏宿町	裏宿町	0	0	0	0	0	0	0
12	裏宿町	青梅第一中学校前	2	0	0	0	0	0	2
13	大柳町	万年橋	7	0	0	0	0	1	8
14	大柳町	大柳	1	0	0	0	0	0	1
15	日向和田	日向和田駅	0	0	0	0	0	0	0
16	駒木町	郷土博物館入口	4	0	0	0	0	0	4
17	駒木町	駒木町	4	0	0	0	0	2	6
18	駒木町	駒木町三丁目	3	0	0	0	0	0	3
19	長淵	長淵駐在	0	0	5	7	1	0	13
20	長淵	万場坂	0	0	1	7	0	0	8
21	長淵	玉川神社前	0	0	10	2	0	3	15
22	長淵	長淵七丁目	4	0	0	0	0	2	6
23	長淵	青梅第二小学校	0	0	1	0	0	0	1
24	長淵	長淵一丁目	0	0	2	3	0	0	5
25	長淵	長淵四丁目	0	0	5	0	0	0	5
26	長淵	上長淵	0	0	3	0	0	0	3
27	長淵	中郷	0	0	0	0	0	0	0
28	友田町	友田	0	0	1	3	0	0	4
29	友田町	四谷	0	0	2	4	0	0	6
30	友田町	友田南	0	0	0	4	0	0	4
31	友田町	友田神社	0	0	0	1	0	0	1
32	友田町	四谷橋	0	0	0	0	0	0	0
33	友田町	恵明学園前	0	0	0	4	0	0	4
34	千ヶ瀬町	千ヶ瀬二丁目	0	0	5	0	1	1	7
35	千ヶ瀬町	千ヶ瀬五丁目	2	0	0	0	0	0	2
36	千ヶ瀬町	千ヶ瀬	4	0	0	0	0	0	4
37	吹上	吹上	0	0	4	0	0	0	4
38	吹上	吹上中学校入口	0	0	2	0	0	0	2
39	吹上	吹上しょうぶ公園入口	0	0	2	0	0	0	2
40	吹上	宗泉寺	0	0	2	0	0	0	2
41	野上町	J A 西東京前	0	0	3	0	0	2	5
42	野上町	野上	0	0	10	0	2	0	12
43	野上町	河辺駅入口	0	0	0	0	2	0	2
44	野上町	看護学校入口	0	0	5	0	0	1	6
45	野上町	野上町3丁目	0	0	3	0	0	0	3
46	野上町	霞橋	0	0	4	0	0	0	4
47	野上町	大門市民センター前	0	0	1	0	0	0	1
48	野上町	青梅警察署前	0	0	0	0	1	0	1
49	野上町	霞台第二住宅	0	0	2	0	0	0	2
50	大門	第三小学校前	0	0	2	0	0	0	2
51	大門	塩船観音入口(都営バス)	0	0	2	0	0	2	4
52	大門	慶友病院前	0	0	5	0	1	0	6
53	塩船	塩船観音入口(西東京バス)	0	0	3	0	0	0	3

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

※Q15-1：路線バスを利用する人

2. 最寄りのバス停名(2)× 4. 行き先(目的地)のバス停名

※回答のあった停留所のみ

※※駅周辺のバス停をまとめた

SA	地区(町)	行き先バス停(位置)※※ 最寄りバス停名※	※※※				
----	-------	--------------------------	---	--	--	--	--

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

※Q15-1：路線バスを利用する人

2. 最寄りのバス停名(3)× 4. 行き先(目的地)のバス停名

※回答のあった停留所のみ

※※駅周辺のバス停をまとめた

SA	地区(町)	行き先バス停(位置)※※ 最寄りバス停名※	※回答者のうち回答が不明なバス停						実数 計
			青梅駅 前	東青梅 駅周辺	河辺駅 周辺	小作駅 周辺	その他	無回答	
114	和田町	和田町会館前	4	0	1	0	1	1	7
115	和田町	明治橋	1	0	0	0	0	0	1
116	和田町	稲荷神社前	2	0	0	0	0	0	2
117	梅郷	上郷	5	0	0	0	0	0	5
118	梅郷	梅郷	8	0	0	0	0	0	8
119	梅郷	吉野梅林	11	0	0	0	0	0	11
120	梅郷	下郷	5	0	0	0	0	0	5
121	柚木町	奥多摩橋	5	0	0	0	0	0	5
122	柚木町	吉野	7	0	0	0	1	2	10
123	柚木町	柚木	1	0	0	0	1	0	2
124	柚木町	即清寺	2	0	0	0	0	0	2
125	御岳本町	御岳駅	0	0	0	0	0	0	0
126	御岳	中野	0	0	0	0	1	0	1
127	御岳	玉堂美術館	0	0	0	0	0	0	0
128	富岡	常福寺入口	0	0	0	0	2	0	2
129	富岡	岩蔵温泉	0	1	0	0	0	0	1
130	富岡	岩井堂	0	0	1	0	0	2	3
131	富岡	中央橋	0	0	0	0	0	0	0
132	小曾木	荒田	0	2	0	0	0	0	2
133	小曾木	青梅第六中学校前	0	0	0	0	0	0	0
134	小曾木	小曾木診療所前	0	1	0	0	1	0	2
135	小曾木	東京炭坑前	0	2	0	0	0	0	2
136	小曾木	青梅第七小学校前	0	0	0	0	0	0	0
137	黒沢	黒沢神社前	0	2	0	0	0	0	2
138	黒沢	柳川	0	2	0	0	1	3	6
139	黒沢	小枕	0	0	0	0	0	0	0
140	黒沢	黒沢	0	2	0	0	0	0	2
141	成木	成木三丁目	0	2	0	0	0	1	3
142	成木	成木一丁目自治会館前	0	0	0	0	0	0	0
143	成木	中里橋	0	0	1	0	0	0	1
144	成木	成木市民センター前	0	1	0	0	0	0	1
145	成木	成木四丁目	0	1	0	0	0	0	1
146	成木	成木二丁目自治会館前	0	1	0	0	0	0	1
147	成木	滝成	0	0	0	0	0	0	0
148	成木	久道	0	0	0	0	0	0	0
149	成木	北小曾木	0	0	0	0	0	0	0
150	成木	上成木	1	0	0	0	0	0	1
151	成木	梅ヶ平	0	0	0	0	0	0	0
152	市外	小作駅東口(羽村市)	0	0	0	0	2	0	2
153	市外	小作駅西口(羽村市)	0	0	0	0	1	0	1
154	市外	金子橋(埼玉県入間市)	0	0	4	0	0	0	4
	無回答		1	1	1	0	2	21	26
	合計(人)		103	21	130	121	48	71	494

自宅の最寄りのバス停から主要駅に近いバス停までの利用動向をみたものです。

青梅駅前、吉野梅林（梅郷）、梅郷（梅郷）、万年橋（大柳町）、畑中神社前（畑中）、吉野（柚木町）が多い状況にあります。

東青梅駅前、多摩団地前（根ヶ布）、荒田（小曾木）、東京炭坑前（小曾木）、黒沢神社前（黒沢）、柳川（黒沢）、黒沢（黒沢）、成木二丁目（成木）が多い状況にあります。

河辺駅前、玉川神社前（長淵）、野上（野上町）、谷野（谷野）、妙光院（東青梅）、長淵駐在（長淵）、長淵四丁目（長淵）、千ヶ瀬二丁目（千ヶ瀬町）、看護学校入口（野上町）、慶友病院前（大門 原）、今井（今井）が多い状況にあります。

小作駅前、新町東（新町）、今寺（今寺）、長淵駐在（長淵）、万場坂（長淵）、平松北（新町）、藤橋小学校（藤橋）、今井三丁目（今井）が多い状況にあります。

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

※Q15-1：路線バスを利用する人

2. 最寄りのバス停名(1)× 4. 行き先(目的地)のバス停名

※回答のあった停留所のみ

※※駅周辺のバス停をまとめた

SA	地区(町)	行き先バス停(位置)※※	青梅駅 前	東青梅 駅周辺	河辺駅 周辺	小作駅 周辺	その他	無回答	割合
		最寄りバス停名※							計
1	勝沼	青梅第四小学校前	-	-	-	-	-	-	-
2	勝沼	青梅総合高校入口	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100%
3	西分町	西分	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100%
4	西分町	西分二丁目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100%
5	住江町	住吉神社前	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	100%
6	本町	青梅駅前	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	60.0%	0.0%	100%
7	仲町	仲町	-	-	-	-	-	-	-
8	上町	上町	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100%
9	森下町	青梅車庫前	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	60.0%	0.0%	100%
10	雲宿町	多摩高校前	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100%
11	雲宿町	雲宿町	-	-	-	-	-	-	-
12	雲宿町	青梅第一中学校前	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
13	大柳町	万年橋	87.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	100%
14	大柳町	大柳	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
15	日向和田	日向和田駅	-	-	-	-	-	-	-
16	駒木町	郷土博物館入口	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
17	駒木町	駒木町	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	100%
18	駒木町	駒木町三丁目	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
19	長淵	長淵駐在	0.0%	0.0%	38.5%	53.8%	7.7%	0.0%	100%
20	長淵	万場坂	0.0%	0.0%	12.5%	87.5%	0.0%	0.0%	100%
21	長淵	玉川神社前	0.0%	0.0%	66.7%	13.3%	0.0%	20.0%	100%
22	長淵	長淵七丁目	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	100%
23	長淵	青梅第二小学校	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
24	長淵	長淵一丁目	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	100%
25	長淵	長淵四丁目	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
26	長淵	上長淵	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
27	長淵	中郷	-	-	-	-	-	-	-
28	友田町	友田	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	100%
29	友田町	四谷	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100%
30	友田町	友田南	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
31	友田町	友田神社	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
32	友田町	四谷橋	-	-	-	-	-	-	-
33	友田町	恵明学園前	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
34	千ヶ瀬町	千ヶ瀬二丁目	0.0%	0.0%	71.4%	0.0%	14.3%	14.3%	100%
35	千ヶ瀬町	千ヶ瀬五丁目	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
36	千ヶ瀬町	千ヶ瀬	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
37	吹上	吹上	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
38	吹上	吹上中学校入口	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
39	吹上	吹上しょうぶ公園入口	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
40	吹上	宗泉寺	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
41	野上町	J A 西東京前	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	40.0%	100%
42	野上町	野上	0.0%	0.0%	83.3%	0.0%	16.7%	0.0%	100%
43	野上町	河辺駅入口	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100%
44	野上町	看護学校入口	0.0%	0.0%	83.3%	0.0%	0.0%	16.7%	100%
45	野上町	野上町3丁目	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
46	野上町	霞橋	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
47	野上町	大門市民センター前	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
48	野上町	青梅警察署前	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100%
49	野上町	霞台第二住宅	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
50	大門	第三小学校前	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
51	大門	塩船観音入口(都営バス)	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100%
52	大門	慶友病院前	0.0%	0.0%	83.3%	0.0%	16.7%	0.0%	100%
53	塩船	塩船観音入口(西東京バス)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

※Q15-1：路線バスを利用する人

2. 最寄りのバス停名(2)× 4. 行き先(目的地)のバス停名

※回答のあった停留所のみ

※※駅周辺のバス停をまとめた

SA	地区(町)	行き先バス停(位置)※※ 最寄りバス停名※	青梅駅 前	東青梅 駅周辺	河辺駅 周辺	小作駅 周辺	その他	無回答	割合
									計
54	谷野	谷野	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
55	木野下	木野下	-	-	-	-	-	-	-
56	木野下	木野下神社	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
57	今寺	今寺	0.0%	0.0%	0.0%	88.9%	0.0%	11.1%	100%
58	今寺	今寺榎	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
59	東青梅	東青梅駅前(南口)	-	-	-	-	-	-	-
60	東青梅	六万公園前	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	100%
61	東青梅	妙光院	16.7%	0.0%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
62	東青梅	師岡町三丁目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	100%
63	東青梅	総合病院入口	-	-	-	-	-	-	-
64	東青梅	東青梅	-	-	-	-	-	-	-
65	東青梅	東青梅駅北口	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	80.0%	0.0%	100%
66	東青梅	青梅市役所前	-	-	-	-	-	-	-
67	東青梅	東青梅五丁目	-	-	-	-	-	-	-
68	東青梅	東青梅四丁目	-	-	-	-	-	-	-
69	東青梅	光明寺下	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
70	東青梅	東青梅三丁目	-	-	-	-	-	-	-
71	根ヶ布	根ヶ布	-	-	-	-	-	-	-
72	根ヶ布	多摩団地前	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
73	根ヶ布	諏訪神社前	-	-	-	-	-	-	-
74	師岡町	青梅消防署前	-	-	-	-	-	-	-
75	新町	畜産試験場	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
76	新町	誠明学園	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100%
77	新町	新町小学校入口	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100%
78	新町	新田山公園	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100%
79	新町	鈴法寺跡	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100%
80	新町	新町東	0.0%	0.0%	0.0%	84.6%	0.0%	15.4%	100%
81	新町	平松北	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	100%
82	新町	霞町新町	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
83	新町	中原北	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
84	新町	平松	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	100%
85	新町	青梅新町	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
86	新町	宮の前	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
87	新町	新町九丁目	-	-	-	-	-	-	-
88	新町	誠明学園南	-	-	-	-	-	-	-
89	新町	新町四丁目	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
90	新町	中原	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
91	新町	新町天神社前	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
92	新町	平松南	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
93	末広町	末広公園	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
94	末広町	末広町一丁目	-	-	-	-	-	-	-
95	河辺町	河辺駅南口	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	80.0%	100%
96	河辺町	総合病院前	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100%
97	河辺町	河辺駅北口	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	100%
98	藤橋	八雲神社	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
99	藤橋	藤橋小学校	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
100	藤橋	市営住宅	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
101	藤橋	藤橋	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
102	藤橋	峠下	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	100%
103	今井	今井市民センター前	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	100%
104	今井	今井三丁目	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
105	今井	原今井	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
106	今井	三ツ原工業会館	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
107	今井	七日市場	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	14.3%	42.9%	100%
108	今井	三ツ原西	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
109	畑中	畑中三丁目	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
110	畑中	畑中神社前	87.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	100%
111	畑中	畑中一丁目	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
112	畑中	畑中公会堂前	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100%
113	畑中	畑中下西	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

※Q15-1：路線バスを利用する人

2. 最寄りのバス停名(3)× 4. 行き先(目的地)のバス停名

※回答のあった停留所のみ

※※駅周辺のバス停をまとめた

SA	地区(町)	行き先バス停(位置)※※ 最寄りバス停名※	青梅駅 前	東青梅 駅周辺	河辺駅 周辺	小作駅 周辺	その他	無回答	割合
									計
114	和田町	和田町会館前	57.1%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	100%
115	和田町	明治橋	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
116	和田町	稲荷神社前	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
117	梅郷	上郷	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
118	梅郷	梅郷	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
119	梅郷	吉野梅林	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
120	梅郷	下郷	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
121	柚木町	奥多摩橋	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
122	柚木町	吉野	70.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	20.0%	100%
123	柚木町	柚木	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100%
124	柚木町	即清寺	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
125	御岳本町	御岳駅	-	-	-	-	-	-	-
126	御岳	中野	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100%
127	御岳	玉堂美術館	-	-	-	-	-	-	-
128	富岡	常福寺入口	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100%
129	富岡	岩蔵温泉	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
130	富岡	岩井堂	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	100%
131	富岡	中央橋	-	-	-	-	-	-	-
132	小曾木	荒田	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
133	小曾木	青梅第六中学校前	-	-	-	-	-	-	-
134	小曾木	小曾木診療所前	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100%
135	小曾木	東京炭坑前	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
136	小曾木	青梅第七小学校前	-	-	-	-	-	-	-
137	黒沢	黒沢神社前	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
138	黒沢	柳川	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	100%
139	黒沢	小枕	-	-	-	-	-	-	-
140	黒沢	黒沢	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
141	成木	成木三丁目	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	100%
142	成木	成木一丁目自治会館前	-	-	-	-	-	-	-
143	成木	中里橋	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
144	成木	成木市民センター前	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
145	成木	成木四丁目	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
146	成木	成木二丁目自治会館前	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
147	成木	滝成	-	-	-	-	-	-	-
148	成木	久道	-	-	-	-	-	-	-
149	成木	北小曾木	-	-	-	-	-	-	-
150	成木	上成木	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
151	成木	梅ヶ平	-	-	-	-	-	-	-
152	市外	小作駅東口(羽村市)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100%
153	市外	小作駅西口(羽村市)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100%
154	市外	金子橋(埼玉県入間市)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
		無回答	3.8%	3.8%	3.8%	0.0%	7.7%	80.8%	100%
		合計(人)	20.9%	4.3%	26.3%	24.5%	9.7%	14.4%	100%

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

※Q15-1：路線バスを利用する人

2. 最寄りのバス停名（11地区区分）× 4. 行き先（目的地）のバス停名（11地区区分）

※※駅周辺のバス停をまとめた

SA	着※※ 発	青梅駅 前	東青梅 駅周辺	河辺駅 周辺	小作駅 周辺	その他	無回答	実数 計
1	青梅	13	0	4	0	10	4	31
2	長淵	21	0	35	35	2	8	101
3	大門	0	0	62	8	6	6	82
4	梅郷	65	0	1	0	4	5	75
5	沢井	0	0	0	0	1	0	1
6	小曾木	0	12	1	0	4	5	22
7	成木	1	5	1	0	0	1	8
8	東青梅	1	3	9	0	7	3	23
9	新町	1	0	0	41	6	4	52
10	河辺	0	0	0	2	2	10	14
11	今井	0	0	12	35	1	4	52
	羽村	0	0	0	0	3	0	3
	瑞穂	0	0	0	0	0	0	0
	あきる野	0	0	0	0	0	0	0
	飯能	0	0	0	0	0	0	0
	入間	0	0	4	0	0	0	4
	無回答	1	1	1	0	2	21	26
	合計(人)	103	21	130	121	48	71	494

SA	着※※ 発	青梅駅 前	東青梅 駅周辺	河辺駅 周辺	小作駅 周辺	その他	無回答	割合 計
1	青梅	41.9%	0.0%	12.9%	0.0%	32.3%	12.9%	100%
2	長淵	20.8%	0.0%	34.7%	34.7%	2.0%	7.9%	100%
3	大門	0.0%	0.0%	75.6%	9.8%	7.3%	7.3%	100%
4	梅郷	86.7%	0.0%	1.3%	0.0%	5.3%	6.7%	100%
5	沢井	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100%
6	小曾木	0.0%	54.5%	4.5%	0.0%	18.2%	22.7%	100%
7	成木	12.5%	62.5%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	100%
8	東青梅	4.3%	13.0%	39.1%	0.0%	30.4%	13.0%	100%
9	新町	1.9%	0.0%	0.0%	78.8%	11.5%	7.7%	100%
10	河辺	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	71.4%	100%
11	今井	0.0%	0.0%	23.1%	67.3%	1.9%	7.7%	100%
	羽村	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100%
	瑞穂	-	-	-	-	-	-	-
	あきる野	-	-	-	-	-	-	-
	飯能	-	-	-	-	-	-	-
	入間	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	無回答	3.8%	3.8%	3.8%	0.0%	7.7%	80.8%	100%
	合計(人)	20.9%	4.3%	26.3%	24.5%	9.7%	14.4%	100%

11地区から主要駅周辺までの利用動向をみたものです。

地区ごとにみると、青梅駅は梅郷と青梅、東青梅駅は成木と小曾木、河辺駅は大門と東青梅と長淵、小作駅は新町と今井と長淵と河辺からの利用が目立ちます。

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

※Q15- 1：路線バスを利用する人

5. 路線バスの利用目的

SA		実数	割合
1	通勤	126	25.5%
2	通学	11	2.2%
3	買物	150	30.4%
4	通院	64	13.0%
5	その他	114	23.1%
	無回答	29	5.9%
	合計(人)	494	100%

自宅からの路線バス利用で、「利用する」と回答した人の利用目的は、「買物」の30.4%が最も多く、「通勤」の25.5%が続きます。

参考まで鉄道の場合は、「買物」の32.1%が最も多く、「通勤」の31.4%が続き、同様の傾向がみられます。

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

※Q15- 1：路線バスを利用する人

5. 路線バスの利用目的（その他）

SA		実数	割合
1	趣味・習い事・食事等	17	14.9%
2	旅行・観光	8	7.0%
3	仕事	6	5.3%
4	役所等手続き	1	0.9%
5	知人、親子等訪問	10	8.8%
6	見舞い、介護等	3	2.6%
7	送迎	1	0.9%
8	その他（具体的な内容なし）	10	8.8%
	無回答	58	50.9%
	合計(人)	114	100%

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

※Q15- 1：路線バスを利用する人

6. 路線バスの乗車時刻(1) ※回答のあった時刻のみ

SA	乗車時刻 ※	実数	割合	時間帯 計	実数	割合
1	5時 30分	1	0.2%	5時	4	0.8%
2	5時 34分	1	0.2%			
3	5時 35分	1	0.2%			
4	5時 50分	1	0.2%			
5	6時 00分	8	1.6%	6時	34	6.9%
6	6時 02分	1	0.2%			
7	6時 05分	2	0.4%			
8	6時 11分	1	0.2%			
9	6時 15分	1	0.2%			
10	6時 20分	4	0.8%			
11	6時 30分	7	1.4%			
12	6時 35分	1	0.2%			
13	6時 37分	2	0.4%			
14	6時 40分	1	0.2%			
15	6時 45分	1	0.2%			
16	6時 50分	4	0.8%			
17	6時 58分	1	0.2%			
18	7時 00分	13	2.6%	7時	50	10.1%
19	7時 02分	1	0.2%			
20	7時 07分	1	0.2%			
21	7時 08分	1	0.2%			
22	7時 10分	1	0.2%			
23	7時 12分	1	0.2%			
24	7時 20分	1	0.2%			
25	7時 25分	2	0.4%			
26	7時 26分	1	0.2%			
27	7時 30分	15	3.0%			
28	7時 33分	1	0.2%			
29	7時 35分	2	0.4%			
30	7時 40分	5	1.0%			
31	7時 45分	1	0.2%			
32	7時 50分	3	0.6%			
33	7時 55分	1	0.2%			
34	8時 00分	10	2.0%	8時	38	7.7%
35	8時 02分	1	0.2%			
36	8時 04分	1	0.2%			
37	8時 10分	2	0.4%			
38	8時 15分	3	0.6%			
39	8時 20分	1	0.2%			
40	8時 30分	14	2.8%			
41	8時 40分	4	0.8%			
42	8時 43分	1	0.2%			
43	8時 56分	1	0.2%			

自宅からの路線バス利用で、「利用する」と回答した人の乗車時刻は、「10時台」が12.6%と最も多い状況にあります。次いで、「9時台」の11.5%、「7時台」の10.1%が続きます。

6～10時台で48.8%を占めます。

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

※Q15-1：路線バスを利用する人

6. 路線バスの乗車時刻(2) ※回答のあった時刻のみ

SA	乗車時刻 ※	実数	割合	時間帯 計	実数	割合
44	9時 00分	28	5.7%	9時	57	11.5%
45	9時 02分	2	0.4%			
46	9時 10分	2	0.4%			
47	9時 14分	1	0.2%			
48	9時 15分	2	0.4%			
49	9時 16分	1	0.2%			
50	9時 20分	1	0.2%			
51	9時 25分	1	0.2%			
52	9時 30分	17	3.4%			
53	9時 46分	1	0.2%			
54	9時 50分	1	0.2%			
55	10時 00分	45	9.1%	10時	62	12.6%
56	10時 03分	2	0.4%			
57	10時 04分	1	0.2%			
58	10時 05分	2	0.4%			
59	10時 07分	1	0.2%			
60	10時 10分	2	0.4%			
61	10時 20分	2	0.4%			
62	10時 30分	4	0.8%			
63	10時 38分	1	0.2%			
64	10時 40分	1	0.2%			
65	10時 45分	1	0.2%			
66	11時 00分	10	2.0%	11時	14	2.8%
67	11時 08分	1	0.2%			
68	11時 30分	3	0.6%	12時	2	0.4%
69	12時 00分	2	0.4%	13時	7	1.4%
70	13時 00分	7	1.4%	14時	4	0.8%
71	14時 00分	2	0.4%			
72	14時 30分	1	0.2%			
73	14時 55分	1	0.2%			
74	15時 00分	3	0.6%	15時	5	1.0%
75	15時 20分	1	0.2%			
76	15時 35分	1	0.2%	16時	5	1.0%
77	16時 00分	5	1.0%	17時	3	0.6%
78	17時 00分	2	0.4%			
79	17時 30分	1	0.2%	18時	2	0.4%
80	18時 00分	1	0.2%			
81	18時 30分	1	0.2%	19時	2	0.4%
82	19時 00分	1	0.2%			
83	19時 30分	1	0.2%	20時	2	0.4%
84	20時 00分	2	0.4%	21時	3	0.6%
85	21時 00分	3	0.6%	22時	1	0.2%
86	22時 00分	1	0.2%			
	無回答	199	40.3%			
	合計(人)	494	100%			

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

※Q15-1：路線バスを利用する人

7. 路線バスの利用頻度

SA		実数	割合
1	週5日以上	39	7.9%
2	週3～4日	39	7.9%
3	週1～2日	75	15.2%
4	週1日未満	231	46.8%
	無回答	110	22.3%
	合計(人)	494	100%

自宅からの路線バス利用で、「利用する」と回答した人の利用頻度は、「週1日未満」の46.8%が最も多く、「週1～2日」の15.2%が続きます。

※平成23年度調査の「週5日以上」は15%、「週3～4日」は15%、「週1～2日」は25%、「週1日未満」は45%であり、週1日以上割合が減少し、週1日未満の割合が増加するという結果になります。

Q16. 利用する路線バスのサービス内容について（個人）

※Q15-1：路線バスを利用する人

SA		1	2	3	4	5	無回答	合計 (人)	満足+ やや満足	やや不満 +不満
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満				
		実数								
1	時刻表や経路等の情報のわかりやすさ	107	58	208	37	19	65	494	165	56
2	運行経路、バスの行先	99	55	207	44	24	65	494	154	68
3	運行本数（平日）	41	32	117	149	96	59	494	73	245
4	運行本数（休日）	43	24	136	133	91	67	494	67	224
5	始発時刻（平日）	72	34	225	55	43	65	494	106	98
6	始発時刻（休日）	65	31	242	48	40	68	494	96	88
7	終発時刻（平日）	57	26	180	89	76	66	494	83	165
8	終発時刻（休日）	58	26	182	90	68	70	494	84	158
9	時刻表どおりの運行	76	76	174	76	29	63	494	152	105
10	運賃	66	42	236	60	25	65	494	108	85
11	バス停間隔（バス停位置）	87	51	256	25	9	66	494	138	34
12	鉄道との乗り継ぎ（場所）	106	64	208	28	24	64	494	170	52
13	鉄道との乗り継ぎ（時間）	58	33	188	89	60	66	494	91	149
14	バス停でのバス待ち環境	44	26	225	94	41	64	494	70	135
15	バス車両の乗降のしやすさ	85	58	252	26	9	64	494	143	35
	路線バスのサービス内容 全体	1,064	636	3,036	1,043	654	977	7,410	1,700	1,697
		割合								
1	時刻表や経路等の情報のわかりやすさ	21.7%	11.7%	42.1%	7.5%	3.8%	13.2%	100%	33.4%	11.3%
2	運行経路、バスの行先	20.0%	11.1%	41.9%	8.9%	4.9%	13.2%	100%	31.2%	13.8%
3	運行本数（平日）	8.3%	6.5%	23.7%	30.2%	19.4%	11.9%	100%	14.8%	49.6%
4	運行本数（休日）	8.7%	4.9%	27.5%	26.9%	18.4%	13.6%	100%	13.6%	45.3%
5	始発時刻（平日）	14.6%	6.9%	45.5%	11.1%	8.7%	13.2%	100%	21.5%	19.8%
6	始発時刻（休日）	13.2%	6.3%	49.0%	9.7%	8.1%	13.8%	100%	19.4%	17.8%
7	終発時刻（平日）	11.5%	5.3%	36.4%	18.0%	15.4%	13.4%	100%	16.8%	33.4%
8	終発時刻（休日）	11.7%	5.3%	36.8%	18.2%	13.8%	14.2%	100%	17.0%	32.0%
9	時刻表どおりの運行	15.4%	15.4%	35.2%	15.4%	5.9%	12.8%	100%	30.8%	21.3%
10	運賃	13.4%	8.5%	47.8%	12.1%	5.1%	13.2%	100%	21.9%	17.2%
11	バス停間隔（バス停位置）	17.6%	10.3%	51.8%	5.1%	1.8%	13.4%	100%	27.9%	6.9%
12	鉄道との乗り継ぎ（場所）	21.5%	13.0%	42.1%	5.7%	4.9%	13.0%	100%	34.4%	10.5%
13	鉄道との乗り継ぎ（時間）	11.7%	6.7%	38.1%	18.0%	12.1%	13.4%	100%	18.4%	30.2%
14	バス停でのバス待ち環境	8.9%	5.3%	45.5%	19.0%	8.3%	13.0%	100%	14.2%	27.3%
15	バス車両の乗降のしやすさ	17.2%	11.7%	51.0%	5.3%	1.8%	13.0%	100%	28.9%	7.1%
	路線バスのサービス内容 全体	14.4%	8.6%	41.0%	14.1%	8.8%	13.2%	100%	22.9%	22.9%

路線バスを利用する人のサービス内容についての満足度は

「満足+やや満足」の割合が30%以上は、高い順に、「鉄道との乗り継ぎ（場所）」、「時刻表や経路等の情報のわかりやすさ」、「運行経路、バスの行先」、「時刻通りの運行」となります。

「やや不満+不満」の割合が30%以上は、高い順に、「運行本数（平日）」、「運行本数（休日）」、「終発時刻（平日）」、「終発時刻（休日）」、「鉄道との乗り継ぎ（時間）」となります。

※平成23年度調査の「満足+やや満足」と比較すると、

- ・「運行経路、バスの行先」が56%から31.2%に減少
- ・「始発時刻（平日）」が35%から21.5%に減少
- ・「始発時刻（休日）」が33%から19.4%に減少

※平成23年度調査の「やや不満+不満」と比較すると、

- ・「運行本数（平日）」が42%から49.6%に増加
- ・「運行本数（休日）」が39%から45.3%に増加
- ・「バス停でのバス待ち環境」が34%から27.3%に減少

Q17. 青梅市内の「現在の路線バスのサービス」についての改善要望（個人）

※Q15-1：路線バスを利用する人（改善要望がある方）

MA		実数	割合
1	本数：全般	43	21.4%
2	本数：時間(帯)	43	21.4%
3	本数：経路、系統	23	11.4%
4	乗り継ぎ改善	23	11.4%
5	路線維持、新設	54	26.9%
6	運転・走行・車内環境	30	14.9%
7	バス停	13	6.5%
8	バス車両	12	6.0%
9	その他（改善要望以外）	7	3.5%
	合計(人)	201	100%
	合計(件)	248	-

◆詳細内容は巻末資料に掲載

自由意見から改善要望を区分し示します。
最も多いのは「本数に関すること」の54.2%、次いで「路線維持、新設に関すること」の26.9%です。

4. 「J R 青梅線」と青梅市内の「タクシー」について

Q18. J R 青梅線を利用しやすくするために必要なこと（個人）

MA		実数	割合
1	運行本数を増やす	715	32.9%
2	始発便をもっと早くする	141	6.5%
3	終発便をもっと遅くする	200	9.2%
4	青梅特快を増便する	936	43.1%
5	遅延しない	311	14.3%
6	駅施設の改善	409	18.8%
7	特になし（現状のままでよい）	649	29.9%
8	その他	111	5.1%
	無回答	130	6.0%
	合計(人)	2,170	100%
	無回答除く合計(件)	3,472	-

J R 青梅線を利用しやすくするために必要なことは、「青梅特快を増便する」の43.1%が最も多く、「運行本数を増やす」の32.9%、「特になし（現状のままでよい）」の29.9%が続きます。

Q18. J R 青梅線を利用しやすくするために必要なこと（個人） （その他）

MA		実数	割合
1	青梅特快の停車駅を減らす	11	9.9%
2	青梅特快・快速等の増便	15	13.5%
3	乗り継ぎ、接続、直通経路の改善	14	12.6%
4	運行本数を増やす、減らさない、運行ダイヤの改善	12	10.8%
5	青梅駅から奥多摩方面の利便性を改善	13	11.7%
6	バスとの乗り換え連絡(運行時刻)を改善	5	4.5%
7	車両の改善	2	1.8%
8	駅および周辺施設等の改善	33	29.7%
9	特急をライナー並みの値段にしてほしい	1	0.9%
10	利用しない、わからない	10	9.0%
	合計(人)	111	100%
	合計(件)	116	-

Q19. タクシーを利用しやすくするために必要なこと（個人）

MA		実数	割合
1	予約しやすくする	500	23.0%
2	車両の乗降が楽にできる	162	7.5%
3	車いすの乗降ができる	160	7.4%
4	定額運賃制度（※）の導入	694	32.0%
5	特になし（現状のままでよい）	927	42.7%
6	その他	131	6.0%
	無回答	174	8.0%
	合計(人)	2,170	100%
	無回答除く合計(件)	2,574	-

タクシーを利用しやすくするために必要なことは、「特になし（現状のままでよい）」の42.7%が最も多く、「定額運賃制度の導入」の32.0%、「予約しやすくする」の23.0%が続きます。

※指定された乗車エリアから目的地まで、あらかじめ決められた定額運賃でタクシーを利用できる制度

Q19. タクシーを利用しやすくするために必要なこと（個人） （その他）

MA		実数	割合
1	料金が安い、安くする	44	33.6%
2	料金割引チケット、運賃補助	7	5.3%
3	支払い方法の多様化	2	1.5%
4	運転(手)マナーの改善	10	7.6%
5	サービスの充実	9	6.9%
6	利用したいときにすぐに利用できるようする、待ち時間を短く	39	29.8%
7	利用しない、わからない	17	13.0%
	合計(人)	131	100%
	合計(件)	128	-

5. 青梅市内の「路線バスの今後の維持・継続」について

Q20. 地域を運行する路線バスの必要性について（世帯）

MA		実数	割合
1	家族の日常生活には、なくてはならない交通手段である	224	19.1%
2	普段は利用していないが、必要な時にないと困る	706	60.2%
3	現在は必要ないが、将来クルマを運転できなくなったときにないと困る	705	60.1%
4	自分の世帯には直接必要ないが、駅から遠い人やクルマのない人には必要である	624	53.2%
5	あまり必要性を感じない	34	2.9%
6	わからない	7	0.6%
	無回答	42	3.6%
	合計(人)	1,173	100%
	無回答除く合計(件)	2,300	-

路線バスの必要性は、「必要な時にないと困る」の60.2%と、「将来ないと困る」の60.1%が多く、「駅から遠い人やクルマのない人には必要」の53.2%が続きます。

Q21. 青梅市の路線バスに関する公共負担について（世帯）

1. 青梅市の路線バスに関する公共負担の状況について

SA		実数	割合
1	知っていた	272	23.2%
2	路線バスの赤字は知っていたが、赤字への補助（公共負担）は知らなかった	284	24.2%
3	知らなかった	587	50.0%
	無回答	30	2.6%
	合計(人)	1,173	100%

路線バスへの公共負担は、「知らなかった」をあわせると74.2%になります。

※平成23年度調査では、あわせて77%でしたので、若干の減少はみられるものの、周知が浸透されているといえます。

Q21. 青梅市の路線バスに関する公共負担について（世帯）

2. 現在の路線バスを維持するための公共負担について

SA		実数	割合
1	さらに公共負担を増やし、路線バスを改善していくべき	117	10.0%
2	公共負担をこのまま継続して、路線バスを維持していくべき	411	35.0%
3	公共負担は必要だが、現在の補助額は高いと思うので、対策を講ずべき	388	33.1%
4	路線バスへの赤字補助は必要ない、廃止となってもやむを得ない	26	2.2%
5	わからない	124	10.6%
6	その他	66	5.6%
	無回答	41	3.5%
	合計(人)	1,173	100%

Q21. 青梅市の路線バスに関する公共負担について（世帯）

2. 現在の路線バスを維持するための公共負担について（その他）

MA		実数	割合
1	バス車両の小型化	16	24.2%
2	コミュニティバス等の運行	15	22.7%
3	運賃補助の低減等	4	6.1%
4	運行、運営内容等の効率化、利便性向上	23	34.8%
5	全般的な対策	13	19.7%
	合計(人)	66	100%
	合計(件)	71	-

◆詳細内容は巻末資料に掲載

路線バスを維持するための公共負担は、「維持すべき」の35.0%が最も多く、「高いので対策を講ずべき」の33.1%が続きます。

※平成23年度調査では、前者は44%、後者は47%でした。

Q22. 日常生活を送る上で、路線バスを利用するとしたら、どの程度の運行本数が必要か（世帯）

SA		実数	割合
1	朝、夕にそれぞれ1本程度	45	3.8%
2	朝、昼、夕にそれぞれ1本程度	52	4.4%
3	朝、昼、夕にそれぞれ2本程度	138	11.8%
4	1時間に1本程度	220	18.8%
5	1時間に2本程度	409	34.9%
6	わからない	195	16.6%
7	その他	68	5.8%
	無回答	46	3.9%
	合計(人)	1,173	100%

路線バスについて希望する運行頻度は、「1時間に2本程度」の34.9%が最も多く、「1時間に1本程度」の18.8%が続きます。
※平成23年度調査では、前者は37%、後者は40%でしたので、逆転しています。

Q22. 日常生活を送る上で、路線バスを利用するとしたら、どの程度の運行本数が必要か（世帯）（その他）

MA		実数	割合
1	1時間に3～4本	26	38.2%
2	1時間に5～6本	2	2.9%
3	22時以降、夜間の帰宅時間に運行	1	1.5%
4	電車の時間に合わせてほしい	2	2.9%
5	通勤・通学時間帯の増便等利用状況に合わせて設定	24	35.3%
6	現状維持	7	10.3%
7	わからない、その他	7	10.3%
	合計(人)	68	100%
	合計(件)	69	-

6. 「市内の地域公共交通」全般について

Q23. 市民参加型の公共交通利用促進策について、関心があるもの（世帯）

MA		実数	割合
1	公共交通の写真展（駅やバス停、車両などの入った風景写真を募集）	188	16.0%
2	公共交通サポーター制度（※）	383	32.7%
3	公共交通検定（青梅市内の公共交通に関するご当地検定）	82	7.0%
4	J R 青梅線を活性化する応援隊（青梅市と近隣自治体が連携して J R 青梅線の利用を促進）	429	36.6%
5	その他	128	10.9%
	無回答	291	24.8%
	合計(人)	1,173	100%
	無回答除く合計(件)	1,210	-

※施設の清掃・美化やバス停敷地を提供してくれる町会や商店会、事業所、学校、有志などを募集

Q23. 市民参加型の公共交通利用促進策について、関心があるもの（世帯）（その他）

MA		実数	割合
1	バスについて	17	13.3%
2	鉄道について	4	3.1%
3	タクシーについて	3	2.3%
4	公共交通全般	16	12.5%
5	運賃について	5	3.9%
6	周辺施設、観光促進、イベント等によるPR	43	33.6%
7	わからない、公共交通の策はない	37	28.9%
	合計(人)	128	100%
	合計(件)	125	-

◆詳細内容は巻末資料に掲載

市民参加型の公共交通利用促進策は、「JR青梅線を活性化する応援隊」の36.6%が最も多く、「公共交通サポーター制度」の32.7%が続きます。

Q24.「今後の地域公共交通のあり方」に関する自由意見（世帯）

※（意見がある方）

MA		実数	割合
1	コミュニティバス、新規公共交通システム	108	29.3%
2	路線バス	163	44.2%
3	鉄道	33	8.9%
4	タクシー	19	5.1%
5	地域公共交通全般、利用促進策	91	24.7%
6	調査について、その他	8	2.2%
	合計(人)	369	100%
	合計(件)	422	-

◆詳細内容は巻末資料に掲載

自由意見を区分して示します。

「路線バスに関すること」の44.2%が最も多く、「コミュニティバス、新規交通システムに関すること」の29.3%が続きます。

資料 – 意見等の内容 –

Q17. 青梅市内の現在の路線バスのサービスについての改善要望（個人）

※Q15-1：路線バスを利用する人（改善要望がある方）

（内容が複数ある場合は、各項目で再掲している）

改善要望の内容(1)

1 〈本数：全般〉	
1	1時間に4本以上あり、生活利便で感謝しています
2	多くの本数と経由で病院に行けるのでありがたいです
3	路線バスの本数を多くしてほしい
4	路線バスの本数を多くしてほしい
5	わかりやすい運行時間、20分間隔など
6	小型のバスでよいので本数が増えたと助かります
7	日中、西武バス、都営バスが2台続けてくると、少し（30分でも）ずらしてあればよいと思う
8	現在は自家用車やバイクで移動できるが、免許返上したらバスの利用が増えると思うので本数が減らないことを望んでいます
9	運行本数を増やしてほしい
10	運行本数を増やしてほしい
11	バスの本数不満
12	本数が少なすぎる、雨の日などに利用したくても1日に2〜3便の路線もありほとんど利用できない。徒歩で行けない場所は自転車を使用しているが、市内に坂が多く大変。もっと本数を増やしてほしい
13	銚子電鉄みたいになくなら困るので、現在のままでよいです。バスの来ない時間帯があるので増やしてほしいです
14	運行本数を増やしてほしい
15	運行本数を増やしてほしい
16	運行本数を増やしてもらえればありがたい、1時間に2本
17	1時間の本数を増やしてほしい
18	もう少し本数を増やす手欲しいです。1時間に3本くらいあると嬉しいです
19	一日中本数を増やしてください
20	全体的に本数が大分少ない（車が無いと大変）
21	全体的に本数が大分少ない（車が無いと大変）
22	運行本数が少ない、夜の最終バスの運行が早すぎる
23	運行本数が少ない、夜の最終バスの運行が早すぎる
24	利用したい場所にバス停がなく、1時間に1本程度じゃ使い勝手が悪すぎます。使いたいのに使えないのが現状です。スポンサーを募ったりして、サービス向上に努めていただきたいです。これじゃ免許返納しないシニアが増加する一方
25	本数が少ない
26	本数が少ない
27	バスには乗りたいが、本数が少なく乗れない。以前はよく利用していた
28	天候や季節により多少はあってもよいのではと思う
29	運行本数を増やしてほしい
30	本数について、ぜひ縮小される事の無いようお願いしております。日常一人で生活しており、病院・役所・買い物等電車が足になっております。バスによって、ステップが高く乗り降りが大変になっている
31	運行本数がかなり減ったのでより使わなくなってしまう
32	本数が少ないし河辺行きが多い、青梅行きが土曜日は少ない
33	1時間に1本程度増便
34	運行本数を増やしてほしい
35	乗車定員は少なくないので、運行本数を多くして頂かないと公共交通手段とするには厳しい
36	バスの増便、1時間に2本程度とする。1年後利用していない便の削減
37	平日増便してほしいです
38	運行本数を増やしてほしい。免許を返納したとき生活していけない
39	バスの本数を増やして欲しい
40	本数を増やしてほしい
41	本数を増やしてほしい
42	本数が少ない困る
43	本数が少ない困る
2 〈本数：時間(帯)〉	
1	時々、早朝に利用しますが5時台にむ1本あればよいと思います。
2	通勤で利用していますが、本数が少ないため車内が混み、コロナ禍なので心配で、安心して利用できない。せめて、通勤・帰宅時間帯は本数を増やすべき。コロナが収束するまでの間だけでもお願いします
3	バス停の場所に雨除け（屋根）、ベンチなど整備。朝5時台の始発が欲しい
4	最寄りが「多摩高校前」なので、学校登校がある平日はまだ本数に納得するが、休日の本数がやや少ないと感じる。せめて7〜8時대에1〜3本程度、午後も1〜2本は増やしてほしい（裏宿町行を）
5	飯能方面へよく出かけたと思うので数が、帰りのバスが早く終わるすぎていつも困っています。ジョイフルホンダなどホームセンターに行きたいのですが、バス停から遠くていけなかった

改善要望の内容(2)

2 (本数：時間(帯)) 続き	
6	平日の帰宅時間が22時ですが22時台には1本しかバスがなく、休日仕事ですが終バスが21時台で、帰るころにはもうバスがありません。コロナの関係で減便したのかもしれませんが、非常に不便に困っています。バス停に屋根があったらとても助かります
7	都バスと他会社のバス時刻が同じ時刻があります。両社が離れていれば本数も時刻も便利になる
8	運行本数が少なすぎる。通勤時間帯（6-8時）を増やしてほしい。日中は1時間に1本でもかであるが、帰宅時間帯（19-21時）と終便が22時で早すぎる。バス運行時間をJRとの連動がない
9	運行本数が少なすぎる。通勤時間帯（6-8時）を増やしてほしい。日中は1時間に1本でもかであるが、帰宅時間帯（19-21時）と終便が22時で早すぎる。バス運行時間をJRとの連動がない
10	平日の朝（通勤時間）の本数を増やしてほしい
11	平日朝の花小金井行きバスの運行を増やしてほしい
12	青梅車庫どまりのバスは午前8時から午後9時までの間運行がないのでとても不便です
13	日中の運行本数が少ない
14	青梅発・河辺行きバスの1日4本に減ってしまった。9時台がないなんて信じられない。どこにも行かない、人も来なくなりました。仕方がないから違うバスにのるけれど、バス停が遠くて大変。もっと本数を増やして。だから青梅は特に千ヶ瀬はダメなんだ。こんなだから若い人が消えなくなるんだ
15	友達と飲んだりしたときなどに深夜バスがあるとすごく助かります
16	河辺駅からの最終バス出発時刻をもっと遅い時間に増やしてほしい（23：00まで）
17	路線バス維持に1億2千万円の税金を充当しているとなっていますが、自分は青梅市に住んで多くの税金を納めています。住んでいる人がいる以上、生活を安定させるための路線は必要です。今以上に負担を増やしても時間ごとに増やすべきです。子どもが通学で路線バスを利用しますが、時間が合わず困ることがあります
18	小型バスにして平日等の昼間の本数を増やしてほしい。青梅駅から御岳ロープウェイ行き、平日何本か出してほしい（朝夕でも）。奥多摩へ行くのに吉野又は御岳から先が切れておりつなげるルートが欲しい
19	小型バスにして平日等の昼間の本数を増やしてほしい。青梅駅から御岳ロープウェイ行き、平日何本か出してほしい（朝夕でも）。奥多摩へ行くのに吉野又は御岳から先が切れておりつなげるルートが欲しい
20	深夜バスを復活してほしい
21	青梅斎場までのバスがなくなってしまったのが残念。16時半～17時台ぐらいに一本（友引の日以外）に出ていると助かる
22	いつも路線バスの運営ありがとうございます。終バスの時刻が早く、駅前にタクシーがない時もあるので、もう少し遅い時刻まで運行してもらえると幸いです。また駒木町にはスーパー・コンビニがないため、スーパーなどに連れて行ってもらえるバスがあると助かります
23	帰宅時間帯に数本増便
24	西東京バスの本数平日（朝6時～8時台、夕17時～21時台）、土日の（朝7：30～9：00、夕17：00～21：00）の本数を1時間に2本増やしてほしい
25	西東京バスを利用しているが、平日の通勤時間帯（朝6～7時台、夕17時～20時台）の本数が少ないので増やしてほしい
26	7時台および18時台を本数を増やしてほしい。10時以降がなさすぎる
27	西武バスの河辺-原今井便が少なすぎます。乗りたい電車に乗れないし、帰りはもっと不便。河辺駅で何十分待たされることや。あんなに大きいバスでなくてよいので、羽村のコミュニティバスくらいで、1時間に3～4本便があれば使いやすいです。帰りのことを考えるとバスで出かけることは困難としか言いようがない。夜も8：30前に最終が出てしまうため、飲み会がある時は本当に困る。今井1、2丁目の住民は飲みに出かけるなどということか
28	最寄りのバス停、柳川は都営バス・西武バス2社運行していますが、都営バスと西武バス2台並んで走っているのをよく見かけるので、少し間隔をあけてダイヤを組んでほしいです
29	バスが早く終わってしまうので、毎日送迎がある。バスに乗りたくても本数もないので困る。特に帰り時間が早く終わるので考えてほしい
30	通勤に使用したいが、朝（5～7時）の本数が少なく不便。また休日昼間も本数が少ないので、外出の際に不便。近所のお年寄りが駅前まで買い物に行っても帰りのバスがないので1時間ほど時間をつぶさないといけないと話していて不安そうだった。また終便が早いので残業すると駅から自宅までタクシーが徒歩になってしまう（自宅まで徒歩で40分ほどかかる）
31	夕方の時間帯に駅に向かうバスを増やしてほしい
32	通勤の時間帯は特にバスの本数を増やしてほしい。都バスを利用しているが特に帰りの夕方の時間帯の本数が少なく、不便である。屋根のあるバス停やベンチのあるバス停が少ないため、待つ時間が長いのに不便すぎる。しかも一度、バス停で待っているのにスルーされたことがある
33	終バスの時間が早くて仕事終わりには乗ることができない。せめて22時代に1本欲しい。バスが10分以上遅れることがある。以前のような西東京バスの深夜バスがほしい。夜のタクシーの台数を増やして欲しい。1時間待ちもある事なので大変である
34	終バス時刻を23時にして欲しい
35	22時台の本数をもう少し増やしてほしい
36	始発については、もっと早くして欲しい。早朝の場合は希望する時間帯にバスが無いため徒歩で駅に行っている。終発についても同じで
37	本数が増えて、遅くまで走ってほしい
38	夕方以降駅から出るバスの本数が少ない。バス停の足元に並ぶ利用の白線など何かわかりやすいものがあると良い
39	休日出勤及び夜勤の帰宅の際に利用出来る、あるいはし易い時間のバスがない
40	平日、休日共運行本数の増便。（特に河辺駅からの最終便を少し遅い時間にしたい）
41	コロナが収束したら、小作駅利用の深夜便や、羽田空港への往復直行便等を増やして欲しい
42	運行本数が少ない、夜の最終バスの運行が早すぎる
43	運行本数が少ない、夜の最終バスの運行が早すぎる

改善要望の内容(3)

3 (本数：経路、系統)	
1	西東京バスの市内沿線各駅からの本数を増加してほしい
2	本数の増便、何行きかは不明ですが（入間行き）今寺一本榎バス停の便を増やしてほしい、河辺行きをお願いします
3	今まで河辺行きの（平日）がありました、なくなっていました。平日は青梅駅までバスで行き、駅より電車を使用しています。平日も河辺行きが何本かあると良いと思いますが。（西東京バス）です
4	今まで河辺行きの（平日）がありました、なくなっていました。平日は青梅駅までバスで行き、駅より電車を使用しています。平日も河辺行きが何本かあると良いと思いますが。（西東京バス）です
5	西武バスは本数が少なすぎる。出かける時はバスに合わせて出かけざるを得ず、帰りは河辺駅で待ちぼうけ、結局金子にしても小作にしても自家用車で出かける有料パーキングに止めてでかける。せめて1時間に3～4本欲しい。今の本数では使うに使える、乗れない利用者がいなくなる-廃線になるの悪循環なのでしょう
6	今寺や藤橋方面のバスの本数を増やしていただきたいです
7	病院等の企業のバスを一般に利用できると便利。河辺からイオンモール行きがなくなり不便、土日だけでも入間方面も増え、アウトレットまで行ける。バスは小型にして本数を増やしてほしい（はむらん）。成木・御嶽等は観光客を呼び込みバスを利用してもらう
8	河辺駅行き（上長淵バス停）の本数が減ってしまいとても不便に感じている。東青梅駅軽油河辺駅行きバスや、青梅駅行きバスの本数を増やしてほしい
9	長淵地区のバス本数が少なすぎると感じる。今後高齢者が増えると予想され、移動手段がなくなる不安が大きい。赤字補填とコミュニティバスではどちらが費用が掛かるのか、もっと議論すべきでは
10	駒木町巡回が少なすぎる
11	最寄りが「多摩高校前」なので、学校登校がある平日はまだ本数に納得するが、休日の本数がやや少ないと感じる。せめて7～8時代に1～3本程度、午後も1～2本は増やしてほしい（雲宿町行を）
12	飯能方面へよく出かけたと思うので数が、帰りのバスが早く終わるすぎていつも困っています。ジョイフルホンダなどホームセンターに行きたいのですが、バス停から遠くていけなかった
13	平日朝の花小金井行きのバスの運行を増やしてほしい
14	青梅発・河辺行きのバスが1日4本に減ってしまった。9時台がないなんて信じられない。どこにも行かれない、人も来なくなってしまった。仕方がないから違うバスにのるけれど、バス停が遠くて大変。もっと本数を増やして。だから青梅は特に千ヶ瀬はダメなんだ。こんなだから若い人が減っていくんだ
15	河辺駅からの最終バス出発時刻をもっと遅い時間に増やしてほしい（23：00まで）
16	小型バスにして平口等の昼間の本数を増やしてほしい。青梅駅から御岳ロープウェイ行き、平口何本か出してほしい（朝夕でも）。奥多摩へ行くのに吉野又は御岳から先が切れておりつなげるルートが欲しい
17	小型バスにして平日等の昼間の本数を増やしてほしい。青梅駅から御岳ロープウェイ行き、平日何本か出してほしい（朝夕でも）。奥多摩へ行くのに吉野又は御岳から先が切れておりつなげるルートが欲しい
18	青梅斎場までのバスがなくなってしまったのが残念。16時半～17時台ぐらいに一本（友引の日以外）に出ていると助かる
19	本数が少ないし河辺行きが多い、青梅行きが土曜日は少ない
20	西武バスの河辺-原今井便が少なすぎます。乗りたい電車に乗れないし、帰りはもっと不便。河辺駅で何十分待たされることやら。あんなに大きいバスでなくてよいので、羽村のコミュニティバスくらいで、1時間に3～4本便があれば使いやすいです。帰りのことを考えるとバスで出かけることは困難としか言いようがない。夜も8：30前に最終が出てしまうため、飲み会がある時は本当に困る。今井1、2丁目の住民は飲みに出かけるなどということか
21	最寄りのバス停、柳川は都営バス・西武バス2社運行していますが、都営バスと西武バス2台並んで走っているのをよく見かけるので、少し間隔をあけてダイヤを組んでほしいです
22	平日、休日共運行本数の増便。（特に河辺駅からの最終便を少し遅い時間にしたい）
23	コロナが収束したら、小作駅利用の深夜便や、羽田空港への往復直行便等を増やしてほしい
4 (乗り継ぎ改善)	
1	JR青梅駅発着の時刻と同期した時刻表としてほしい。東京発着の特快到発に微妙に合わないことが多い。特に青梅駅に着いたとたん、バスの尻を見ることが多い
2	通勤に市民センター7：08のバスに乗り、南峯で八高線金子駅7：25に乗車しているのですが、バスが遅れると次の電車47分まで呆然と待つようになり、何とか間に合わせようとすると降車してバスの前をすぐ反対に渡らないと停車していた分車が何台も連なってきて横断に時間がかかるからです（危ないことは承知しています。そうしないと絶対間に合わないからです。時間と危険の命がけです。よろしくお願いいたします
3	友田南を7：06発ですが7：00くらいでもよい
4	河辺駅北口小作駅東口路線で霞町新町バス停での待ち時間が長い
5	鉄道との乗り継ぎ時間を考慮した時刻表にしてください
6	鉄道の乗り継ぎで、2～3分差で先にバスが出てしまい、改札を出てからしばらく待つことがある。数分差であれば待っていてほしい
7	鉄道バス乗り継ぎ時間が短い
8	鉄道バス乗り継ぎ時間が短い
9	青梅特快時刻に合わせた運行を検討いただきたい
10	始発電車に乗るためのバスがない（たまにはあるが田舎に帰る時あると便利だなと思う）

改善要望の内容(4)

4〈乗り継ぎ改善〉 続き	
11	乗り継ぎ客を待ってから発車してほしいです
12	電車の時間とのタイミングを考慮していただけたらありがたい
13	足と膝が丈夫でなく、坐骨神経痛もあります。元気な人に比べて歩くのに少し時間がかかります。バスと電車の乗り継ぎ時間があと5分長ければいつも思っています。いつも焦って歩くので、転倒したらどうしようと不安があります
14	本数が少なく時刻も遅れることが多い。時刻表も毎年1分ずつ遅くしていったことがあり、鉄道との乗り継ぎ時刻が悪い。1分差で電車が行ってしまふ、電車到着後バス停に向かうと目の前で発車／1分前に発車など。朝の通勤時の駅降車場位置もわざわざ駅階段から離れた位置に止めることが多く、利用者のニーズや利便性を考えていない
15	本州が少なく、思った時間移動ができず不便。青梅線との時刻表連携が悪い。ちょっとした差で行ってしまったあとということが多い。時刻表設定の悪さや本数の少なさが原因で、路線バスはあてにならないというイメージができてしまい、ますます利用者が減ってしまう状況になっている
16	時刻通りに運行してほしい。減多に利用しないが、毎回5分以上の遅れがある印象。青梅線を一本逃すと八高線の乗り換えが30分遅れるため、非常に困る。遅れるなら遅れる想定で時刻表を組んでほしい
17	電車の時刻に合わせてほしい
18	電車への乗り継ぎを考慮して、バスを利用するかどうかを判断するが、バスの運行が遅れていると電車に乗り遅れてしまうことがあるので、せめて2〜3分程度の遅れでの運行が出来るが良い
19	小作駅に青梅行きの電車が到着と同時にバスが発車している。まさに電車到着時刻とバス発車時刻が同じである（西廻り18時）
20	駅からのバス発車時刻と電車到着時刻、少しずつずらす事が可能ですか
21	降りる時、お礼を言って、障害者などで免除してもらえの手帳を提示します。ほとんどの方はありがとうございましたと言ってくれますが、中には私だけ無視する運転手さんむいて悲しいです。車椅子の方にとっても親切な運転手さんむいます。運転、アナウンス、挨拶がとっても丁寧で感じのいいバスに乗れた時は嬉しいです。安心して乗っていられます。青梅線に乗り継ぎしなければ意味がありません。青梅特快、快速などは乗れるようにしてほしいです。帰りも30分もバスを待つ時間帯があって、青梅駅前で待つのは本当に苦痛です。青梅駅前のバス待ちの人は並びません。バスが着くと、我先に乗り込みます。ベンチがあって並べないのもあるけど、あさしくて嫌いな光景です。お年寄りが多いのでベンチは必要でしょう
22	運行本数が少なすぎる。通勤時間帯（6-8時）を増やしてほしい。日中は1時間に1本でもかであるが、帰宅時間帯（19-21時）と終便が22時で早すぎる。バス運行時間をJRとの連動がない
23	運行本数が少なすぎる。通勤時間帯（6-8時）を増やしてほしい。日中は1時間に1本でもかであるが、帰宅時間帯（19-21時）と終便が22時で早すぎる。バス運行時間をJRとの連動がない
5〈路線維持、新設〉	
1	羽村市の様な小さなバスを走らせてほしい
2	森下の十字路から柳川の十字路のところは道が狭くてバスは通れないが、回送のバスは通っていて、客を乗せるとなると通れない。これはおかしい
3	コミュニティバス導入を目的とするなら市内を走る路線バスを廃止すべき
4	青梅駅から日の出のイオンモール便も必要
5	荷物の移動にも活用する。交通が立ちゆかない“へき地”の解消。JR駅から遠い都バスのバス停がある「梅70」がJR駅に立ち寄るようにしてほしい。何年か前の大雪のときの運休には大変困った、アップダウンのある街中があることは承知だが、機動力のある車体を使って止まらないようにしてもらえるとありがたい
6	日の出町へのバス路線を作してほしい（増加も含む）
7	青梅駅行きがなくなり、本数もすごく減り利用しづらくなった。イオン行きもなくなったので残念。バス停にごみを置いて行ってしまう人がいるので迷惑
8	河辺1丁目地内バスを通してほしい
9	都バス路線でJR河辺駅に寄ってほしい
10	現状は徒歩・自転車でもOKな時もありますが、今後の生活を考えると不便を感じます。「赤字」は理解しますが、小さなコミュニティバスなど経費の掛からない車でも運行してもらおうと大変ありがたいです
11	路線バスは絶対必要です、困ります、なくさないでください
12	「はむらん」のようなバスがあると嬉しい
13	バス停に遅延状況の表示、都営交通（バス）だけで新宿まで行けるように
14	近い将来運転免許を返上する予定、路線バスの充実を希望します
15	コミュニティバスを運行させてください
16	乗車時間に関しては目的の時間に合わせ、早めに出るなどすれば特に問題は感じない。奥多摩に住む人の電車利用のような本数の不満もないが、時々利用する際の乗車人数の少なを見ると、これで採算がとれるのだろうかと思っていたのも事実あり、乗車人数の少ない時間帯の例えばバスの小型化・本数を減らす等あってもよいのかと感ずることはありました。地元の老人ホームのバスの利用の案内も聞いたりします
17	すべてを分かり易く案内していただければバスを足代わりに使っている人、将来使う人にとって助かります。市民どうして気軽に乗せてほしい。乗せていけますとなれば良いですが、ネットでやり取りするのも高齢者にとっては難しいと思います。車を持っていて一人で一台の車を使って、バス停でバスを待っている人を見ると同じ方向に行きたい人を3人くらい乗せていけるのにな、と思うことは常々あります。今後免許の返納となった場合、バスは大切な移動手段になると思います

改善要望の内容(5)

5	〈路線維持、新設〉続き
18	今はあまり利用していないが、将来的に必ず使う大切な交通手段だと思います
19	千ヶ瀬1丁目の河辺下通りにバスを走らせてほしいです。よろしく願いいたします
20	自宅が駅から遠いのでバスは今後の家族の生活のために絶対必要だと思っています
21	今後免許返納は必須になります。その時のことを考えると公共交通機関の大切さを感じております。（大変心配でもあります）とバス等ありがたく利用してますので減便などがおこなわれない事を願っております
22	以前、入間市駅から青梅駅までの路線をよく使っていましたが、河辺行きになってしまい少し不便です
23	アンケートによる質問はコロナのためバス利用がありません。3年前のことを思い出して回答しています。大型はいりませんが、1人支援者がいるため10～12人の巡回増やしてほしい
24	小型バスにして走らせる、大型は維持が大変なのではないか。走る路線をスーパーや医院を中心にするのはどうか
25	コミュニティバスの導入希望
26	コミュニティバスの導入希望
27	路線を増やしてほしい
28	小型のバスで1時間に2回運行。次のバス停が運転手にわかるモニター設置
29	総合病院へ行くバス（専用マイクロバスでも東青梅駅前からでも良い）が欲しい。せめてもの願いです。大勢の方が行ってます
30	小さいバスでよいからもっと地域の細かいところまで回ってほしい。1時間に2本くらい走っているとすごく助かる
31	維持
32	2年前に転居してきましたが、交通の便はあまりよくないと思います。高齢者にとっては交通の便の悪さはつらい。ミニバスなど今はどこでも利用できるようになっているので、青梅市も利用できれば高齢者など助かると思います
33	日の出イオン行きバス（土日）がなくなってしまったのが残念です。コロナで行く機会は減りましたが、またコロナが落ち着いたら再開願いたい
34	梅郷から青梅市立総合病院へ行くのに青梅駅までなので、病院の近くまで一本で乗って行ければよいと思う
35	市内循環バスを採用してほしい。車の運転ができなくなると大変不便です
36	市内循環バスを採用してほしい。車の運転ができなくなると大変不便です
37	埼玉県と隣り合っているのに本数が少なく、西武線に乗り換えるのに遠回りしている。1本乗り遅れると1時間待つ。河辺周辺は時間をつぶせるが小作駅は何もない。路線バスは赤字部分をやめてその分コミュニティバスをお願いしたい。バスが通らないような所も行け、利用も増える
38	河辺駅からイオンモールへ行くバスが休日のみ運行していたが廃止されて非常に不便
39	路線バスへの赤字補填に1億2千万円も掛けたとしても、赤字路線の路線バスを廃止するべきではないと、私は考えます。車のない人にとって、むしろ、年を重ねて、運転免許証を手放した、高齢者にとって、路線バスは、市民の買い物、通院に欠かせない、毎日の足だからです。路線バスが、赤字だったとしても、そこにバス停留所が、存在しているから、青梅市に住民として住んでいる人も、少なからず居ると考えます。都市工学では、ネットワーク効果と言った事があると考えます。便利な所は、人が集まり益々便利に、不便な所は人が集まらずに、益々過疎化するそうです。自家用車を持っている人達にとって、青梅市の便利な一軒家の範囲は、軍畑駅辺りが限度と私は考えます。車のない人にとっては、これが、青梅駅付近になると思います。JR青梅線のグリーン車構想により、JR青梅線の青梅特快の始発駅が河辺駅になるとしたら、東青梅駅と、青梅駅は、東京アドベンチャーラインの中に組み込まれ、一気に、空き家が増えると思います。JR東青梅駅と、JR青梅駅近辺に、空き家を増やさないために、今の路線バスは、維持するべきです。私は、鉄道と路線バスの何方が運行コストが係るのか分かりませんが、これから、青梅市に人口が大幅に増えることは考えづらいと思えるので、人口減少社会の中の公共交通機関のあり方を考えるべきです。私の知る所では、白タク、つまり、スマホアプリのUberが使えない国は、自動車メーカーの意向により、日本とドイツだけと、ラジオニュースで聞いています。公共交通機関と言えるか微妙ですが、白タク行為を解禁し、乗り合い自家用車を青梅市に走らせ、路線バスを廃止する事こそが、青梅市公共交通機関の赤字に対する特効薬だと個人的には考えます。白タク行為が禁止されている以上、路線バスに対する赤字は、仕方ないと考えます。現状のタクシーは、車椅子でも乗車可能にするかど 一般的に自家用車とは、差別化を図るべきだと個人的には考えます
40	コミュニティバスの運行
41	今井の金子から小作に直接行けるバス停があればいい
42	今井から小作駅に直接行ける路線があってほしい
43	無くなると大変困るので継続して運行してほしい
44	もっと柔軟に路線変更出来てもいいと思う。税金投入してるのあれば、尚更と思う。路線維持も大切だけど
45	銚子電鉄みたいになかったら困るので、現在のままでよいです。バスの来ない時間帯があるので増やしてほしいです
46	友達と飲んだりしたときなどに深夜バスがあるとすごく助かります
47	路線バス維持に1億2千万円の税金を充当しているとなっていますが、自分は青梅市に住んで多くの税金を納めています。住んでいる人がいる以上、生活を安定させるための路線は必要です。今以上に負担を増やしても時間ごとに増やすべきです。子どもが通学で路線バスを利用しますが、時間が合わず困ることがあります
48	深夜バスを復活してほしい
49	いつも路線バスの運営ありがとうございます。終バスの時刻が早く、駅前にタクシーがない時もあるので、もう少し遅い時刻まで運行してもらえると幸いです。また駒木町にはスーパー・コンビニがないため、スーパーなどに連れて行ってもらえるバスがあると助かります
50	病院等の企業のバスを一般に利用できると便利。河辺からイオンモール行きがなくなり不便、土日だけでも入間方面も増えると、アウトレットまで行ける。バスは小型にして本数を増やしてほしい（はむらん）。成木・御嶽等は観光客を呼び込みバスを利用してもらおう

改善要望の内容(6)

5 (路線維持、新設) 続き	
51	長洲地区のバス本数が少なすぎると感じる。今後高齢者が増えると予想され、移動手段がなくなる不安が大きい。赤字補填とコミュニティバスではどちらが費用が掛かるのか、もっと議論すべきでは
52	終バスの時間が早くて仕事終わりには乗ることができない。せめて22時代に1本欲しい。バスが10分以上遅れることがある。以前のような西東京バスの深夜バスがほしい。夜のタクシーの台数を増やして欲しい。1時間待ちもある事なので大変である
53	降りる時、お礼を言って、障害者などで免除してもらえる手帳を提示します。ほとんどの方はありがとうございましたと言ってくれますが、中には私だけ無視する運転手さんもいて悲しいです。車椅子の方にとっても親切な運転手さんもいます。運転、アナウンス、挨拶がとっても丁寧で感じのいいバスに乗れた時は嬉しいです。安心して乗っていられます。青梅線に乗り継ぎしなければ意味がありません。青梅特快、快速などは乗れるようにしてほしいです。帰りも30分もバスを待つ時間帯があって、青梅駅前で待つのは本当に苦痛です。青梅駅前のバス待ちの人は並びません。バスが着くと、我先に乗り込みます。ベンチがあって並べないのもあるけど、あさまして嫌いな光景です。お年寄りが多いのでベンチは必要でしょう
54	青梅斎場までのバスがなくなってしまったのが残念。16時半～17時台ぐらいに一本（友引の日以外）に出ていると助かる
6 (運転・走行・車内環境)	
1	運転手一人でやることに限界があると思いますので、バスを使っていると、結構人にやさしい感じです。モラルのない人もいますから頑張ってもらいたい
2	車内アナウンスが聞き取れない
3	私自身ではありませんが、高齢者への対応が悪い状況を何度か見たことがあります。運賃の支払い方法について、きつい口調で怒っていました。電子マネーなどが普及する一方で、わかりづらいように思います。年を取った時こそ頼みのバスなのに乗るのがこわくなります
4	西東京バスの皆さん、運転手さん、感じの良い方ばかりです。いつもお世話になっております。なくてはならない存在です。赤字での運営とのこと、初めて知りました。しかし雪も多い、高齢者も多い青梅には必要な存在だと思います
5	バスの現在地、今どこにバスがいるかわかるとありがたい
6	待っているバスが現在どの位置にいるかわかるアプリサービスが欲しい
7	時間以内にきてほしい。今井3丁目のバスは毎回10分遅れなので改善してほしい。たまに時間よりまえに行ってしまうのも改善してほしい
8	運転手のアナウンスが聞き取りにくい
9	行先がよくわからないので分かり易く（JRの電車内のように何駅か先まで電子掲示されるものがよい）
10	バスのスピードが速い時があり少し怖い（運転手によるが都バスが一番怖い）、安全運転をお願いします
11	障がい者割引をしてくれない時がある。障がい者の権利や制度を周知してほしい
12	バス路線の道が狭いので危険
13	運転手のあいさつ（笑顔対応）
14	後期高齢者のバス利用は所得制限なく無料を希望する
15	案内・安全のサービスが良い
16	時々遅れる
17	バスが今どこを通過しているかわかるアプリがほしい。バス停にQRコードを読み込んで向かっているバスの情報がわかるとうれしい
18	もう少し分かり易くお願いします（時刻表、経路等）
19	高齢の方が以前よりたくさん乗られています。杖を使用している方、たくさん荷物を持っている方など、車内は揺れるので全員座れるといいと思います。車いすやベビーカー対応のため、前方の座席数が以前より減っているのは承知しています。後方は段を上げられないといけなないので、後尾の席が空いていても着席しづらいようです
20	河辺駅ロータリーに入った時点で折り返し後の行く先を表示してもらいたい
21	1時間に1本程度のバス運行なのに、数分の時刻変更があるのが腑に落ちない。2～3分ずらして意味あるのか。一方で路線内停留所での待ち時間は10～20分あったりする。コロナ禍で換気が必要なのは当然だがたまにすべての窓が閉まっている。開けようとしたが堅かったので諦めたことがある
22	無職なのでバス賃が負担になる。23区内は220円でどこへも行ける
23	いつも運転手さんには、気持ちよく挨拶をしていただいています。こちらも乗車や降車の際にあたたかい気持ちになります。バス会社によっては、運転手さんの態度があまりよくない会社もあります
24	バスの現在位置、バス停への到着時間、駅への到着時間予測、バスの混雑状況などの情報の見える化を使いやすくしてほしい。現在も上記情報のサービスは行われているが、情報へのアクセスが難しい、また情報の見やすさ、バス接近のアラーム方法など、改善点が多い数ある様に見受けられる。また、大型バスだけでなく、小型バスで回数を増やすなどの対策も有効かと思う。今後、自身の高齢化、またカーボンニュートラルの観点からも、公共交通機関の利用は重要と考える。ぜひ、利用環境づくりをお願いしたい
25	到着時刻が遅くならないようにお願いします。
26	時刻表通りの運行希望。
27	バスの時間をもっと正確にしてほしい。21:00以降の時間もバス欲しい
28	以前から、都営バスと西武バスの競合区間で西武バスが都営バスの5～10分前に走るダイヤが多く、次が1時間以上空き不便。会社に関係なく経路同一箇所は、なるべく間隔を均等にする
29	小型のバスで1時間に2回運行。次のバス停が運転手にわかるモニター設置
30	電車への乗り継ぎを考慮して、バスを利用するかどうかを判断するが、バスの運行が遅れていると電車に乗り遅れてしまうことがあるので、せめて2～3分程度の遅れでの運行が出来るとうれしい。

改善要望の内容(7)

7 (バス停)	
1	バス停に屋根がなく、雨の日はトラックなども多く通るので、時間通りバスが来ないのでずぶぬれになる
2	坂下のバス停時刻表が汚れていたりズレていて時刻を読みづらい
3	バス停が近く利用しやすい
4	バス停に雨や雪の日に屋根がないので、屋根付きのバス停が欲しい
5	バス停の場所に雨除け（屋根）、ベンチなど整備。朝5時台の始発が欲しい
6	青梅駅行きがなくなり、本数もすごく減り利用しづらくなった。イオン行きもなくなったので残念。バス停にごみを置いて行ってしまう人がいるので迷惑
7	平日の帰宅時間が22時ですが22時台には1本しかバスがなく、休日も仕事ですが終バスが21時台で、帰るころにはもうバスがありません。コロナの関係で減便したのかもしれませんが、非常に不便で困っています。バス停に屋根があつたらとても助かります
8	バス停に遅延状況の表示、都営交通（バス）だけで新宿まで行けるように
9	バスが今どこを通過しているかわかるアプリがほしい。バス停にQRコードを読み込んで向かっているバスの情報がわかるといい
10	通勤の時間帯は特にバスの本数を増やしてほしい。都バスを利用しているが特に帰りの夕方の時間帯の本数が少なく、不便である。屋根のあるバス停やベンチのあるバス停が少ないため、待つ時間が長いのに不便すぎる。しかも一度、バス停で待っているのにスルーされたことがある
11	バスの現在位置、バス停への到着時間、駅への到着時間予測、バスの混雑状況などの情報の見える化を使いやすくしてほしい。現在も上記情報のサービスは行われているが、情報へのアクセスが難しい、また情報の見やすさ、バス接近のアラーム方法など、改善点が多い数ある様に見受けられる。また、大型バスだけでなく、小型バスで回数を増やすなどの対策も有効かと思う。今後、自身の高齢化、またカーボンニュートラルの観点からも、公共交通機関の利用は重要と考える。ぜひ、利用環境づくりをお願いしたい
12	夕方以降駅から出るバスの本数が少ない。バス停の足元に並ぶ列の白線など何かわかりやすいものがあると良い
13	降りる時、お礼を言って、障害者などで免除してもらえる手帳を提示します。ほとんどの方はありがとうございますと言ってくれますが、中には私だけ無視する運転手さんもいて悲しいです。車椅子の方にとっても親切な運転手さんもいます。運転、アナウンス、挨拶がとっても丁寧で感じのいいバスに乗れた時は嬉しいです。安心して乗っていられます。青梅線に乗り継ぎしなければ意味がありません。青梅特快、快速などは乗れるようにしてほしいです。帰りも30分もバスを待つ時間帯があって、青梅駅前で待つのは本当に苦痛です。青梅駅前のバス待ちの人は並びません。バスが着くと、我先に乗り込みます。ベンチがあって並べないのもあるけど、あさしくて嫌いな光景です。お年寄りが多いのでベンチは必要でしょう
8 (バス車両)	
1	乗降し易いようにして頂きたい
2	朝夕以外はミニバスの運行でよいと思います
3	小型の車両を使ってみたいどうか。
4	羽村市の様な小さなバスを走らせてほしい
5	小型のバスでよいので本数が増えたと助かります
6	小型バスにして走らせる、大型は維持が大変なのではないか。走る路線をスーパーや医院を中心にするのはどうか
7	本数について、ぜひ縮小される事無いようお願いしております。日常一人で生活しており、病院・役所・買い物等電車が足になっております。バスによって、ステップが高く乗り降りが大変になっている
8	高齢の方が以前よりたくさん乗られています。杖を使用している方、たくさん荷物を持っている方など、車内は揺れるので全員座れるといいと思います。車いすやベビーカー対応のため、前方の座席数が以前より減っているのは承知しています。後方は段を上げらないといけなないので、後尾の席が空いていても着席しづらいようです
9	小さいバスでよいからもっと地域の細かいところまで回ってほしい。1時間に2本くらい走っているとすごく助かる
10	乗車定員は少なくないので、運行本数を多くして頂かないと公共交通手段とするには厳しい
11	病院等の企業のバスを一般に利用できると便利。河辺からイオンモール行きがなくなり不便、土日だけでも入間方面も増えたと、アウトレットまで行ける。バスは小型にして本数を増やしてほしい（はむらん）。成木・御嶽等は観光客を呼び込みバスを利用してもらおう
12	バスの現在位置、バス停への到着時間、駅への到着時間予測、バスの混雑状況などの情報の見える化を使いやすくしてほしい。現在も上記情報のサービスは行われているが、情報へのアクセスが難しい、また情報の見やすさ、バス接近のアラーム方法など、改善点が多い数ある様に見受けられる。また、大型バスだけでなく、小型バスで回数を増やすなどの対策も有効かと思う。今後、自身の高齢化、またカーボンニュートラルの観点からも、公共交通機関の利用は重要と考える。ぜひ、利用環境づくりをお願いしたい
9 (その他(改善要望以外))	
1	このアンケートで何を求めるのか、アンケートの内容が安易である
2	今（令和4年）79歳です。もう何年も前から非課税で年間1000円で東京都ならどこでも利用させていただけるというフリーバスを持っていますので、大変ありがたく思っています。不平不満を言ったらバス会社さん、青梅市に対してばちが当たります、ありがとうございます
3	あまり必要としない場所にいますので考えたことはありませんが、もっと必要とする場所に住んでいる方の意見をいっぱい聞いたほうが良いと思います。普通のバスに乗りますが、人が少ないのでバスでなくても良いのではと思っています
4	主人入院中
5	特にないですが、これからも都バスを利用します
6	路線バスの運行に補助金が多く必要だとわかりました
7	まだ1～2回しか利用していないので良くわからない

Q21. 青梅市の路線バスに関する公共負担について（世帯）

2.現在の路線バスを維持するための公共負担について 「その他」の内容

（内容が複数ある場合は、各項目で再掲している）

公共負担についてその他の内容〈1〉

1	〈バス車両の小型化〉
1	大型バスをなくして時間帯によって小型バスに切り替えたらどうか。ただし大型と小型にかかる費用が同じくらいだとあまり変わらないと思いますが
2	維持費の節約とか、小型バスか小型の自動車等バスでなくてもよい
3	全便大型バスで運用しているが、時間帯によっては小型バスで運用できないか
4	バスを小型化して本数を増やしてほしい
5	乗車人数、利用時間帯等統計を取り、ダイヤの見直し、バスの小型化を考えてみる
6	路線バスではなく利用者が少ない地域には小さいバスや車に対応したら良いと思う
7	車両の小型化など経費の工夫をして路線便数を増やすべき
8	ミニバンにして（大きめのバン）本数を増やしてみても
9	大型ではなく小回りが利く中型車（タウンバスの様なもの）
10	バスの乗客数を少なくできる小型バスにする
11	路線の見直し、大型バスを小さくする、嘱託運転手の活用等
12	大型バスより小型のバスの導入を考えたら良いのでは（場所によっては）
13	バスの小型化
14	バス車両をコンパクトにして機動性を確保
15	フルサイズバスではなく小さなバスにするとか経費を削減して欲しい
16	バスの車両を小型車にすればコストが下がるのでは
2	〈コミュニティバス等の運行〉
1	福祉バスの充実、市内循環バス導入
2	コミュニティバス等で対策を講ずべき
3	コミュニティバスなど考えたらどうか
4	青梅市のコミュニティバスに切り替えていく
5	コミュニティバスを検討してもらいたい
6	コミュニティバスでバスの維持費を削減する
7	シティーバス（コミュニティバス）を考える。公共施設に回れるように
8	まんげんと今の路線形態を続けるから赤字がでる。早く高齢者や交通が不便な所へ他市のコミュニティバスのようなものを整備すべき。現在の市民にとって便利な必要な路線形態にして、必要な本数を確保すれば赤字は出る
9	大型の民間バスだけでなく、小型のバスの活用を図れないものか。他市で行っているコミュニティバスの運行委託により経費削減が図れないか
10	コミュニティバス等への変更、でかい路線バスの維持費より安いのでは
11	羽村さんの様な小型の無料バスの運転へ変更
12	仕組みはよくわかりませんが、コミュニティバスを地域ごとに走らせる
13	もっと市内を頻繁に（安く）安い運賃で運行できる方法に変えるべきだと思う
14	小さいバス「はむらん」のようなもので対処する、大型のバスはやめる
15	路線バスは赤字にならない本数とし、市でコミュニティバスを考えてほしい
3	〈運賃補助の低減等〉
1	高齢者の利用が多いのに、シルバーバスのせいで収益がない。何割かは高齢者にも負担してもらえばいい
2	シルバー運賃年1000円を2000円にする、1000円は安すぎる
3	高齢者からも利用料を取る。若者等を上げたら利用しなくなる
4	タクシーよりは安い範囲で、運賃値上げ
4	〈運行、運営内容等の効率化、利便性向上〉
1	ほかの自治体のような市運営のバスを作してほしい
2	利用者が便利で乗りたいと思える対策をお願いします
3	公共負担を上げるのであれば人が利用の多い場所に高速バス（どのバス停から駅まで直通）を設けることも良いのではと思いました
4	路線バスのコースを減らし、減らしたところを小型バスの民間委託すれば運行コストを減らすことができないでしょうか
5	赤字路線は廃止し、対象の地域はタクシー補助やクーポン配布など対策はどうでしょうか
6	赤字の主な原因は何ですか、人件費ですか
7	運行時間等見直し、線路を短くするアンケートをとり変更する
8	人件費の見直し等経営を見直しすること、どの民間企業でもやっています。生き残れます
9	路線・本数を見直し最適化
10	バスに乗った場合、ポイント等（電子マネー）が付与するようにする
11	ミニバスでよいから公共の運行バスを設けたら良いと思う
12	いざ使おうと言う時、本数の少ない路線時は困ります。本数が少ない→不便→使わないの負のスパイラルにならないように維持してほしい
13	一概に公共負担を増やさなくても、改善はするべき
14	商業施設（イオン・日の出モールなど）と提携して運用しては。病院などの輸送など体の不自由な方達が利用しやすくなるなど
15	需要に合わせて最適な選択をするべき
16	西東京バスではなく、都バスにする。同じ都民、市民で交通格差がありすぎる
17	MAASを活用し、必要な時に利用できるようにしてほしい

公共負担についてその他の内容〈2〉

4	〈運行、運営内容等の効率化、利便性向上〉続き
18	バスを小型化して本数を増やしてほしい
19	乗車人数、利用時間帯等統計を取り、ダイヤの見直し、バスの小型化を考えてみる
20	車両の小型化など経費の工夫をして路線便数を増やすべき
21	ミニバンにして（大きめのバン）本数を増やしてみても
22	路線の見直し、大型バスを小さくする、嘱託運転手の活用等
23	路線バスは赤字にならない本数とし、市でコミュニティバスを考えてほしい
5	〈全般的な対策〉
1	公共負担は必要と思うが、妥当な補助額がわからない
2	自動運転車両の導入まで経費削減対策を要す
3	公共事業はある程度の公共負担は必要
4	路線バスの良いところをもっと公報で知らせる、補助も必要
5	なくてはならない人がある限り、なくしてはいけないとは思いますが、公共負担を増やしてとなると。ほかの代替となる手段、割引（タクシー）するなどした場合の費用がいくらとか比較資料がないとこれだけでは答えは出ないと思います
6	社会福祉の一つであるので維持。それより無駄な公共工事を減らすべき
7	対策をもっと考えるべき
8	常に時代状況は変わるので、もっと煮詰めた議論をし、無駄のない公共負担を構築していくべき
9	高齢化が進むのは間違いないのでもっとお金をかけるべき
10	バスではなくタクシー代の補助等、別対策を講ずべき
11	別の方法を考えた方が良いと思う。税金を使うのも悪いので
12	行政の判断にお任せします
13	コスト削減、高齢化対策視点、人口流入施策の積極推進

Q23. 市民参加型の公共交通利用促進策について、関心があるもの（世帯） 「その他」の内容

（内容が複数ある場合は、各項目で再掲している）

公共交通利用促進策についての内容(1)

1	〈バスについて〉
1	利用客の少ない路線は小型バス導入検討
2	どの駅からどこ行きのバスが出ているのかわかりやすくしてほしい
3	バスを中心にした観光地の案内、アピールが少ない、都心に向けて人の少ない→のんびり歩ける→青梅の良さを広げる
4	今まで本数が減ったのは知っていたが、公報おうめで大きく取り上げたほうがよい
5	コミュニティバスの運行 →例えば地域から青梅総合病院までとか
6	バス停での自転車置き場
7	料金を安くしバス停を増やしたり気軽にどこでも行けるようにする。特別席を有料にし、豪華な席（予約して利用）サブスク等にする
8	青梅市民限定の低額一率100円～200円のバスが欲しい
9	バス優先交通システムの導入
10	サウナバス（移動式サウナを作成して活性化、電車も可）
11	バスに乗車するたびに10分～15分も待たないといけない。ミニバスでもっと利便性を上げること
12	会費を出して小型バス（コミュニティバス）を運行する仕組みをつくり周りに広がる
13	羽村市などの使用しているミニバス・電気バスの巡回運行を考慮して欲しい。 また市内の駅・病院・スーパー・郵便局本局をぐるぐる巡回するワゴン車などがあれば利用したい
14	市民参加型という前に路線バスに関しては路線の数、運行本数が少ないので利用できない。
15	サポーター制度は利用頻度が高い場所へのバス停敷地の提供を募集するのならやってみる価値がありそう。交通検定、応援隊は不要。写真展は経費がかからなければやってもいいが、やらなくてもいい
16	ラッピングバス 子供達の作品（絵など）の展示
17	特定日に、市内バス無料日を作り、実際に利用してもらう
2	〈鉄道について〉
1	西武線うち（飯能⇄河辺）
2	JR青梅線の車両広告にアイマスを起用したりする
3	トイレをきれいに
4	駅のエレベータを利用する人は不便なので改善するべき、高齢者が増える一方なので
3	〈タクシーについて〉
1	タクシーバスキャンペーンをする
2	特にタクシーの利用促進、行政の支援策を検討（タクシー会社、市民に対し）
3	鉄道、路線バスよりもタクシーの利用を充実させる方向が高齢者、障害者、子育て世代にとって負担が無くなると感じます。赤字の補てんをするなら、タクシー券を配布する方が助かる人が多いと思います
4	〈公共交通全般〉
1	専門の会社に頼む
2	活性化させるには増便が必要
3	基本的なサービスの向上、社員教育
4	無料回数券などの配布
5	わかりやすいポイント制度の導入。何回乗ったら割引や何かサービスがえられる
6	これ以上経費のかからないことが必要ではないか
7	民間企業によるサポート制度の委託
8	交通に利用できるサービスの一覧
9	送迎ボランティア（燃料費程度）
10	鉄道・路線バスを一体化した周遊バスを発行するサービスを導入など
11	この様なことにお金を使うのは許せない。活性化させるためには交通網の充実が大切であると考えている。交通網を充実し、しかも安ければ自然と客は戻ってくると思う。例えばどこでも手を挙げれば乗れる（バス停まであまり歩かなくて済み、あそこ市の弱い人は助かる）。写真展やくだらない検定（どうでもいい検定）など流行りのものに目を奪われるのではなく、青梅の交通網を良くするにはどうすればいいか、市民に提案してもらい（無料）それを検討し実行する。市民の声を聴くのが一番である。くだらない税の無駄遣いをせず近隣ともつながれる便利なバス運行を考えていただきたい
12	AIなど新しいを活性化に取り入れ、人件費対策や話題などを取り入れて活性化をするべき
13	赤字の補填よりも、使用者に、補助金を出しメリットを与える事によって、車で行くよりも安心、安全をうたうなど、SDGSにもつながると思います
14	利便性を向上させてPRする。イベント開催しても中身が変わらないなら活性化はしないと思います
15	関心を別の方向に提案して欲しい
16	小手先の策ではなく根本改善をすべき
5	〈運賃について〉
1	高齢者は市内月定額乗り放題
2	料金を安くしバス停を増やしたり気軽にどこでも行けるようにする。特別席を有料にし、豪華な席（予約して利用）サブスク等にする
3	タクシーバスキャンペーンをする
4	青梅市民限定の低額一率100円～200円のバスが欲しい
5	鉄道・路線バスを一体化した周遊バスを発行するサービスを導入など

公共交通利用促進策についての内容(2)

6	〈周辺施設、観光促進、イベント等によるPR〉
1	誰でも気軽に利用できるイメージづくりをする
2	現状がわからない、現状をPRし関心を持たせる
3	大型施設・娯楽・レジャー施設の誘致、イベント関連
4	スタンプラリーなど現地に行くことにより参加するタイプのイベントを実施する
5	青梅管内のJR駅にご当地案内ボランティアを設定して、輪番制で案内しては
6	地域の観光を促進する（美化整理して観光案内に力を入れる）
7	青梅市の活性化がなければ青梅線や地域交通も活性化しないと思う。市の政策などにかかっている
8	ネット戦略をもっと考えるべき
9	駅周辺の商店などの活性化を図る
10	観光地としての集客促進のためのNPO団体の立ち上げ
11	路線バスでめぐる地域ツアーやMaaSの本格導入
12	土地が必要ですがドライブインシアターで流行の映画をみる。プロジェクションマッピングで車両演出する。具体性がない
13	工場・産業の誘致が人口増加又は減少を食い止める
14	駅内の或いは駅すぐ近くに魅力的な商業施設、アミューズメント施設、文化施設、コンサートやスポーツ大会等があれば公共交通機関を多く利用すると思う
15	定期的に駅を利用しての朝市・夕市などの直売などを行い、又それを各市の宣伝する
16	市内観光コースを募集し、観光案内書や関係各社と連携しパスポートのようなものを作り、都内からの観光客増大を図る
17	成木の方に行くところ素敵な所があり車窓だけでも良いのもっとPRしたら良いと思います。いろいろな友人に好評でした
18	青梅駅にデパートを建てて住民を増やして下さい
19	青梅の名所バスツアー的なものとかどうでしょう
20	環境を守るための有効な移動手段であるというアピール
21	駅～駅の各所歩きコース、食べ歩きコース整理設定（バスも使用）し、イベントを企画する
22	路線バスの窮状をもっと強く訴える
23	青梅市のツイッターなどSNSをもっと活用し、市外からの利用者を増やすべき（イベントなど）
24	市民が参加できるイベントなどをもっと開催してほしい
25	スタンプラリー
26	1口周遊きっぷ+飲食店orお土産店のスタンプラリーをする（コロナ終息後）
27	TV企画のお様に路線バスの旅など市内外にPR
28	用事がなくても利用したい車両にする、サービス業、アイデアを募集し、それに税金をかける
29	バス・鉄道を利用した楽しみ方のアピール（乗り継ぎ方法を含む）ショッピングや観光etc.
30	地域のイベントを車体に掲示する
31	観光イベントと協同する
32	漫画で説明
33	公共交通を利用してでも訪れたい場所・空間・施設の創造
34	路線内の企業誘致や観光開発
35	市民が車を使わない日を自分たちで決めて、公共交通を極力使うようにする啓発をする
36	コラボスタンプラリーなど
37	公共交通を便利し、車の利用頻度を少なくするための活動
38	青梅に電車で遊びに家族で行きたいと思ってもらえるような、明るく綺麗な施設を(そういう建物が1つポツンとあっても駄目) 埼玉や神奈川など参考に 何が青梅と違うか、よく勉強しては。せっかく奥多摩湖があっても行って気持ちの良い所ではないし 美味しい食べ物もないし、私は埼玉や神奈川に遊びに行ってますよ。でも電車でってなると又難しいですね
39	商店街の活性化、駅前の商店の充実、永山公園の活性化、家族ずれや他の観光客を呼べる環境に
40	青梅駅を商業施設と併設すれば、活気が出て地域の公共交通機関も使われるのでは
41	バスを中心にした観光地の案内、アピールが少ない、都心に向けて人の少ない→のんびり歩ける→青梅の良さを広げる
42	今まで本数が減ったのは知っていたが、公報おうめで大きく取り上げたほうがよい
43	JR青梅線の車両広告にアイマスを起用したりする

公共交通利用促進策についての内容(3)

7	〈わからない、公共交通の策はない〉
1	利用する人は利用するし、しない方はしないと思うので、余計な予算は使わずに現状維持を
2	わかりません
3	なし
4	現実性がない、現在のままでしかないのでは
5	上記どれもあてはまらない
6	なし
7	具体的には案が浮かびませんが協力したいと思います
8	特にない
9	今はわからない
10	特に関心はありません
11	1～4無駄
12	特になし
13	よくわかりません
14	1～4をしても活性化するとは思えない
15	特にない
16	なし
17	意味がないと思う
18	なし
19	わからない
20	わからない
21	わかりません
22	なし
23	わからない
24	わからない
25	活性化の必要なし
26	人口の増加
27	特になし
28	特になし
29	ない
30	なし
31	金を使うのは反対。金かけてもそんなにみない。街に魅力がないと無理
32	特にありません
33	特になし
34	わからない
35	関心がない
36	わからない
37	関心無し

Q24.「今後の地域公共交通のあり方」に関する自由意見（世帯）

※（意見がある方）

（内容が複数ある場合は、各項目で再掲している）

自由意見(1)

1 〈コミュニティバス、新規公共交通システム〉	
1	高齢化社会に伴って、バス、タクシーは益々大事な足となっていくと思います。できれば他市のように、小さなコミュニティバスがあればよいと思います。今寺あたりでは市役所に行くのに、バスと電車を乗り継ぎが必要で、高齢者にはきついです
2	市内を巡回するバスを作してほしい
3	タクシーのように小回りがきくバスがほしい。今は車があるが、4～5年後はバス停まで行くのも大変になる
4	コミュニティバスがあったらよいと思う
5	近隣の駅前にスーパーがないため、買い物は車を利用していますが、コミュニティバスの様なものがあると良いと思います。高齢になり、いずれば免許、車を手放した時も住みやすい環境であることを願います
6	小回りの利く車体で、運行コースの立て直しをしてほしい。それでかなり利用が促進されると思う。駅～北小曾木、駅～上成木間、駅～岩井堂間（トンネル回り・小曾木回り）、各ルートでピストン運転をする
7	ネーミングライツの制度を導入してみてもよいのではないか。自動運転での運行
8	市営の定期循環バスが必要
9	福祉バス、ミニバス等の整備。河辺下在住のため、もっと高齢になった時の交通手段としてミニバスなどがあれば良いと思う
10	コミュニティバス等大型バスでなくてもよいのではないだろうか
11	今後年齢を重ねると公共交通機関を利用することになって来るかと思います。他市のような小さなバスを走らせるとかの工夫も必要なのではないかと考えます
12	市民バスのような市民に特化したものに変えてもよいのではと思う
13	まだ自力で動けるため（車や徒歩）バスの本数に関して不便ではあるが対応可能である。今後車の免許証を返納したり動けなくなった場合、バス以外の交通手段が重要となる
14	コミュニティバスを走らせてほしい。市内にはバスが立ち寄らない所やバス停から「〇〇分」という所が多いように思います。また家にこもる人が少しでも外に出て人との触れ合いが多くなるようバスの役割が果たすものは大きいと思う。車が必須の生活ではあるが、バスを住民が多く利用する意識も必要。またバスを利用して荷物の移動に活用するのもありかと考えます。青梅～小平・花小金井を行く都バス・JR駅に立ち寄るコースも考えてもらいたい（駅から遠いバス駅もある）
15	現状の大型バスはやめて羽村市や福生市のような小型バスの利用は考えられませんか。赤字だとは聞いていますが利用市民は感謝されています。自宅からJR駅までの距離のある高齢者には小回りの利く市内ルートバスの必要を考えます。よろしく願いいたします
16	現在の大型バスでなく、小型のバス（羽村市のような）で運行し、大通りだけでなく住宅街の道路にもバス停を作るともっと利用客が増えると思う。バス停まで坂道とかあると歩くのが苦痛なので苦痛なので利用しなくなると思う。小さな子供も乗ると思います
17	青梅にはなんで地域のバス（くるりんバスやハチバスなど）がないのかなと思っています。青梅線は本数が多いのに駅に行くバスがない。始発が9時だとタクシーに頼るしかありません
18	他の市町村と同様、コミュニティバスを運行して小回りをしてほしい（バス小型化）
19	高齢者ドライバーの事故多発の免許返納が難しい理由が、簡単には買い物・病院にいけないこともあると思います。これから高齢化社会に向けて、高齢者の方々が車に頼らずとも便利に気軽に外出できる助けになっていかなければならないと思います。家の側までがきつと理想だと思います。大型バスではなく、普通車バスタクシーが主流になっていくのかと思います
20	コミュニティバスの運行
21	今は自分で車両を運転できるが、免許返納した場合利用すると思うが、すぐそこまで言う時のコミュニティバスが必要と思われる。また2023年以降青梅市東部地区の物流設備が整うと居住者が増えることを想定した場合の路線の見直しは必要と思われる
22	今後車の免許返却による病院などにどこからでも回る巡回バスの導入と、バスの本数増を希望する。市内巡回バス（運転手はシルバー人材利用）
23	病院経由のコミュニティバスがあると通院したいときにタクシーを使用しなくてもよくなる。バスは河辺駅までしかないため不便に思う
24	効率的なコミュニティバスを採用して、地域住民の移動手段を確保する（特に高齢者対応）
25	大型・中型小型の車でよい。降りる場所を細かく指定できるとよい。利用しやすいをお願いします
26	他市が行っているコミュニティバス等導入すべきです
27	路線バスを廃止することをやめてもらいたい。路線バスを廃止するなら地域コミュニティバスを運行させてもらいたい（陸の孤島になるた
28	他市のように市内だけのバスがあるといい
29	青梅市が運営するコミュニティバスを要望。隣接の市町村で運行している所があり、大変便利であると答えた
30	コミュニティバス「はむらん」のようなシステムは青梅市としては考えられないか
31	今のままで赤字補助をしてバスを運行するよりはタクシーに補助をして、バス以外の交通手段がない地域に居住されている人々には、バス並みの運賃で利用できる方法ができたと思います
32	青梅駅でバスを待っている人が、並んで待っていないので並んで待つ方法を検討してほしい。乗客が少ない時間帯は小型バスの導入はどうか。万年橋から青梅行きのバスで吉野からくるバスと長洲からくるバスとの時間が近い時があるのでもったいないと思う時がある。青梅駅から万年橋までの区間も同様。青梅図書館前の踏切は電車が通らないのにポイント切り替えのためか閉まってしまうことがあるので完全してもらいたい。これから住民の年齢層が上がり、車を手放す人が増えていくと思う。コミュニティバスを検討してほしい
33	必要な所にバス運行がない。高齢者が多くなり買い物難民が多くなる。本当に必要な場所に施行してほしい。市民の声を聴くことが大事、市民を守ることを（市役所）コミュニティバスがあると助かると思う。市民の高齢化が進み、孤立・孤独を防げるような工夫をしてほしい

自由意見(2)

1 (コミュニティバス、新規公共交通システム)続き	
34	バスを利用して通勤・通学をしている方の対策を講じないと過疎化が進んでしまう。マイカーを利用している高齢者世帯も免許証を返納した場合、日常生活に支障をきたすので、対策を講じる必要がある。一部のスーパー・医院など送迎バスを出しているが、最寄り駅・市役所・病院など公共施設へ行く手段も必要であります
35	バスの小型化、コミュニティバスの導入
36	バスの運行本数も少なく不便な所に住んでいます。少ないので利用しない（できない）悪循環です。ご年配の方も多く皆さん困っております。小型バス（コミュニティバス）の導入などはないのかなと常々思っています
37	だんだんと高齢化になるにつれ、青梅線・バスなどの利用が減ってくると思います。市のコミュニティバスやコミュニティタクシーを増やしていただけたらと思いますが、市の方で少しでも補助がいただけたらと思います。よろしくお願いいたします
38	ワンボックスカーにオンデマンド方式を取り入れていくのはいかがでしょうか。経路と行先をもっと分かり易く表示してほしい。バス停にバスロケーションシステムを導入してほしい
39	市営コミュニティバスの新設、羽村・福生他の市にはあり。高齢者の通院・買い物に最重要課題と考える
40	大変だと思いますが、この様にそれぞれの地域での要望を募ったらよいと思います。昼間はコミュニティバスに変えるとか
41	都営バス（大型車）減便し、コミュニティバスの運行を増便してもらいたい
42	路線バスにこだわることはないと思います。サポーター制度の旗振り役が必要だと思います。なんでも任せてしまう体制にも問題があると考えます
43	近くにバス停がない、バスを通してもらいたい。路線バスではなく、小さいバスや車に対応したらいいと思う。他の市町村で100円などで利用できるバス等、坂や高齢者などがいる地域など今後高齢社会になるので、高齢者の方が使いやすい住みやすい地域を目指しては
44	大きいバスはあまり必要と思いません。くるりんバスを増やして
45	私を含めて高齢化してくる中で、生活必需品の買い出し、病院など大型バスでなくても小型・タクシーなど予約制でも人数集めて走ってほしい。あえてバスの運行に合わせての行動（外出）も考えてもよいと思う
46	コミュニティバスの運行をお願いします
47	コミュニティバスが利用できると助かります
48	私自身免許返納を考えていますが、現在のバスの本数の少なさと行先の少なさではとても無理です。ぜひコミュニティバスの運行を願っています
49	現路線バスでは青梅エリア一帯をカバーできていないので、他市町村同様にコミュニティバスの導入を検討などの利用者に対する利便性と利用のハードルを下げるといったことが今後必要である
50	コミュニティバスを考えてほしい
51	羽村市の様に小型の循環バスでよいのでどこまで乗っても100円が利用しやすい。赤字だからと言って運賃を上げるのではなく、利用しやすい金額（100円）で小型にしてゆく。利用する人が増えるのでは。羽村市では人が多く乗車しているのを見かけます
52	羽村市など他市にあるあるコミュニティバスも良いかな
53	他の市には循環バスがあると思います。駅とかスーパーに手軽にいけるといいですね
54	通院で武蔵境のムーバスをよく利用します。一定料金だしかわいいバスで利用するのが楽しいです。青梅のバスは昔ながらで利用する気が起きません
55	コミュニティバスお願いします
56	青梅市が親となり民間公共交通会社と協定を結び経営するような方策はないか
57	河辺1丁目～千ヶ瀬1丁目（千ヶ瀬河辺下辺り）は現在路線バスは走っていませんが、昔からの住民の方、又はマンションも多くたち、高齢者の方も多く、市内循環・路線バスがあるとよいと思います
58	高齢になれば必要になるので公共負担を少しでも減らして維持してほしい。地方で良いモデルケースがあれば検討してみてもよいのではないか
59	路線バスを廃止してしまうと、困る人がいると思うので、それに代わる市内循環バスみたいなのがあればいいなと思います
60	羽村市みたいに小さいバス導入（コミュニティの活用）
61	雪の日に使いたいのが運休になるので困る。定額で乗り降りできる市内縦貫バスが欲しい（もっと利用する）
62	はむらんみたいな小さくて運賃が安いバスがあるといい
63	スーパーとかでバスを出しているの、それと連携して何か走らせる方法を考える。高齢化するとバスやタクシーは必要となるので、乗り合いバスの様に予約ができるものを市と連携して走らせる。単なる赤字補充だけでは駄目であると思う
64	例えば青梅市内だけで利用できるマイクロバス等で維持費を抑えて本数を増やす等運転ができなくなる市民が増えると思うので、新しいやり方を考える時期なのではないかと思う
65	歩いて行ける範囲に施設が皆無なため、自家用車を使用できなくなった時の移動手段については切実な懸念がある。何らかの形での救済措置を見出してほしい（共に考えられるとよい）
66	近隣のタウンバスを運行している地域等を参考に
67	これから先は高齢化が加速していき、現状免許返納の方も増える地域ですので、バス停まででいくのも厳しくなると思われます。大型バスより小型の車両で住宅内等まで来てくれば利用者は助かると思います
68	羽村のように循環バス（羽村ランバス）の運行を希望
69	大型スーパーと連携し、専用バスを出せば高齢者が使いやすくなる
70	近くにスーパーなどないので、家族は歩いて駅まで行く。天気の悪い日など、学校へ行くために駅へ行くのも大変。青梅駅⇄宮ノ平へのバスがあると大変助かります。お年寄りも多いです
71	バス停じゃない降車したい場所で止めてくれるサービスは終了したんですか、こどもやシニアには必要だと思います
72	バスに関しては利用人数が多くないので、羽村市の「はむらん」のような小さなバスに変更してはいかがでしょうか。ぜひご検討ください
73	青梅市でのコミュニティバスの運行が不可欠だと思います
74	路線バスの本数が少なくなり、利用者が減少している状況なので、コミュニティバスを新しくは知らせたら良いのでは

自由意見(3)

1 (コミュニティバス、新規公共交通システム)続き	
75	乗合予約バス。出発地と目的地・人数・到着時間を予約、目的地が同じで、到着時間近似している予約者を相乗りしてもらい目的地まで運行する
76	羽村市のコミュニティバス「はむらん」の様なシステムを作る
77	コミュニティバス（定額）、乗り合いタクシー等。コンパクト化、気軽に乗れる価格
78	小型の市バス（例：羽村のはむらん）の運行の充実
79	免許返納が増えいくと、公共交通が必要となる。地域コミュニティバスのような運行経路を考えたものが必要
80	人件費のかからない無人の自動運転車両の導入。乗り合いできるようなアプリの開発（この時間ならここに移動するから病院まで乗せてく、みたいな感じ）
81	コミュニティバスでモバイルなどを活用していつでもどこでも利用できればいい
82	路線バス小型化すべき。コミュニティバスで本数を増やす
83	公共負担はある程度必要だが、大きすぎるバスから小回りが利くようにとか経費など改善が必要。市内バスは小型化、乗り合いタクシーなどの運行があればよいと思います（高齢化が進むので）
84	利用者数で路線の見直し、少ない所廃止にするのではなく、小型バスで品循環バスを運行し、代用できないでしょうか
85	近隣市で運行されている低額で乗れるバスの運行。駅から遠方に住む地域の高齢者等の交通について考えていただきたい
86	車が無いと市役所など行けないため、市内を走行するコミュニティバスをは知らせてほしい
87	都営バスで青梅車庫から東大和や花小金井まで行けたり、西武バスで東青梅から反応や、河辺駅から入間など、遠くまで電車で行くのが大変な所を走ってもえてありがたいです。そういう路線は残していただき、市内の中には奥の方からJRの駅に出られる路線を考えてコミュニティバスをは知らせていただき、免許返納した後も元気なうちは自分で買い物に行けるような交通機関があったらよいと思います
88	公共交通空白地域をなくす。「はむらん」のようなコミバスを走らせる。東京都23区、26市の中でコミバスをは知らせていないのは青梅市だけと聞きます。青梅市は地理的にもコミバスの必要が大変高い方です。大型の公共バスが通りにくい地域にはコミバスが絶対必要なのに、青梅市はなぜは知らせないのでしょうか。地域の人が長い間要望しているのに、なぜ走らせないのでしょうか。市政に怒りを感じます
89	近隣を走る都バスを見ると、利用客がとても少ない印象がある。赤字補助で現在の路線を維持するよりも、利用者の動向（利用頻度、行先等）を調査して、バスの小型化と併せてニーズに合った交通手段確保が望ましく、具体的には市内循環バス等を新設して対応するのよいと思います
90	コミュニティバスに変更して車両をコンパクトにしてはどうか。利用する時間帯を擇って運転する。今現在は車で移動ができていますが、運転が困難になった時を考えると、コンパクトな大きさで時間を集中した時刻にして地域によって変えていくものにしたらとても便利に活用できると思う
91	羽村のようにコミュニティバスがこまめに動いているととてもありがたいです。大切なことは必要な時に遅滞なく利用できる手段があり、それが皆さんの少しずつの負担で成り立ち続けられること。自分だけが良ければ自家用車だけの世界になり、お年寄りが増々取り残されてしまう
92	小回りの利く小型バスを運行させて、老人を対象に据えて路線を細やかにする。そのための公共負担を増大させる
93	免許返納後が大変です。バスはコンパクトな車両で、住宅地・駅・スーパー等商業施設を結ぶ循環バスを地域ごとに運行出来たらよい。今井1丁目とはとても交通の便が悪く車のない方は大変です。免許返納後の自転車利用者が増えて危険を感じます
94	公共負担が多いのは分かるが、高齢者が増えているので青梅市を巡る走らせてくれればうれしい
95	一部で実施されているバス停以外での乗降できたらと思うことがあります。また、病院、クリニックの送迎車との連携はどうですか
96	先程も書きましたが、路線バスの赤字を廃止するとしたら、白タク行為の解禁こそが、人口減少社会の交通網になると私は考えます
97	コミュニティバスを運行して欲しい。小さなバスでいいから運行して欲しい。青梅特快や快速を増やして欲しい。青梅駅に行きやすくして欲しい。青梅駅前開発するのに青梅行きの本数が減るのは困る
98	今は、車の運転が出来るので移動手段があるが、運転ができなくなった時にバスなどの公共の交通機関が必要となりうるので、未来のために考えると、コミュニティバスや、それに近い形のことを考えてほしいです。コロナによって、使用者が減ってしまいましたが、それに代わる新たな取り組みをみんなで話し合う機会を作ってくださいありがとうございました。みんなの街がより良い暮らしに繋がるように一人ひとりが考えて行動していかないといけないと思いました。青梅はこんなに素敵な街並みなんだと知ってもらう為に、公共機関は大事です。岩蔵温泉街のように、バスが通らなくなってしまって、寂れてしまうようなことがあってはならないと思います。飯能から青梅に繋がる事によって、相乗効果が生み出せる事も一つ大事なのではないかな
99	羽村市のようにコミュニティバスは運営できないのか。東青梅駅の棒線化は、青梅駅までの複線化が期待されていただけに、失望してしまった。河辺駅始発終着が多くなることが予想されるが、青梅市民は河辺駅以西にも沢山いる。東青梅駅の前後に踏切があるためやむを得ないということだが、ドアカットなどで対応はできないのだろうか。単線化された場合、朝夕のラッシュ時はホームにおける混乱も生じる。これ以上、河辺駅以西の地域を過疎化させる原因を作らせない
100	住民、観光客を対象とした個人、小グループ移動者への公共交通機関の対応。個別分散した目的地への公共交通への対応。上記課題解決のため、ボランティアによる白タク、自動運転車の導入、パーソナルモビリティに向けた道路インフラの整備など
101	近隣の羽村市等で行っている自治体によるきめ細やかな運営も必要と考えます
102	タクシー会社、バス会社等と連携での小型車輛導入案。無線配車等
103	生活に必須な通学などは低額で、それ以外は距離に応じた料金体系でいつでも予約利用できるサービスを検討すべき

自由意見(4)

1 〈コミュニティバス、新規公共交通システム〉続き	
104	将来的に羽村市のようなコミュニティバスを走らせることを検討してほしい。そして高齢者がスーパーに買い物に行けるようにルートや時刻表を考えてほしい。日用品などはインターネット通販で購入していますが、毎日の食事に使う生鮮食材は鮮度の良いものを購入することが難しいです
105	地域の公共交通の役割として、赤字路線は廃止というわけにはいかないと思っています。とはいえ税金による補填にも限界があるので、特にバスについては各路線の時間毎の利用頻度や乗車率を精査して小型バスに切り替えたり、主にお年寄り向けにオンデマンドの運行サービスを検討してみてもいいのではないでしょうか
106	市で羽村までは行かなくて良いが乗合のハイエースなどの運行を必ずやって欲しい。1時間に一本で良いから小型乗合を作ってください
107	高齢化に、向けて、利用しやすい環境を、整えてほしい。例えば、高齢者は、割安で、利用できたり、買い物に、使えるコミュニティバスを作ったり
108	電車は別路線への乗換は無料で距離で運賃が決まります。バスはターミナルなどで乗換える際に初乗の運賃が掛かり割高感があります。遠距離移動の際、遠回りになるが電車の方が安くなる場合があります。また、ローカル地域のコミュニティバスの本数を増やし地域限定の定期券により一定料金で乗り放題にすれば気兼ねなく利用出来ると思います。私の住んでいる場所は駅に近く公共施設や買い物など徒歩範囲ですが少し離れると自転車や自動車等を利用される方々が多く見られます。5年前に住んでいた所は同じ市内ですがバスも無く近くの駅も15分掛かり大変公共交通が利用し難い場合でした。例えばですが電車の到着時刻に合わせコミュニティバスを運行し2キロ圏内の循環を行えば便利になると思います
2 〈路線バス〉	
1	総合病院まで行くのにバスがなく、タクシーを利用するしかない。河辺町7丁目から河辺駅方面の路線バスを走らせてください
2	高齢者にはぜひ必要です。本数が減っても生活を維持できるほどの本数は維持してほしい
3	バスの小型化を考えるべき。マイクロバス
4	路線バスなど、特に3月から12月に吉野行きバスの利用が多くなるので、助かっている。河辺駅北口行き、花小金井行きなど助かっている。今後も利用させてもらいたい
5	バスは、通勤・通学時間帯以外は小型バスに変更
6	路線バスへの赤字補助の使途公開
7	ある程度の公共負担はやむを得ないと思います
8	もっと、市民が公共交通機関を利用しやすくなる工夫をしてほしい。JR青梅線はよいが、バスは本数が少なく運賃が高く利用しにくい。そのため、バスではなく、電車を利用することが増える
9	バスは利用が少ないが、廃線にすれば益々過疎化する。魅力のない街に、地価も高く人が入ってこない。このアンケートは用紙が厚くてお金がかかっていそう
10	免許証を自主返納した時にバスを利用したいので、段差をなくしてほしい
11	路線バスの廃止は高齢になってきたので困ります
12	バスについて、当市だけでなく行政区である「東京都」に積極的に支援を求めるべきである
13	小型バスを増やすこと、路線バスがある程度増えれば利用する人も増える
14	路線バスを利用してもっと青梅市内を散策したいと思っています。バスの路線図とともに、〇駅から〇行のバスに乗るとどこへ行けるなど、ポスターやWEBサイトなどで紹介してほしい
15	鉄道の青梅奥多摩が停まった場合、バスは欠かせないものと実感します。最寄りの駅より遠い場合バスが欠かせないと思うので、ぜひ増便をお願いします
16	バスはある程度元気な人でないと利用しない、できない。客が全員座ってからバスを出発させてほしい。老人を待てない運転手。営業スマイルでもいいから笑顔を心がけるべし。「また乗りたい」と思ってもらえるように
17	青梅街道沿いに住んでいる人はJR青梅線の本数が増えれば便利ですが、吉野街道沿いは今まで通りバスがないと不便になる。JRよりバス利用のほうが便利と思う
18	青梅線のダイヤが減ってきたので路線バスを増便してもらえるとありがたい
19	今は車で移動が多く、あまり必要性を感じないが、いずれ免許は返納となるだろうから、その時にバスの利便性が現状と同じ状態を望みます
20	私は大きな荷物（スーツケース）をいつも引いて仕事に向かいます（こういう方多いです）バスの乗る際席の足元にも横にもうまく置くことができず、皆さんに迷惑になっていけないとバスに乗るのを控えます。荷物が多いから大きいからこそ乗りたいのですが乗ることをやめてしまう。席の配置や設計からの問題となってしまいますが、フレキシブルなバスを内装デザインからの見直しが必要だと思います
21	現在より減便にならないように希望します
22	費用の回収ができず継続が難しいのはとても分かりますが、ないと生活できない者もいます。一部の人のだけに負担を強いるのではなく、利用者全員に平等に負担してもらえば1人あたりの負担は少なく済むのでご検討ください
23	現時点では車中心の生活だが、将来車が運転できなくなった時、買い物や通院の手段がないと困るので、何とかバスが廃線にならないで欲しいと思っている
24	車両の小型化
25	悪天候や車を運転できない状況の時も動いてくれていて助かります
26	バスが大きすぎるので中型くらいのほうがよさそうに思います
27	車いす利用のため自家用車（家族運転）が多く、バスは今のところ使っていないのでわからない。今後は使うこととなるかもしれない
28	バスは小型車両の導入などを検討してほしい（コストダウン）ほかの民間企業の参入も検討してほしい
29	今後高齢化社会がさらに進む中で、公共交通の必要性は増大していくと思います。無人運転のバス車両の導入など低コスト化による運行をしっかりと考えていくべきです

自由意見(5)

2	〈路線バス〉続き
30	電車・バスの増便を希望します
31	バスには乗らないので要望もありませんが、バスを見ているとほとんど乗っていないバスが多いのでちょっと無駄な気がします
32	乗車人数の少ない路線は小型バスにする
33	バスの本数を1時間に2本程度は維持してほしい
34	バスの小型化
35	本数が少ないので利用するには不便です
36	バスは利用していませんが歩いている時にバス停に屋根があればよいのではと感じた場所がありました。今後は高齢の方が増える傾向であると思いますので、小型バスを増やし高齢の方の足になるのではないかと思います
37	朝晩通勤通学の時間以外では、マイクロ等コミュニティバスでもよいのではないかと思います
38	本数の増便、何行きかは不明ですが（入間行き）今寺一本横バス停の便を増やしてほしい、河辺行きをお願いします
39	赤字になっている路線バスですが、乗降客が少ない路線でも大型バスを走らせているので、「はむらん」バスのように都営バスに小型バスを取り入れてもらって運行したほうが赤字の削減になるのでは。大型バスのスカスカはもったいないです
40	バスを小さなものにすることはどうか
41	特に路線バスは走行しているだけで安心感があります。バス停に路線図があったらもっと親近感が出てくると思います
42	朝夕の通勤時間はバス運行、昼間バスに乗る人が少ないので、今より本数削減、タクシー補助を出し、老人・障害者等に病院・スーパー等へ乗合タクシー制度（前日までに予約受付運行路時間確定する）
43	公共施設（駅・病院・役所等）や各種施設（各所・店舗等）を結ぶ路線（バス）を含めて集客力を高める
44	大型バスが本当に必要なのですか。隣の入間市はもっと小型のバスで市内を回っています。世界的にカーボンニュートラルを行っている中で、お客様数名のためにあのような大型バスは不要と思います。青梅⇄入間をむすぶ西武バスだけでなく、小作⇄河辺の西東京バスも利用者数と年間の売り上げを考えた運行を望みます（字が小さくかかっています）
45	バスはこれ以上減便しないでほしい。最低1時間に2本は出してほしい。免許証を返納した後買い物には路線バスに頼らざるを得ない、大型商業施設に行く路線を充実させてほしい。例えば、カインズ・シマムラ・ノジマ等JR駅経由で乗り換えて行くのは不便
46	列車については問題ないと思うが、バスに関しては日中の乗客が少ない空車をよく見かける。ルートの見直し、運賃の増額だけではなくあらゆる視点で考えるべきと感じる
47	羽村市のように市バスは難しいので、路線バスの小型化等工夫してはどうか。公園にマルシェやお店出店。公費負担軽減のために、公共施設にコンビニなどお金を生み出していく工夫
48	千ヶ瀬1丁目の河辺下通りにバスを走らせてほしいです。よろしく願いいたします
49	駅周辺・構内・トイレ等美化し明るい雰囲気にする、バス停の時刻表等も見づらいです
50	利用者の少ない路線は本数を減らすとともに、バスを中型や小型へ変更。駅から遠い地域ほど大通り以外も運行ルートに加えてほしい
51	全く公共交通がなくなってしまうのは困ります。子供たちが駅まで行く手段がなくなってしまう（特に天気の良い日）路線バスは本数が少なすぎて通学する時間と合わない
52	バスを小型化して経費削減、本数は減らしてほしくない。駅発車時バスが同時に出発することなく本数が多いようにずらしてほしい。タクシーはあまり利用していないが高齢者が利用しやすいことが大切だと思う
53	バスを待っている間、いすを置いてほしい。立って待っているお年寄りなどつらそうなので
54	昨年祖母が亡くなるまで、バスやタクシーを利用しておりましたが、バス停の時刻表の所にどのコース（どこで止まるか）が分かり易く書いてあったら便利だなと思いました。今後自分も利用することがあると思いますので。大変だとは思いますがよろしく願いいたします
55	全自動のバス導入を願います
56	過去の青梅市出身の大物政治家の実家とのつながりによるバス会社への配慮はもうやめるべきでは
57	鉄道やバスは自家用車で外出するのと違い、渋滞がないのでやはり欠かせないと思います。運行本数をこれ以上減らされると利用者がいなくなり赤字になると思います
58	現在青梅どまりが多く、青梅で奥多摩方面の電車の待ち時間が長くて困ります。これが原因で電車乗りたくないという知人もいます。案ですが、御嶽どまりを増やして奥多摩行きを減らす、御嶽交換としてはどうでしょうか。あと奥多摩行き最終を1：30までにしていただけないでしょうか、タクシーが行列で大変です。友達と飲んだりしたときなどに深夜バスがあるとすごく助かります
59	赤字運営だとは知りませんでした。今は車があるので利用はあまりしませんが、車がなくなったとき、今現在車を持っていない方のために維持できる方法があればと思います
60	バスがないと車に頼るしかない。バスを小型化する→本数を多く
61	1時間内に2本は運行してほしい
62	停留所の表示や経路表示は遠くから見てわかるように大きい文字が看板などで工夫。待っている際ルーフがあり椅子がセットになっていると良いのではないかと。是非今後の利便性を検討願いたい。「バスやタクシーがあつて本当に助かった」、「通勤や通学に困難」という必要度のリサーチも必要であると思います。多くの人利用するからその路線だけが運行量が多いというのいがかがなと思われまふ。本当に足がないと困る地域に住む方々のために考慮は必要。特に青梅線日向和田まではバスはありません。駅まで行けない高齢者や障害者も多く居住しています
63	利用人数の少ない地域・時間帯は、バスを小型化したら経費削減になるのではと思います。路線バス＝あのサイズが必要というルールがあるなら改定すればいいのでは
64	地域によっては公共交通は欠かせません。特に成木地区には絶対必要です。絶対廃止しないでください
65	路線バスの本数が少ない。路線バスの維持、継続をよろしく願いいたします
66	路線バスがなくなったら困るので継続してください

自由意見(6)

2 〈路線バス〉続き	
67	コロナ禍になる前はいろいろな所へ行くために、電車もバスも利用していました。また通院のためにも利用していました。特にひざや腰を痛めたときに一人で通院するためにバスも利用すべく、河辺で電車を降りたということもありました。これから夫が免許を返したらますますバスの必要性が多くなります。乗降しやすい（外出して老化予防していくために）気軽に利用できる乗り物を残してほしいと思います。青梅にあるバス路線は良い観光資源だと思います。宣伝方法によってはウォーキングだけでなくウォーキングにやや自信がない人が出かけるのにバスは便利だと思うので高齢化社会に適しているのではないのでしょうか
68	現在70歳以上の都民には都内を無料で利用できるバス券が支給されているが、無料ではなく安価でも良いのではないですか
69	コロナのことを考えると、バスよりタクシーのほうが安全だと思う。本数を減らしたら公共負担の対策にもなり、自然とタクシーの利用が増え、安全も守れるのかな。ただお年寄りや学生のことを考えると、タクシーは高いのも気がかりでシニア割・学割があったらよい。でもバスの運転手さんの仕事なくなるのも困ってしまう。難しい問題ですね。いつも市民のためのお仕事ありがとうございます
70	可能なかわかりませんが、バス路線の見直し（家の近くにバスが通っていないので利用していない）、バスの小型化。タクシーは24時間利用できるとありがたい
71	あきる野市や羽村市のように、バスを小さくするのはどうか。減便するのではなく、利用者の立場に立って、本数を考えていただきたい。本数が少ないと利用しなくなるのは仕方ない。本当はもっと、バスに乗りたい。バス、タクシー、電車を応援しています
72	バス利用で、商店街で利用できるポイントがたまる、コーヒー1杯無料券など、楽しんで利用できるサービスがあると良い。在宅ワークなどどこでも仕事ができる環境があれば、不便でも人は来ます。SNSでもアピールできると思います。自然の中で仕事をする事ができることや、静かで快適な場所づくりなど、あわせて取り組んでいってはどうかと感じます
73	青梅市の面積は広く、車を所有していない人もいる。青梅市を活性化していくために、公共負担を継続して路線バスを維持していくべきと思う
74	現在公共交通利用は時々ですが、今後増えると思いますので、鉄道・路線バスともに現在の運行本数は必要
75	路線バスはなくてはならないです。無くさないでください、お願いします
76	駅から遠い地域ではバスはなくてはならないもの、車両を小さくしてでも走らせたいものと思う
77	“路線バス赤字”をもっとたくさんの市民に知ってもらうべき。乗り合いタクシーや高齢の人に運転手をしてもらい料金を下げるなど、タクシーをもっと利用しやすくすべき
78	ほとんど客がいらない所に大きなバスはいらない。CO2ばらまき運行経路本数もっと少なくするべきだ。必要な人にタクシーの運賃割引券など対応してバス代金の3倍くらいで使えるようにすべきだ
79	路線によっては大型バスは必要ないのでは。小型の路線バスでよいと思います。日常的に利用される人のために、無料の利用バス（回数 は決めて）を毎年本人が申請して配るのはどうでしょうか
80	車移動が多く、バス利用が少ないのでお役に立てなくて申し訳ないです。訪問ヘルパーをしていて思うのですが、利用者さんはスーパーなどで自分の目で見て、考えたりしながら買い物したいみたいです。認知症予防にもなりますので、ぜひ路線バスの本数を増やしてあげてほしいと思います
81	アンケートが長くわかりにくい。これだと若い世代はアンケートにすら興味を持たないと思います。JR奥多摩行きなどは特に観光客のマナーの悪さ（1人で座席の占有、通路の中央に荷物を置く、アルコールの空き缶が転がっているなど）が目立ち、なおさら利用したくなくなりました。そういったところもコロナだけでなく利用者離れにつながっているのではないのでしょうか。シルバーパスも祖母が利用していましたが、安すぎると思います。もう少し値上げしても良いのではないかと思います
82	金がないなら東京都へ強く要望してください。西多摩で要望出したらどうですか
83	今後高齢になると必ず使用するので、青梅市内は安く回れると助かります
84	バスを現在のサイズより小さいサイズに変更する、ポイント付与されるシステム
85	大型バスからマイクロバスへ切り替えていく。乗降客（利用客）の調査を実施して検討を。交通困難地域については事前に利用者懇談会を開催して利用者の声を広く聞いてほしい。駅を起点として、市役所・郵便局・青梅総合病院・スポーツ施設・警察署・文化施設・大型スーパー等。循環バスの経路を考えてほしい。青梅市民斎場へのバスの復活をしてほしい
86	路線バスの赤字への補助額に驚きました。利用している方も多いと思うので必要だと思いますが、公共負担額の削減を市民も考えないといけないなと思いました。例えば停留所を見直すことや客の数（運転手への聞き取り）、客の数が少ない路線を利用する人への聞き取り等で得たデータに基づき、必要な人に路線バスが運行されていたら最適だと思います。調査等ですでに実施されていたら申し訳ありません
87	車の運転ができない人のために路線バスは廃止にならないようしてほしい。JR青梅線の増発をして便利になれば若い人も住む人が増えるのではないかと思います。特にこれから高齢者が増えると思うので、バスは絶対必要だと思う
88	生活していくための重要なインフラなので、住民サービスの一つとして支える必要がある。税金による公共負担は当然のこと
89	将来的に車の運転ができなくなった時のことを考えると公共の交通機関は維持してほしいと思います
90	本数が少なすぎる
91	河辺下通りにバス停を設置してほしい。市内全域の利用を検討しつつ、観光などの資源から市街の人々の利用も公共の役割（例箱根など）して下さい
92	駅や公共施設・スーパー等へ行けるように路線バス・タクシーは必要なものだと思います
93	成木7丁目はAM11：20頃で、PMは上成木に来るバスはない。せめて帰りのバスが1本でもあればと思う。タクシーを使うと結構かかると聞いている
94	鉄道のみに頼らず、路線バスを利用することで目的地まで行くことができるように他との連携可能なシステムの実現

自由意見(7)

2 〈路線バス〉続き	
95	JRにおいては、奥多摩・古里・御岳駅でホームにて土産の販売、特に行楽シーズン。路線バスは時間帯で利用者の少ない時間は小さいバスにするとか。休日は新緑・モミジの時期には、青梅駅 → 吉野梅郷 → 御岳 → 沢井 → 軍畑 → 成木 → 小曾木 → 根ヶ布 → 青梅駅とか青梅一周
96	バスの運行予定（時刻表）と電車の時刻表がまるでリンクしていない。そのためバスに乗って駅に行こうと思わないし、電車で駅についてバスに乗って自宅に戻ることができない。その様なバスならなくても同じだと思う。補助金目当てのバス会社だと思っている。羽村市で運行している「はむらん」みたいなバスにしたら良いと思います
97	以前、バスもない所に住んでいました。もちろん駅にも遠く車が無かったら生活できませんでした。今便利な所に引っ越し、体に負担のない生活がこれ程ありがたいかを痛感しています。バスが空車で走っているのをよく見かけます。マイクロバスくらいの大きさに環境にやさしいエネルギーを使ったバスを走らせるのは難しいでしょうか。このようなアンケートをしてくださったことに感謝します
98	普段バスを利用することがないのでHP等で路線図経路などが分かり易く示されているとよい。停留所がどこにあるのか、目的地までどのくらいでつくのか知らないため周知してもらいたい
99	普段は利用しないがないと困る。何とか存続してほしい
100	バスを小型にした方がよいと思います
101	便が少ないと利用を渋る→不便→便が少ないの負のスパイラルにならないようにしてほしいと思います。高齢者でも子供でもやはりバスに頑張ってもらいたいです。普段は車や自転車ですが、バスに乗りたくなることがあります。現在のバス路線図見るのも楽しいくらいです。パート先・雪の時はバス頼みですし、ぜひ守ってほしいです
102	最低限、現在の路線と本数は維持してほしい
103	平日も青梅方面に向かうバスもあると便利だと思います。電車が停まってしまった時に「吉野」のバス停まで歩いていくのは大変なので、青梅市の御岳、駅前くらいまでのバスでもらえるとありがたいです。高齢化で車の運転が危ない方がいるのですが、公共交通が不便でいつまでも免許を返納しない人を見かけます。公共交通がもう少し便利だといいのと思うことがあるので、何か対策していただけたらと思います
104	便利であればみんなが利用したいと思うはず。ぜひたくを言えばバスでの直行便で八王子や立川に行けたらと
105	天気の悪い時等、子供はバスを利用しているので、市民の足として本数を減便しても維持して頂けると助かります
106	今は車の運転ができるので不便は感じていませんが、将来的に、また今現在も公共のバスや電車を利用している人はたくさんいます。特に路線バスはなくなってしまうと外出できなくなってしまうので何としても続けていただきたいです
107	利用者が少ない時間帯はバスを小型で低燃費使用へ。削減できる費用を削減し、必要な所で活用する
108	バス代を値上げをしてでも成木のほうは続けてもらいたい。家によく行くのでお願いします
109	必要な人にはタクシー券を税金で補助して安価で購入できるようにし、必要な人だけのために使用する、バスは通勤時間帯だけの運行
110	70歳を過ぎ車をやめ、免許更新もしませんでした。一人暮らしで公共交通だけが頼りの今、ぜひバス路線の継続と充実をお願いします
111	インターネットでバス停ごとの時刻表がみたい
112	時間帯によってバスの大きさに変化をつける。いつも大型のバスを運行するのではなく、マイクロバスやワンボックスカーなどの運行など変化をつける
113	今まであったバス停がなくなりとても不便を感じています。公共負担で年間1億2千万円使われているのに、私たちのところにはバスが来ないのは納得できません
114	路線バスについては、山間部の多い青梅には必要である。交通弱者に配慮した施策を継続すべきである。都市部にすむ都民との格差が無いよう、さらに東京都に働きかける。通院などにタクシーを利用した額に対して、直接的に補助金を出す（所得制限や利用限度額は必要と思うが）
115	ルートの改善。バスのルートがおかしい。駅になぜターミナルがある所となない所があるの。駅が暗い、治安が悪そう。電車を2線にするべき。バスと駅を上手に動かすことにより、活性化することが可能だと思う。駅の近くに病院や市のコミュニティーを作るべき。子育てのしやすい青梅の顔にするべき
116	新奥多摩街道にバス停を作してほしい。羽村のように小さいバスを利用すればよいと思う
117	いつも大変お世話になっております。とても助かっています。もっと人口が増えたら赤字が解消されるのですか、厳しいのですね、残念です
118	路線バスは他市のように小型バスを走らせることを検討してほしい
119	大型バスでなくミニバスで足回りを良くしてもらえれば高齢者・学生は助かります
120	市内施設や商業施設との提携、バスの規模の縮小、よりニーズに合わせた運行
121	青梅市にはコミュニティバスの運行がないが今後はもう少し小型のバスで本数を増やせないか。バスとJRとの連絡が悪いと感じる。階段を走って降りて目の前で出発する。今後免許返納者が増えると資産としての不動産価値にも影響がでる
122	都バスと西武バスが通っています。元が違いため難しいかもしれませんが、10分程度の差で重ならないようにしていただけたら利用しやすいと思います。雪等の悪天候の時でも路線バスがあるおかげで仕事に出かけられています。乗っている人が少ないですが、今後もあってほしいです。他の地域のようなミニバスにして存続して欲しいです
123	バスは運行本数を増やしてほしい。そうすればもう少し利用できる
124	ネットで路線を検索して活用できるかを見るので、地図を簡単にして路線図をわかりやすくしてほしい。わかりづらいので調べるのも面倒なのでいつも車で移動してしまう。エリアも絞ってバス停を明確に調べられるとありがたい。ナビタイムとかではなく市独自の

自由意見(8)

2	〈路線バス〉続き
125	とにかくバスの本数が少なすぎて、バスはもう無いものだと思っています。タクシーも道路に出れば自分で止めて乗れるようになればいいと思います
126	雪の日などバスがあるとやはりありがたいです。継続はしてほしいです
127	電気バスや小さいバスへの改善。コミュニティバスにした方がいいのでは
128	自主返納も検討したいですが、現在のようバス路線や本数では、自家用車に比べ不便なため自家用車に乗らざるを得ない。他自治体では、コミュニティバスも頻繁に走っています。なぜ、青梅市は、コミュニティバスを運行させないのですか。これから、団塊の世代が自家用車を手放す際、大変危惧を感じています。コミュニティバスの運行を早期に実施してほしい
129	公共負担の補助の値上げはだめ
130	都バスが走っているところは本数も多くありますが、母が暮らす長淵は本数が少なく大変困っています。長淵や友田周辺にも都バスを走らせてほしい。長淵は車がないと大変不便な場所で、しかも年々西東京バスの本数が減り年寄りは困っています。市内循環バスを走らせるなどして交通格差を減らす
131	路線図みたいなものがバス会社関係なく一つになっているものがあれば欲しい
132	バスの本数が少ない
133	青梅市は東西に長い地形なので、東西の行き来はしやすいが、南北は自家用車が必須である。もう少し南北の行き来が出来るバスなどがあるといいと思う
134	JR青梅線の本数が少ない分、路線バスの本数を増やしてほしいなと思います。また、朝の通学通勤時間はもちろんですが、青梅市内ではバス通学の児童生徒が多くいます。特に青梅市の西側です。午後の下校の時間には特に本数を増やしてもらいたいなと感じています
135	バスのサービスが壊滅的に無いのでアンケートにすら答えられない
136	乗客数が少ない路線や時間帯は、燃費の良い小型バスに移行していった方がいいでしょうか
137	現在運行しているバスの車体は必要以上に大型過ぎる。通常時、乗客数が少数。運行車道幅が狭く、特にカーブではセンターラインをオーバーで走行していることが多々(常時)見受け。運行バス会社はドライブモニタでの確認ができていないのか甚だ疑問。故に、バスの車体の小型化が必須かつCO2削減にもつながる
138	過疎化する一方だと思いますが、今ある公共交通の本数が最低ラインだと思います。これ以上減らされると、不便になり、人はどんどん利用しなくなるのではないのでしょうか。私は小学生の時、バスの運転手に怒鳴られたことがありそれ以来利用するのを避けています。なので利用頻度を増やす為には運転手や施設運用者にサービス向上をした方がいいと思います。親切で分かりやすくまた利用したいと思わせることも必要だと考えます
139	アプリを使ってリアルタイムにバスの位置がわかれば助かる。あまり客が乗らない時間の運行をやめて赤字減らす
140	若草公園駐車場前から御嶽神社入口(信号)に抜ける通りに、経路を増やしてほしい。できれば1時間に1本
141	まだ免許もあるので路線バスは年に数回しか利用しませんが3年前に青梅に転居した際に免許返納を考慮してバス停に近い、複数のバス会社が走っている場所に決めたので路線バス廃止とかになると困ります。それだけは避けて欲しいです。青梅市は広範囲ですからコミュニティバスとかは現実的でなく高齢者の気軽な足として路線バスは必要ですが、高齢者も多少の運賃実費は仕方ないと思います。赤字路線廃止になると困るのは高齢者や移動弱者になりますので
142	現状の公共交通機関、特に路線バスについては、必要が無いから使わない、ではなく、通常使えるほど便利ではないから使わない、という層がかなり占めている気がします。これは卵が先か鶏が先かのような話ではあると思いますが。例えば自身の例で言うと、小作駅から秋川駅に行くにあたって、電車と路線バスの到着時刻が間に挟まるなどして上手く噛み合う程度に本数が増えれば、電車だけだと間に合わない時間でもバスであれば間に合うので利用する、のような選択肢が取れるかと思います
143	赤字路線があるのであれば政治家の給与形態を見直して働いている人とそうでない人を歩合制にしてそれ相応にして分けて赤字路線に回せるようにすれば良い
144	通勤時間帯にバスの本数が多いほうが便利
145	青梅市はエリアが広く山も多いので、生活インフラとして公共交通機関は維持して欲しい。他の自治体を参考にしてコンパクトでいい
146	もっと柔軟に路線変更をできるように国に働きかけをお願いします
147	ネットで簡単に時刻表が見られるようにして欲しい。使わない人が興味をもつ、道の駅的な施設があるとよい。時刻表が不便
148	普段の生活にバスを利用していないが、車が運転できないと行けない場所が多いので、バスが無くなるならタクシーなど代替手段がないと大変困る
149	4月から秋川駅で7時発のスクールバスを利用するが、自転車で行かねばならない。雨の日は親が自家用車で送ることになるので、その路線が欲しい。都心等への長距離通勤者のために、早朝バスの運行することにより、青梅線との連携を図ってほしい。午前6時前の電車に間に合うバスが必要。秋川駅7時発のバスに間に合うバスが必要
150	他の市町村のように小型のバスを運行して、本数を増やすことができると利用しやすくなると思う。
151	公共交通機関は充実しているほうが老若男女暮らしやすいと思う。バスに関しては場所に限らず乗客数が少ない時間帯はマイクロバスなどに変更はできないか。これ以上本数は減らさないでほしい

自由意見(9)

2 〈路線バス〉続き	
152	免許証返上してからの、買い物や通院等が不便になる事は確実です。今以上のバスの運行本数増便が必要不可欠だと思います。タクシーの地域内定額制は画期的だと思います。是非実施して頂きたい。青梅市全般、徒歩移動が困難です。それ故なかなか免許証返上はしたくない、困る事が分かりきっているので。免許証返上は非常に勇気のいる事です。でも、事故は怖い。これが青梅に住む高齢者ドライバーのほとんどの気持ちだと思いますよ。早急に高齢者にムリの無い移動手段の確保をお願いしたい
153	私にとって、バスがなくなったら、通院も買い物も、人に出会うようになって出掛けられません。バスが行かないところは、主人のお休みなどに連れて行ってもらっています。でも運転ができなくなったら、バスが頼りです。今の状態以下にはならないように願います
154	今は自分で車両を運転できるが、免許返納した場合利用すると思うが、すぐそこまで言う時のコミュニティバスが必要と思われる。また2023年以降青梅市東部地区の物流設備が整うと居住者が増えることを想定した場合の路線の見直しは必要と思われる
155	今後車の免許返却による病院などにどこからでも回る巡回バスの導入と、バスの本数増を希望する。市内巡回バス（運転手はシルバー人材利用）
156	路線バスを廃止することをやめてもらいたい。路線バスを廃止するなら地域コミュニティバスを運行させてもらいたい（陸の孤島になるた
157	青梅駅でバスを待っている人が、並んで待っていないので並んで待つ方法を検討してほしい。乗客が少ない時間帯は小型バスの導入はどうか。万年橋から青梅行きのバスで吉野からくるバスと長洲からくるバスとの時間が近い時があるのもつたいないと思う時がある。青梅駅から万年橋までの区間も同様。青梅図書館前の踏切は電車が通らないのにポイント切り替えのためか閉まってしまうことがあるので完全してもらいたい。これから住民の年齢層が上がり、車を手放す人が増えていくと思う。コミュニティバスを検討してほしい
158	バスの小型化、コミュニティバスの導入
159	都営バス（大型車）減便し、コミュニティバスの運行を増便してもらいたい
160	路線バス小型化すべき。コミュニティバスで本数を増やす
161	公共負担はある程度必要だが、大きすぎるバスから小回りが利くようにとか経費など改善が必要。市内バスは小型化、乗り合いタクシーなどの運行があればよいと思います（高齢化が進むので）
162	都営バスで青梅車庫から東大和や花小金井まで行けたり、西武バスで東青梅から反応や、河辺駅から入間など、遠くまで電車で行くのが大変な所を走ってもえてありがたいです。そういう路線は残していただき、市内の中には奥の方からJRの駅に出られる路線を考えてコミュニティバスをは知らせていただき、免許返納した後も元氣なうちは自分で買い物に行けるような交通機関があったらよいと思います
163	地域の公共交通の役割として、赤字路線は廃止というわけにはいかないと思っています。とはいえ税金による補填にも限界があるので、特にバスについては各路線の時間毎の利用頻度や乗車率を精査して小型バスに切り替えたり、主にお年寄り向けにオンデマンドの運行サービスを検討してみたいかでしょうか
3 〈鉄道〉	
1	JR青梅線が河辺どまりになると聞いてショックを受けております。東京行の利用の際、河辺乗り換えとなると不便、家族もますます青梅に来づらくなり足が遠くでしょう。東青梅以西の益々の過疎化、限界集落化が進むことでしょう。魅力あるお梅づくりには、交通の便の良さが不可欠。衰退する青梅ではなく、魅力ある青梅、都心から人を呼べる青梅を期待しています。人を呼べる市民会館づくり、人を呼べるスポーツ施設（グラウンドなど）作り
2	生活している地域は便利な所ですので、不満は見当たらないのですが、奥多摩駅とか御岳方面の駅にはよく乗り降ります。観光とともに素敵な駅を作っていたら良いと思います。奥多摩駅はとても素敵ですね
3	超高齢化時代になり車の運転ができなくなると地域の公共交通のお世話になります。その時には体のこと、お金のことを配慮できた地域交通であってほしいと思います。あと東青梅の改築の話がありますが、改築後には駅にピアノを置けるスペースを作ってください
4	JR青梅線内のスピードアップ（快速運転など含め）
5	JR青梅線、青梅～奥多摩間の本数が少ない
6	青梅線の12両編成は減便の布石としか考えられません。東青梅駅の単線化についても知らない人が多いのではないですか。JRの事業ですが地元はそれでいいのですか
7	青梅特快が遅延したときに急に河辺駅発になってしまい、いつの日か青梅は取り残されてしまうのではないかと不安です
8	無人駅総選挙面白くてよかったと思います
9	マイナーなコナンや赤塚不二大はなく、ヲタクが好むような広告を起用する。中央線には絶対走行しない青梅線だけの路線で
10	東青梅駅の単線化が計画されているらしい。それに伴い河辺駅どまりや河辺駅始発が増え東青梅駅以西の本数が減らされるかもしれないという心配がある
11	年々年を取ると足が必要となるので公共交通は必須。高齢者が乗りやすい駅に、階段は否、スロープなどが。時刻表も上り口にあると便利では（仮用でも）改札と登り口にあれば利用する方に便利では
12	青梅線、青梅～奥多摩間が不便すぎる。中央線、グリーン車化に伴い河辺駅が2面3線化するので奥多摩始発河辺行き、御嶽始発の河辺行きを設定し、利便性向上させる
13	青梅駅から立川をすべて各駅停車でなく、2か所～3か所停車にしてほしい（特快を奏してほしい）。そうすればもう少し利用しやすく
14	駅・ホームの改善。商業施設や飲食店を応援し、活性につなげる。年を重ねても生活しやすいようにしてほしい
15	特に鉄道に関しては、以前から青梅奥多摩間の本数が少ないため利用しづらいと感じている。財政的に難しいとは思いますが本数が増えたらと思う。また、公共交通に関しては、市民も要望するだけでなく積極的に利用しなければ赤字の回復には繋がらないので、自身も含めて普段自家用車を使っている場合は公共交通を利用する日を作るなどすべきと考えている
16	電車の本数を増やしてほしい。4両を2両にしてでも本数を増やすべき

自由意見(10)

3 〈鉄道〉続き	
17	もっと、市民が公共交通機関を利用しやすくなる工夫をしてほしい。JR青梅線はよいが、バスは本数が少なく運賃が高く利用しにくい。そのため、バスではなく、電車を利用することが増える
18	青梅街道沿いに住んでいる人はJR青梅線の本数が増えれば便利ですが、吉野街道沿いは今まで通りバスがないと不便になる。JRよりバス利用のほうが便利と思う
19	青梅線のダイヤが減ってきたので路線バスを増便してもらえるとありがたい
20	電車・バスの増便を希望します
21	駅周辺・構内・トイレ等美化し明るい雰囲気にする、バス停の時刻表等も見づらいです
22	鉄道やバスは自家用車で外出するのと同じ、渋滞がないのでやはり欠かせないと思います。運行本数をこれ以上減らされるともっと利用者がいなくなり赤字になると思います
23	現在青梅どまりが多く、青梅で奥多摩方面の電車の待ち時間が長くて困ります。これが原因で電車乗りたくないという知人もいます。案ですが、御嶽どまりを増やして奥多摩行きを減らす、御嶽交換としてはどうでしょうか。あと奥多摩行き最終を1:30までにしていただけないでしょうか、タクシーが行列で大変です。友達と飲んだりしたときなどに深夜バスがあるとすごく助かります
24	現在公共交通利用は時々ですが、今後増えると思いますので、鉄道・路線バスともに現在の運行本数は必要
25	アンケートが長くわかりにくい。これだと若い世代はアンケートにすら興味を持たないと思います。JR奥多摩行きなどは特に観光客のマナーの悪さ（1人で座席の占有、通路の中央に荷物を置く、アルコールの空き缶が転がっているなど）が目立ち、なおさら利用しなくなりそうです。そういったところでもコロナだけでなく利用者離れにつながっているのではないのでしょうか。シルバーバスも祖母が利用していましたが、安すぎると思います。もう少し値上げしても良いのではないかと思います
26	車の運転ができない人のために路線バスは廃止にならないようしてほしい。JR青梅線の増発をして便利になれば若い人も住む人が増えるのではないかなと思う。特にこれから高齢者が増えると思うので、バスは絶対必要だと思う
27	JRにおいては、奥多摩・古里・御岳駅でホームにて土産の販売、特に行楽シーズン。路線バスは時間帯で利用者の少ない時間は小さいバスにするとか。休日は新緑・モミジの時期には、青梅駅→吉野梅郷→御岳→沢井→軍畑→成木→小曾木→根ヶ布→青梅駅とか青梅一周
28	バスの運行予定（時刻表）と電車の時刻表がまるでリンクしていない。そのためバスに乗って駅に行こうと思わないし、電車で駅についてバスに乗って自宅に戻ることができない。その様なバスならなくても同じだと思う。補助金目当てのバス会社だと思っている。羽村市で運行している「はむらん」みたいなバスにしたら良いと思います
29	ルートの改善。バスのルートがおかしい。駅になぜターミナルがある所とない所があるの。駅が暗い、治安が悪そう。電車を2線にするべき。バスと駅を上手に動かすことにより、活性化することが可能だと思う。駅の近くに病院や市のコミュニティを作るべき。子育てのしやすい青梅の顔にするべき
30	青梅市にはコミュニティバスの運行がないが今後はもう少し小型のバスで本数を増やせないか。バスとJRとの連絡が悪いと感じる。階段を走って降りても目の前で出発する。今後免許返納者が増えると資産としての不動産価値にも影響がでる
31	コミュニティバスを運行して欲しい。小さなバスでいいから運行して欲しい。青梅特快や快速を増やして欲しい。青梅駅に行きやすくして欲しい。青梅駅前開発するのに青梅行きの本数が減るのは困る
32	JR青梅線の本数が少ない分、路線バスの本数を増やしてほしいなと思います。また、朝の通学通勤時間はもちろんですが、青梅市内ではバス通学の児童生徒が多くなります。特に青梅市の西側です。午後の下校の時間には特に本数を増やしてもらいたいなと感じています
33	羽村市のようにコミュニティバスは運営できないのか。東青梅駅の単線化は、青梅駅までの複線化が期待されていただけに、失望してしまっただけで、河辺駅始発到着が多くなることが予想されるが、青梅市民は河辺駅以西にも沢山いる。東青梅駅の前後に踏切があるためやむを得ないということだが、ドアカットなどで対応はできないのだろうか。単線化された場合、朝夕のラッシュ時はホームにおける混乱も生じる。これ以上、河辺駅以西の地域を過疎化させる原因を作らせない
4 〈タクシー〉	
1	運転免許証を自主返納した70歳以上の高齢者を対象に、タクシー料金助成をしている、福島県小野町の例を参考にさせていただいた
2	タクシー会社と契約して市内は安く乗れるとかにして必要な人（高齢者・障害者）の利用を促進する
3	年代に限らず車の免許のない人がタクシーを利用できるように、主に生活圏の距離を利用できる、電車の定期のような制度を希望します
4	今は高齢者はタクシーで買い物に出ているが、市で補助を出すか送迎ボランティアが可能なように法律を改定する
5	後方がスライドドアのタクシーが増えてほしい。かがんで乗り込むのが難しい人もいます。地域公共交通はライフラインの一つだと思います。現状維持でできればと思います
6	高齢化社会に伴って、バス、タクシーは益々大事な足となっていくと思います。できれば他市のように、小さなコミュニティバスがあればよいと思います。今寺あたりでは市役所に行くのに、バスと電車を乗り継ぎが必要で、高齢者にはきついです
7	今のままで赤字補助をしてバスを運行するよりはタクシーに補助をして、バス以外の交通手段がない地域に居住されている人々には、バス並みの運賃で利用できる方法ができたと思います
8	朝夕の通勤時間はバス運行、昼間バスに乗る人が少ないので、今より本数削減、タクシー補助を出し、老人・障害者等に病院・スーパー等へ乗合タクシー制度（前日までに予約受付運行路時間確定する）
9	バスを小型化して経費削減、本数は減らしてほしくない。駅発車時バスが同時に出発することなく本数が多いようにずらしてほしい。タクシーはあまり利用していないが高齢者が利用しやすいことが大切だと思う

自由意見(11)

4 〈タクシー〉続き	
10	コロナのことを考えると、バスよりタクシーのほうが安全だと思う。本数を減らしたら公共負担の対策にもなり、自然とタクシーの利用が増え、安全も守れるのかな。ただお年寄りや学生のことを考えると、タクシーは高いのも気がかりでシニア割・学割があったらよい。でもバスの運転手さんの仕事なくなるのも困ってしまう。難しい問題ですね。いつも市民のためのお仕事ありがとうございます
11	可能なかわかりませんが、バス路線の見直し（家の近くにバスが通っていないので利用していない）、バスの小型化。タクシーは24時間利用できるとありがたい
12	「路線バス赤字」をもっとたくさんの方に知ってもらわなければならない。乗り合いタクシーや高齢の人に運転手をもらい料金を下げるなど、タクシーをもっと利用しやすくするべき
13	ほとんど客がいらない所に大きなバスはいらない。CO2ばらまき運行経路本数をもっと少なくするべきだ。必要な人にタクシーの運賃割引券など対応してバス代金の3倍くらいで使えるようにすべきだ
14	駅や公共施設・スーパー等へ行けるように路線バス・タクシーは必要なものだと思います
15	必要な人にはタクシー券を税金で補助して安価で購入できるようにし、必要な人だけのために使用する、バスは通勤時間帯だけの運行
16	路線バスについては、山間部の多い青梅には必要である。交通弱者に配慮した施策を継続すべきである。都市部にすむ都民との格差が無いよう、さらに東京都に働きかける。通院などにタクシーを利用した額に対して、直接的に補助金を出す（所得制限や利用限度額は必要と思うが）
17	とにかくバスの本数が少なすぎて、バスはもう無いものだと思っています。タクシーも道路に出れば自分で止めて乗れるようになればいいと思います
18	普段の生活にバスを利用していないが、車が運転できないと行けない場所が多いので、バスが無くなるならタクシーなど代替手段がないと大変困る
19	免許証返上してからの、買い物や通院等が不便になる事は確実です。今以上のバスの運行本数増便が必要不可欠だと思います。タクシーの地域内定額制は画期的だと思います。是非実施して頂きたい。青梅市全般、徒歩移動が困難です。それ故なかなか免許証返上はしたくない、困る事が分かりきっている。免許証返上は非常に勇気のいる事です。でも、事故は怖い。これが青梅に住む高齢者ドライバーのほとんどの気持ちだと思いますよ。早急に高齢者にムリの無い移動手段の確保をお願いしたい
5 〈地域公共交通全般、利用促進策〉	
1	瑞穂まで通る予定のモノレールを、岩蔵街道沿いを通して青梅インター付近まで延長させてほしい
2	情報開示不足、今までこのような情報に接する機会がなかった。市長も能力不足。積極的な情報開示とPRが必要
3	今は利用する機会があまりないけど、公共交通が元気に走っているのを見るだけでも、元気になるし安心する。なくなってしまうのは心細い
4	人口減少、一極集中（都心部への）により現状を維持するのは増々難しくなります。魅力ある青梅のために市の活性化が必要だと思います。青梅に人が来る住みたい街にする。自然をもっとPRする地域の方々や有識者で検討してみたいかかでしょうか
5	公共交通は必要不可欠。福祉の予算より無駄な公共事業への支出を減らす方が先。必要のない工事が多すぎる。道路の補修とか困っていないのに毎年補修係っている
6	コロナが落ち着いたら、市のイベントなどで公共交通を活用できたらと考えます。「鬼滅の刃」主人公の出身地が東京府奥多摩郡雲取山（今は西多摩郡ですが）だったり、「バガボンド」の原作者がお住まいだった歴史もある青梅～奥多摩を周遊するコースやラッピングバスとか走ったらSNS話題になり収益につながりそうな気がします。活性化してほしいです
7	高齢化社会の中で公共交通の継続運営の困難さをいつも感じております。より良い方向は何なのかとても考えが及びかねます
8	高齢者に優しい地域公共交通をよろしくお願いいたします
9	今は元気で自動車に乗っているので問題ないが、そのうち利用するので他人事とは思えない
10	青梅の良さをプラスして、バスを利用して楽しむプランを作してほしい。人の少ないところはのんびりできてとても素晴らしいことですから（食べる店がなかったらおにぎりを食べるベンチを景色の良い所へ置くとか工夫して）
11	移動手段の基幹である電車・バスなどの減便・廃止はしないでほしい
12	路線バス廃止希望、モノレール延長希望、駅前・青梅IC出入口付近再開発希望
13	観光資源の発掘・宣伝、日本一の奥多摩湖うさぎ跳び大会などのイベント。漫画による若者向けの聖地づくり、市内在住のタレント発掘、応援、有名人づくりなどにより公共交通を利用してもらう
14	周りの年配者からバスが日中かなり減って困ったという話はよく聞きますが、赤字補助に年間1億2千万円の税金が使われていると知っている人はあまりいないように思います。大きく取り上げてほしいと思います。小型バスの導入も検討してください
15	年を取って車の運転ができなくなったり、体が不自由になってしまった時に、使えるものを目指していただきたい。誰でも自分の生きたいところへいつでも行ける自由を
16	友田地区は公共施設の過疎化が進んでいる現状である
17	利用者がなければ赤字も解消されない、青梅市の人口も減っていく。いかに他県からの観光を増やすかが大事。そのためには青梅市のイメージアップやアピールをもっとすべき
18	老人ホーム・病院・企業などの職員用送迎バスを活用する、どうしても地域資源のない所は、移送方法はバスでなく自治会などでNPOを取得してサービスを実施し、行政助成金を出す。高齢社会、人口減等などの理由により今までの公共交通制度そのものを廃止する必要あり。在宅医療や代行買い物等の充実を進めるべきでは。高齢者はそれ以外では外出したくないよ
19	買い物が自由にできない。買い物代行が将来は必要だと思う。今は夫母がいるので買い物代行は必要としない。将来は必要と思う
20	青梅市の人口が増えることが第一だと思います。青梅に住みたいと思ってもらえる努力をすべきだと思います
21	コロナの流行のせいで子供（5・2歳）がいると、電車・バスの利用がしづらいので利用していませんが、終息したときにしたいと思っています。もしなくなって利用できないと不便だと思います
22	青梅市は駅から離れた地区も多く、車がないと不便です。高齢者にとっても免許のない人にとっても、公共交通は重要な移動手段

自由意見(12)

5	〈地域公共交通全般、利用促進策〉続き
23	今は歩けるようになったので良いですが、近くに買い物に行くところがないのと、歩いていて思うのは吉野街道はトラックが多いこと
24	これから先高齢化が進むと思うので、公共交通は必要と思います。人口は減少するかもしれませんが高齢者の割合は高くなってくると思っています。また高齢者だけの世帯も多くなると思います
25	夫婦共70歳を過ぎ、将来車を運転できなくなったらと思うと、公共交通の重要性が更に必要となってくる。特に限界集落のため対応が難しいと思います
26	近年、高齢者の運転による事故が全国で問題となっており、青梅市も例外ではない。高齢者の免許返納を促進するためにも地域公共交通を維持すべきだと思う
27	千ヶ瀬地域は坂が多く老後が不安です。将来不便になると思っています
28	「地域」としてCO2排出量を実質マイナスを目指す等の施策が組めるとよいのでは。水素エンジンや電気自動車を積極的に活用し、市内の幹線道路では信号機がない等の安全面・エコな面をアピールできれば、青梅市を注目するような環境整備が若い人たちにも響くのでは。結果的に人口増・産業界からのPR度UPにつながるように思います
29	何かハイキングコースやウォーキングコースに運んでくれるバス等があったら楽しそうな気がします
30	利用者が少ないのには市民の減少が関係していると思う。住みに行きやすい青梅市だと思う、もっと住みやすい青梅市づくりが必要。転居も考えている人が多い
31	青梅市は東京都では自然が豊かですがその代り公共交通との兼ね合いが問題なんですね。もっと宣伝をして企業からのスポンサーなどで運営費をまかなえればと思います
32	バスや電車の貸し切りや運転体験、車両センター見学などしてみたい。全国の鉄道ファンなどに動画で宣伝したり、ふるさと納税の返礼品として、イベントに参加できる権利を配布する
33	公共交通を活性化させるだけでなく厳しいと思うので、移住者を増やす、政策とセットで考えた方がいいと思います
34	青梅駅・西分町・市役所・青梅総合病院・河辺駅のバスの本数が少なすぎる。特に昼間は少ない。タクシーを使うしかなく負担が大きい。JR青梅線はむとむと地元出資による青梅鉄道という民間会社でした。そして太平洋戦争末期に国有化されました。設立時の代表は小沢太平という、澤乃井小澤酒造の社長の4代前の社長です。JR青梅線を活性化させるには、旗頭として小澤酒造の協力は欠かせません。まずJR青梅線の活性化、次にバス路線を縮小均衡させた上で維持することが重要と考えます
35	度を越したマナー違反が放置されていると公共交通機関に限らず、利用したり行ったりするのは二の足を踏みます。気持ちよく利用できることが私にとっては第一条件です
36	今はあまり利用していないが、年齢とともに必要になり（免許返したとき）バス・電車等利用しなければならないので、なくなるはいらない（70以上でも有料でよい）
37	自動車においては当初見向きもされなかった道の駅がいろいろな特色を出すことにより、道の駅を利用するために行く人が増えた。昔拝島駅西武線側にあったたい焼き屋さんなどはたい焼きを買うために拝島駅に行く人も多数いた。外部から青梅の駅を利用する人たちを増やすことを考えるのも重要なことだと思う
38	高齢者が多い地域で免許の自主返納も叫ばれている中、公共交通を減らすことはその地域に住めなくなる人が増えると思うので継続できる方法を考えてほしいです
39	地域公共交通は生活に無くてはならない重要な移動手段であり今後も長く利用者が利用しやすい状況を維持してほしい。公共負担は仕方ないことでありますが、対策を講じて長く利用できるようにお願い申し上げます
40	観光関連産業を課にして発展をいかにさせるか
41	高齢の方が多い地域や徒歩や自転車での買い物に難しい人たちのための地域公共交通にしてほしい
42	今は車・自転車に乗れるので困っていないが、車・自転車に乗れなくなるとどこにも行けなくなる。足が悪いので
43	地域公共交通を使った観光イベントを実施。青梅の魅力を知ってもらい、公共交通で輸送手段として利用してもらおう。スタンプラリーとかチェックポイントを作り立ち寄り場所を作るなど
44	経営状況は知りませんでした。公報による周知は必要に感じます
45	あまり不便とは思わない
46	高齢者の自動車運転免許返納後の対策として、公共交通が利用しやすい手段になってほしい
47	プロジェクトを作って対策を
48	勝手な言い分ですが、10年後には100%利用させていただきたく思っています。何とか良い方へお願い申し上げます
49	青梅駅周辺の再開発と高架化
50	高齢化社会に合うようにしてほしい
51	利用者数に合わせて本数、公共負担額の変更は必要であると思います。都心部に長く住んでいましたが、青梅は町も自然も人も古き良き風習が残っていると感じます。電車やバスは、駅前のレトロな雰囲気合わせたデザインにしたり、青梅だからこそその魅力が高まると嬉しいですね
52	地域公共交通は利用者の多い少ないにかかわらず、住んでいる住民がいるので、生活に支障がない1時間当たりの本数などを交通として整備すべきです
53	アンケートを拝見して少しは納得しました。東の方面にはスーパー、大型店ができました。でも近くにはバスが通っていないので、買い物に行くにも不便です。今は車で走っていますが返却するが迷っています。家族にも言われています。他の地区では小型バス等何かの方法で運行しています。この地区でもいい方法を考えてください、お願いします
54	時折の地域住民の意見・要望を聞く（アンケート等含む）ことが大事かと思っています
55	便利な時代になっても青梅市のなかで地域の格差があり、不便な生活をしている人がいる事も忘れてほしくないです
56	特になのですが、これからも電車とバスを使います

自由意見(13)

5 〈地域公共交通全般、利用促進策〉続き	
57	子育て世代が住みやすくなるように、駅の周辺の施設を活性化していく努力が必要だと思います。コロナ禍の今だからこそ都会から移住しやすいように住みやすさや利便性をもっと整えていけばいいと思います
58	とにかく総合病院行く手段、一考を重ねてほしい、病人のために
59	免許返納を考え、駅の近くへ越してきました。現在コロナの関係でほとんど外出しておりません。解除後の実際の生活がどうなるのかまだわかりかねます。免許は昨年5月に返納しました。義父母の葬儀など義弟や義妹に乘せてもらい、無事に済ませることができましたが、今後墓参り等どうするか考え中です。バスの本数を考えると、タクシー利用（特に帰り）を考えています
60	市内には娯楽施設・カフェもなくなりさみしい街になってきています。バス・鉄道の利用者も昔から思うとずいぶん少なくなっている
61	将来にこれ以上負動産を増やさないため、利用の少ない公共交通をある程度整理する。一方で今後独居老人が増えるので、個別のサービスを充実する。一定の個人負担を求めたうえで、買い物宅配・通院などの送迎サービスなど、官民の連携も必要
62	明星大学の活用でJR河辺駅、バスの利用が増えると思う（学生が集まると町が活性化する）
63	公助、共助、自助
64	羽村市にお買い物に行きますと、はむらんが細い道も走っていて便利そうに感じました。もし補助金よりも良い面があるならご検討いただければ幸いです（素人考えではありはざかしいですが）デメリットの方が大きければ現状のままで満足しておりますのでこのままでお願いいたします
65	バスがなくなるとは困るが、バスが通るには自宅付近の道路が狭すぎる。歩道は狭いし、いつ人が事故にあってもおかしくない環境です。バスやタクシーよりも、むしろ道路を何とかしてもらいたい（歩道から降りて自転車に乗っている人がほとんどです）
66	利用者が少ないので不便は仕方ない
67	普段自由に利用できる乗り物がない方や体が不自由な方にとっては、地域公共交通は必要なものではないかと思います。困っている方が少しでも減って増えないよう願います
68	これから先、高齢者が困らないような交通になることを願います
69	近くに來ないので今はいいが将来的に移動など不安がある
70	人口が減ると利用者が少なくなるが、青梅特快の増便やコミュニティバスの運行を開始し、不便をなくすることが住みたい街になる1つの考えになる。現在はバスの利用は不便だから利用せず、移転者など利用してしまいが、将来は駅などの利用に家からの手段にバスの運行が重要と思っています
71	これからもアンケートなどで利用状況など検討していただいて、高齢者の移動手段だけは確保してもらいたいです
72	路線バスを使いたくても本数が少なくバス停が遠いので使えない。青梅線の増便、東京直通の増便、八高線高麗川発の青梅線拝島経由東京行きを続ける（3月のダイヤ改正でなくなるのだが、利用者がたくさんおり通勤が非常に辛くなるのでやめないでほしい）。交通手段をよりよくし、住みやすさ・くらしやすさをアピール、人口増加・地域活性につなげたい。また青梅市は路線バスの本数が少なく、バス停も遠く、高齢者が生活に困っているのも何とか改善できないものか、と思う。路線バスから遠いのでコミュニティバスを運行してほしい
73	PRしてもそもそも人がいなければそのお金がもったいない
74	高齢化が進むので公共交通はさらに重要になるので維持していくべき
75	バスは本数を増やして欲しい。通学バスや病院へのシャトルバスなど、利用者数が安定して多い地域に集中してバスを出す、また、羽村市のはむらんのように固定費を削減した小型バスを用いるなどし、経費削減に努めるのは如何でしょうか。また、バスの運行を止め、高齢者や山間部に住む人々には移動補助を行うのは如何でしょうか。例えば、タクシーを割安で使うことができるチケットを配布したり、駅までのシャトルバスを市で運営するなどです
76	みんなで、公共交通施設を利用してこうという気持ちを持つことが大切です。今回、このアンケートに選ばれて公共交通機関が大事だと再認識した次第です。また、アンケートにパソコンで答えられてとても良かったです。紙の解答用紙では、文字が小さくて読めないもので、パソコンを使ってよかったです。使えなかったら文字が良く見えないので、回答しないと思います
77	市民に寄り添い、お年寄り、体の弱い方がより使いやすく改善していきたい
78	公共交通機関が縮小すると、将来運転免許証の返納が出来なくなるので、がんばってほしい
79	青梅市は高齢者が多く、自家用車が無いと不便な住宅地が多い。バスの本数は朝晩のみで昼間は少ないし、バス停や駅までも遠く、駅に付いても電車の本数も少ない。タクシーは行きたいところまで行けるが賃金が高すぎて利用できない。住宅地にある自治会館等を起点にした、巡回のワゴン車が市内を回ってくれれば利用したい
80	青梅駅前をもっと活気溢れる場にしたら、自然と利用する人も増え、それに従って地域公共交通を利用する人も増えていくのではないかと思います
81	バスは乗れる場所すら分らないです。路線バス、青梅線の利用者が減っている事を知りませんでした。知ったとしても積極的に利用する事につながる事はなく、電車は都心に出る時に困るけれど、バスに関しては困らない、と言うのが率直な意見です。自動車の所持が難しくなったら、タクシーの利用と、徒歩での移動になるのかなあと、漠然と考えてます。高齢者がスーパーの帰り道と思われる姿を度々見かけますが、タクシーを使うほどの距離ではないし、買い物終わりまで待つてもらうには、気がひけるだろうし、再度呼ぶの手間、料金などの負担を考えると、少し無理をしても歩いてしまうだろうと、想像します。全ての人が満足、便利になる事は難しい事と思いますが、自分の老後が今よりも住みやすい青梅市になる事に期待してます。そう考えると、バスにも応用性がありそうですね

自由意見(14)

5 〈地域公共交通全般、利用促進策〉続き	
82	人口減少及び高齢化の中、公共交通の経営は厳しいと考える。中でも、将来の免許返納等を考えると、公共交通の重要性は増してくる。不要な財政支出を抑制して、公共交通機関への補助はすべきである。特定の権益への支出に比較して、公共交通機関への支出は、コストパフォーマンスが高いと考える。高齢者バスは、公共交通の利益にはならないかもしれないが、高齢者の行動範囲の広域化、健康増進、商店での買い物の促進等、二次的な効果がある
83	外出が多いので、市内の路線バスの乗り降り自由な乗車券(何れの路線を含む)があると便利。さらにJRも含めると更に便利になる
84	JR青梅線が河辺どまりになると聞いてショックを受けております。東京行の利用の際、河辺乗り換えとなると不便、家族もますます青梅に來づらくなり足が遠のくでしょう。東青梅以西の益々の過疎化、限界集落化が進むことでしょう。魅力あるお梅づくりには、交通の便の良さが不可欠。衰退する青梅ではなく、魅力ある青梅、都心から人を呼べる青梅を期待しています。人を呼べる市民会館づくり、人を呼べるスポーツ施設（グラウンドなど）作り
85	超高齢化時代になり車の運転ができなくなると地域の公共交通のお世話になります。その時には体のこと、お金のことを配慮できた地域交通であってほしいと思います。あと東青梅の改築の話がありますが、改築後には駅にピアノを置けるスペースを作ってください
86	公共施設（駅・病院・役所等）や各種施設（各所・店舗等）を結ぶ路線（バス）を含めて集客力を高める
87	あきる野市や羽村市のように、バスを小さくするのはどうか。減便するのではなく、利用者の立場に立って、本数を考えていただきたい。本数が少ないと利用しなくなるのは仕方ない。本当はもっと、バスに乗りたい。バス、タクシー、電車を応援しています
88	バス利用で、商店街で利用できるポイントがたまる、コーヒー1杯無料券など、楽しんで利用できるサービスがあると良い。在宅ワークなどどこでも仕事ができる環境があれば、不便でも人は来ます。SNSでもアピールできると思います。自然の中で仕事をする事ができることや、静かで快適な場所づくりなど、あわせて取り組んでいってはどうかと感じます
89	後方がスライドドアのタクシーが増えてほしい。かがんで乗り込むのが難しい人もいますので。地域公共交通はライフラインの一つだと思います。現状維持でできればと思います
90	今は、車の運転が出来るので移動手段があるが、運転ができなくなった時にバスなどの公共の交通機関が必要となりうるので、未来のために考えると、コミュニティバスや、それに近い形のことを考えてほしいです。コロナによって、使用者が減ってしまいましたが、それに代わる新たな取り組みをみんなで話し合う機会を作ってくださいありがとうございました。みんなの街がより良い暮らしに繋がるように一人ひとりが考えて行動していかないといけないと思いました。青梅はこんなに素敵な街並みなんだと知ってもらう為に、公共機関は大事です。岩蔵温泉街のように、バスが通らなくなってしまって、寂れてしまうようなことがあってはならないと思います。飯能から青梅に繋がる事によって、相乗効果が生み出せる事も一つ大事なのではないかと
91	特に鉄道に関しては、以前から青梅奥多摩間の本数が少ないため利用しづらいと感じている。財政的に難しいとは思いますが本数が増えたらと思う。また、公共交通に関しては、市民も要望するだけではなく積極的に利用しなければ赤字の回復には繋がらないので、自身も含めて普段自家用車を使っている場合は公共交通を利用する日を作るなどすべきと考えている
6 〈調査について、その他〉	
1	調査費が無駄
2	意見を求めること自体ナンセンス
3	移動販売が欲しい
4	こういったアンケートを各家庭に郵送するための税金を、公共交通機関に少しでも割り当てたいと思います
5	バスは利用が少ないが、廃線にすれば益々過疎化する。魅力のない街に、地価も高く人が入ってこない。このアンケートは用紙が厚くてお金がかかっていそう
6	以前、バスもない所に住んでいました。もちろん駅にも遠く車が無かったら生活できませんでした。今便利な所に引っ越し、体に負担のない生活がこれ程ありがたいかを痛感しています。バスが空車で走っているのをよく見かけます。マイクロバスくらいの大きさと環境にやさしいエネルギーを使ったバスを走らせるのは難しいでしょうか。このようなアンケートをしてくださったことに感謝します
7	みんなで、公共交通施設を利用してこうという気持ちを持つことが大切です。今回、このアンケートに選ばれて公共交通機関が大事だと再認識した次第です。また、アンケートにパソコンで答えられてとても良かったです。紙の解答用紙では、文字が小さくて読めないもので、パソコンを使えてよかったです。使えなかったら文字が良く見えないので、回答しないと思います
8	アンケートが長くわかりにくい。これだと若い世代はアンケートにすら興味を持たないと思います。JR奥多摩行きなどは特に観光客のマナーの悪さ（1人で座席の占有、通路の中央に荷物を置く、アルコールの空き缶が転がっているなど）が目立ち、なおさら利用しにくくなりました。そういったところもコロナだけでなく利用者離れにつながっているのではないのでしょうか。シルバーバスも祖母が利用していましたが、安すぎると思います。もう少し値上げしても良いのではないかと思います